

## 『錦囊風月』解題と翻刻

Bibliographical Review and Reproduction of *Kimno Fugetsu*  
 HORIKAWA Takashi

堀川貴司

はじめに

戦前から戦後にかけて活躍した中世文学研究者荒木良雄の「詩僧雪村」〔中世文学の形象と精神〕昭森社、一九四二）に次のような記述がある。

「錦囊風月」は、相国寺の春溪が寛正年間に撰んで、唐宋金元明の詩三千余首を纂めたものであるが、それは全部七言絶句であつて、その序文に「本朝言<sup>レ</sup>詩者、大率顛<sup>ニシテ</sup>於<sup>レ</sup>七言絶句<sup>一</sup>、迄<sup>ニテハ</sup>彼五言六言四韻長韻古詩之流<sup>一</sup>、雖<sup>モ</sup>間々有<sup>ニ</sup>作者<sup>一</sup>而不<sup>ニ</sup>敢常用<sup>一</sup>焉」とあるのなど、明かに当代の流行を語つてゐるし、（下略）

このように五山における七言絶句の流行について述べた部分で、このあと『花上集』ほか五山詩総集も、その基準となつた『江湖風月集』『聯珠詩格』『新選集』『新編集』なども七絶のみを収めることを指摘する。

これまで稿者は、京都五山の一つ建仁寺において一五世紀前半に編纂

された『新選集』『新編集』、およびそこからの抜粋で康正二年（一四五六）に成つた『錦繡段』について研究を進めてきた（翻刻 建仁寺両足院蔵『新選分類集諸家詩巻』付・同系統他本による補遺―『新選集』『新編集』研究その一―「翻刻 慶應義塾図書館蔵『續新編分類諸家詩集』付・他本による補遺―（同）その二―「増補・改編本による補遺および所収作品対照表―（同）その三―「伝本一覧および『錦繡段』との関係について―（同）その四―『斯道文庫論集』第四六輯―第四九輯、二〇一―二一―二〇一四・二〇。しかし、それとほぼ同時期に相国寺においても同じような書物の編纂が行われていたことは、稿者自身気づかなかつたし、おそらく右に引いた荒木氏の指摘以外で、管見の範囲では五山文学研究史上全く言及がないだろう。

今後、五山における中国詩（あるいはそれが収められている漢籍）の受容をより詳しく知るために、本書の存在は重要である。当然、『新選集』『新編集』との比較研究も必要になつてこよう。まずはその基礎資料の提供を目的として、ここに簡単な書誌解題を付して、全文の翻刻を行い

たい。

【解題】

管見の範囲では国立国会図書館蔵本が唯一の伝本である。現在、デジタル画像が公開されている。<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/252633> 請求番号さー7、明治二六年八月二八日購求、『帝國図書館和漢書書名目録』第一編（明治三二年刊）に著録されている。

表紙：後補縦丁字引横刷毛目檀紙に「帝國図書館」散らし型押、二一・〇×一五・二糎。

元表紙（明治頃か）は改装砥粉色無地、二〇・九×一五・一糎。

外題：後補表紙左肩双辺（刷）内墨書「錦囊風月 一（〜四止）」

元表紙左肩単辺（墨書）内墨書「錦囊風月 三四（五六七、八九十）」

（第一冊は「錦囊」のみ存、下部欠落、鉛筆書「一、二」）

本文料紙：楮打紙

序……「永享龍集己未（一十一年、一四三九）季秋下澣嶽日水奚叟題」。

一丁。

目録……全一〇巻の部門名を列挙、ただし本文中と異なる場合がある。

一丁。

本文……「錦囊風月巻之二／天文門／昨夜……／能得幾多時少年

月 李建枢（唐人）／無辺無界一〇行二一字、朱

句点・朱引・朱批圈点、字高一八・八糎。

第一冊に巻一・二（七〇丁）、第二冊に巻三・四（五七丁）、第

三冊に巻五〜七（七二丁）、第四冊に巻八〜十（六三丁）を収

める。第四冊末に遊紙一丁（見返と同料紙）。

尾題……卷十末のみあり「錦囊風月卷十（大尾）」（別筆か）

印記……「椿亭圖書」（所用者不明）「不忍文庫」（屋代弘賢）……第一冊

首のみ

「向黄邨／珎藏印」（向山黄村）……第一冊首・第四冊尾

「讀社／艸堂」（寺田盛業）……各冊首

なお、第四冊末、尾題下の識語（数文字程度）が墨減されている。

その他……第一冊見返に貼り紙墨書「空谷法嗣／春溪洪曹／相国寺

五十五世／元塔頭常徳院／寛正年」同朱書「右屋弘賢所考（按

永享十一年己未距文政甲辰三（四をミセケチ）百八十六年」

挿入紙片墨書「永享十一年己未年ヨリ／今明治十四年迄／

四百四十三年ナリ」、わずかに別筆書き入れと不審紙貼付あり。

蔵書印から見ると、寺田盛業所蔵のときに分冊されたか（そ

れ以前は一冊本か）。

書写年代……室町前期から中期頃（一五世紀）と見てよいか。一筆。

次に、書名について検討してみる。

錦囊は、自作の詩句を貯めておく袋のこと。『東坡先生詩』卷一九「次

韻王晋卿奉詔押高麗燕射」の「錦囊詩草勤收拾」の注に「厚」唐李賀

毎旦日騎弱馬、從小奚奴背古錦囊、遇所得投囊中、未始先立題、然後為詩」

とある（『唐詩紀事』卷四三などにも見える）、晩唐の詩人李賀の逸話に

基づく。また、風月は同書卷一七「刀景純席上和謝生二首」その一の「欲

窮風月三千界」注に載る歐陽脩が王安石に贈った詩「贈王介甫」の「翰

林風月三千首、吏部文章二百年」に基づく（『歐陽文忠公集』外集卷七、

『苕溪漁隱叢話』前集卷三〇などにも見える）。自序に「命曰錦囊風月、

蓋取諸三千首之成数云」とあるように、本書所収詩の概数によってのこ

と。

すなわち、中国の優れた詩（すべて七言絶句）を集めたとの謂いであ

り、それらを内容別に分類したものである。

ただ、興味深いことに、似たような書名『風月錦囊』という本が中国

本国で出版されている。これは戯曲のさわりを集めた詞曲集で、現存

するものは嘉靖三十二年（一五五三）刊本が最も早い。同様の書物は明代に多くあつたらしく、その書名に影響された可能性もあろう。南北朝には、日本人禅僧が南宋の禅僧の偈頌を集めた書物を『菩薩蛮』というやはり当時中国で行われていた詞曲集と同名にしたため、来日僧から批判されている（玉村竹二『五山文学』至文堂、一九六六、九〇頁・一七七頁）。『錦繡段』という命名もこのような流れの中にあるものであろう。

本書は以下の通り全一〇巻、二九部門に分類されている。（部門の立て方が目録と本文とで異なっている場合、本文に従った）

第一卷	天文門	九一首 1-91（月風雲雨雪等）
	節序門	八七首 92-178（春三七首、夏六首、秋四〇首、冬四首）
	時候門	九〇首 179-368（題に四季名が入るもの等）
第二卷	地理門	九一首 269-339（山川館廟祠陵墓橋駅等）
	宮室門	二七九首 360-638（宮樓閣臺亭軒堂齋居家寺庵院 舍室觀宅莊等）
第三卷	王臣門	二三首 639-661
	百官門	一六首 662-677（文八首、武八首）
	親屬門	一〇首 678-687
	積道門	七四首 688-761（積三五首、道三九首）
	禁御門	二〇首 762-781
	隱逸門	一五首 782-796
	漁獵門	一九首 797-815（漁一四首、獵五首）
	樵牧門	五首 816-820（樵二首、牧三首）
	農耕門	一一首 821-831
第四卷	婦女門	一〇三首 832-934（王昭君、閨怨、宮詞、妓女等）
	遊宴門	二七首 935-961

音楽門 六四首 962-1025（琴、琵琶、笛、箏、角、鐘等）  
 伎芸門 七七首 1026-1102（歌舞、傀儡、碁、書画、医、相等）

第五卷 衣服門 二〇首 1103-1122

飲食門 三〇首 1123-1152（酒、茶）

器用門 一二七首 1153-1279（屏風、扇、文房具、燈火等）

第六卷 図画門 二九六首 1280-1575（人物一一八首、山水四三首、動植一二五首）

第七卷 人事門 一九〇首 1576-1765（官吏生活、睡眠、休養、病老、讀書等）

第八卷 羽族門 一〇九首 1766-1874

毛族門 二六首 1875-1900

鱗介門 二四首 1901-1924

昆虫門 四三首 1925-1967

第九卷 百花門 三二五首 1968-2292

第十卷 草木門 六八首 2293-2360

かなり細かく分けていて、それぞれの部門内でも類似の内容のものをまとめるなどの工夫がある。また、そういった小グループ内ではおおよそ時代順、すなわち唐・宋・金・元・明という排列になっていること、また隣同士の作品では、類似の詩句や表現を並べようという意識があることなどが見て取れる。部門としては詠史・題画・植物などが多い点、『新選集』『新編集』と共通するが、同じ題材の詩を集中的に収め、題材のバラエティには乏しいこと、時代では唐詩が比較的多い、といった印象があるのは両書と異なる。これらは取材源が異なるせいもあるか。このあたりの検討は今後の課題である。

もうひとつ、『新選集』『新編集』と異なる特徴は、批点・批圈を付していることである。編者自身の手によるものかどうかは不明だが、室町

期の五山僧がそれぞれの作品についてどこを評価したのかを窺うための資料となる。

編者春溪洪曹（?—一四六五）は、出身地・俗姓不明。空谷明応の法嗣（夢窓のひ孫弟子にあたる）。山城真如寺住持を経て宝徳二年（一四五〇）相国寺六九世、長祿元年（一四五七）再住。寺外の今は庵に退隠。学芸上の門生に横川景三・景徐周麟がいる。横川編『百人一首』入集。別集は伝わらない（以上、玉村竹二『五山禅僧伝記集成』講談社、一九八三。新装版、思文閣出版、二〇〇三による）。

【翻刻凡例】

\* 作品冒頭に通し番号を振り、面の変わり目を（1オ）の如く表示した。句点、本文・題・作者の間隔は底本にほぼ同じにしている。ただし序文に関しては句読点を使い分け、ナカケロを補った。朱引は略した。  
\* 漢字は原則として通行字体を用いた。「夫容」（芙蓉）などの略字表記は通常のものに変更した。また「后」は「后」「後」に書き分けるなど、意味に応じて現行表記に変更した。虫損は「□」、空白（欠字）は「■」で示した。ミセケチは訂正後の字に従った。翻刻注は（ ）で示した。

【翻刻】

錦囊風月序

本朝言詩者、大率、顛於七言絶句、迄彼五言・六言・四韻・長韻・古詩之流、雖間有作者、而不敢常用焉。故、余纂抄唐宋金元明五朝、詩人遺藁、及古今詩選冊子、獲三千余首、編作十卷、類以析之、門以標之。欲俾其便于觀覽也。命曰錦囊風月、蓋取諸三千首之成数云。第恨、諸本謄写、文字訛舛。博聞君子、倘能質之、幸矣。余素没詩眼、於其選也、弗克辨白工拙、頗嘆然耳。是以、採其意句兩佳者、批而点之。有全篇者、有一句二句者、有一字二字三四五（前1オ）字者。非敢施之達士、庶幾、童蒙学詩者、以為吟助。

永享龍集己未季秋下幹端日水奚叟題（前1ウ）

- 第一卷 天文門 節序門 時候門
- 第二卷 地理門 宮室門 附亭台寺觀等
- 第三卷 王臣門 百官門 附文武等 親屬門 积道門 禁御門 隱逸門 附漁樵農等
- 第四卷 婦女門 附宮詞等 遊宴門 音樂門 伎芸門
- 第五卷 衣服門 飲食門 器用門（前2オ）
- 第六卷 凶画門
- 第七卷 人事門
- 第八卷 羽族門 毛族門 鱗介門 昆虫門
- 第九卷 百花門
- 第十卷 草木門（前2ウ）

錦囊風月卷之一

天文門

1	昨夜月非今夜月、却疑月處滅娟娟、一年十二度月欠、能得幾多時少年	月	李建樞唐人
2	常娥竊藥出人間、藏在蟾宮不放還、后羿遍尋無覓處、誰知天上亦容妍	又	袁郊唐人
3	陰雲薄暮上空虛、此夕清光已破除、只恐異時開霽後、玉輪依旧養蟾蜍	又	羅隱
4	春水一片淨無瑕、万里清光遍海涯、欲与嫦娥移桂樹、月中先合種梅花	又	劉翰宋人(1才)
5	海色西風挹紫埃、露華涼動野猿哀、幽人占得蒼松影、不放寒光入兔胎	又	貫酸齋宋人
6	初聞征雁已無蟬、百尺樓南水接天、青女素娥俱耐冷、月中霜裡鬪嬋娟	霜月	李義山
7	草下陰虫葉上霜、朱闌迢遞压湖光、兔寒蟾冷桂花白、此夜姮娥心斷腸	月夕	同
8	銀輪玉兔向東流、瑩淨三更正好遊、一片黑雲何處起、豈羅籠却水精毬	對月	姚合
9	海兔上天星斗稀、滿身清影立多時、望中欲倩姮娥手、擲下秋香一兩枝	同	積雪岑(1ウ)
10	追隨落日尽還生、点綴浮雲暗又明、江有蛟龍山虎豹、清光雖在不堪行	詠月	王荊公
11	見說樓台滿玉波、中間唯只鎖嬋娥、可憐八万二千戶、每到欠時争奈何	同	文湖州宋人
12	人間離別最堪憐、天上嫦娥恐亦然、昨夜広寒分破鏡、半奩飛上九重天	半月	朱文公
13	柳塘漠々暗啼鴉、一鏡晴飛玉有華、好是夜闌人不寐、半庭寒影在梨花	春月	呂中孚
14	側飛蟾影入簷低、鵲劔烏慵尚繞枝、燈炮小窓簾不卷、定回凍合玉樓時	隙月	積居簡(2才)
15	三十六宮秋夜深、昭陽歌斷信沈沈、唯应独伴陳皇后、照見長門望幸心	禁中月	杜牧
16	野性平生惟愛月、新晴半夜觀嬋娟、起来自擊紗窓破、恰漏清光落枕前	新晴愛月	陸暢
17	雲重真愁無散時、可憐不奈夜風吹、殘暉如此那休得、誰誤虚空作許癡	霽夜觀月	陸放翁
18	不復微雲滓太清、浩然風露欲三更、開簾一寄平生快、万頃空江著月明	七月十四夜觀月	同
19	山下孤城月上遲、相留一醉本無期、明年此夕遊何處、縱有清光知對誰	對月答元明府	戴幼公唐人(2ウ)
20	五緯煌々聚在秦、項王称霸沛公臣、誰知四百年天子、已属寬仁大度人	五星	謝晷山
21	銀河昨夜降醍醐、洒遍坤維万象蘇、疑是鮫人曾泣處、滿池荷葉捧真珠	露	成文幹
22	淡處還濃綠處青、江風吹作雨毛腥、起従水面縈層嶂、驚失林間一小亭	霧	白玉蟾
23	一夜新霜着瓦輕、芭蕉心折敗荷傾、奈寒唯有東籬菊、金蕊初開曉更清	霜	六一居士
24	穉子金盆照曉冰、彩綠穿取当銀鉦、敲成玉磬穿林響、忽作玻璃碎地声	水	楊誠齋(3才)
25	誰將神斧破頑陰、地裂山開鬼失林、我願君王法天造、早施雄断答群心	聞雷	朱文公

26	閑人倚柱咲雷公、又向深山霹。怪松、必若有蘇天下意、何如驚起武侯龍	雷公	韓偓
27	輕花細葉滿林端、昨夜春風晚色寒、黃鳥不堪愁裡聽、綠楊宜向雨中看	春風	朱崑
28	底事東風苦欲寒、不教詩客縱游觀、無端虛把鞦韆送、落尽梨花似雪團	又	白玉蟾
29	目送閑雲尽日愁、寒來着破旧貂裘、憑誰說与西風道、留取黃花点綴秋	秋風	邢居实 (3ウ)
30	黃葉蕭々忽滿街、獨騎瘦馬予章台、莫將宋玉心中事、吹向潘郎鬢畔來	又	劉後村
31	雪白霞紅雲色黃、晚風先辨曉來霜、吹開一路江梅藥、薰作九天沈水香	冬風	白玉蟾
32	南北東西似客身、遠峰高鳥自為隣、清歌一曲猶能住、莫道無心勝得人	雲	吳融
33	聚散虛空去復還、野人閑處倚筇看、不知身是無根物、蔽月遮星作万端	又	郭震
34	得路直為霖濟物、不然閑共鶴忘機、無端是向陽台畔、長送襄王暮雨歸	又	崔塗 (4才)
35	片片飛來靜可閑、樓頭江上復前山、飄零尽日不歸去、帖破青山万里天	又	鄭準
36	舒卷因風何所之、碧天孤影勢遲々、莫言長是無心物、還有隨龍作雨時	孤雲	張喬
37	如峯形状在西效、未見從龍上沆寥、多謝好風吹起後、化為甘雨濟田苗	夏雲	李中
38	水底分明天上雲、可憐形影似吾身、何妨舒作從龍勢、一雨吹消万里塵	片雲	积齐己
39	夾路輕風撼柳条、雨侵香態動無憀、採桑陌上誰家女、濕損釵頭翡翠翹	春雨	李九齡 (4ウ)
40	東風颯々洒皇州、能滯輕寒与勝遊、半夜五侯池館裡、美人驚起為花愁	又	羅鄴
41	暮雨朝雲幾日歸、如糸如霧濕人衣、三湘二月春光早、莫逐狂風撩乱飛	又	楊憑
42	痴雲不斷常遮塔、野水無声自入池、綠樹晚涼鳩語鬧、画梁昼寂燕歸遲	夏雨	張翥
43	烈日如焚正蘊隆、黑雲載雨瀉長空、乖龍霹靂一声歇、庭竹蕭々來好風	又	朱淑真宋人
44	一番暑雨一番涼、真个令人愛日長、隔水風來知有意、為吹十里稻花香	又	楊誠齋 (5才)
45	勢掠郊原飛急雨、声搖窓戶過奔雷、坐知多稼連雲熟、不独新涼傍枕來	秋雨	翁元広宋人
46	禾稔輕黃尚淺青、村春已報隔秋声、忽驚暮色翻成曉、仰見双虹雨外明	又	誠齋
47	半陂飛雨半陂晴、漁曲飄秋野調清、各漾蓮船逗村去、笠簷篔簹有残声	江雨	陸龜蒙
48	今年思家客裡愁、雨声落々屋簷頭、照泥星出依然黑、淹爛庭花不肯休	聽雨姚令威叢話諺云乾星照濕土來日依旧雨	王建
49	君問歸期未有期、巴山夜雨漲秋池、何当共剪西窓燭、却話巴山夜雨時	夜雨寄北	義山 (5ウ)
50	嵩高山下逢秋雨、破傘遮頭過野橋、此景此時誰會得、清如窓下聽芭蕉	山中雨	劉之昂金人
51	東風吹雨惱遊人、滿路新泥換細塵、花睡柳眠春自懶、誰知我更懶於春	欲出遇雨	放翁
52	暫借清溪伴釣翁、沙辺微雨濕孤篷、從今詩在巴東县、不属灞橋風雪中	巴東遇小雨	同

53	黑風吹雨又黃昏、	鷄犬數山下村、	身在嶺雲飛處濕、	不緣別淚濺成痕、	上嶺遇雨	黃白石
54	夜窓疎雨不堪聽、	獨坐寒齋萬感生、	今夜故人江上宿、	如何禁得打篷聲、	江上遇雨	項平齋 (6才)
55	未到黃昏緊閉門、	怒雷扶過前村、	老夫熟睡渾不覺、	風捲濤聲入夢魂、	夜雨	滕玉霄
56	陌上冬乾泣老農、	天留甘雨付春工、	阿香急試雷霆手、	莫放人間有臥龍、	閱雨	朱喬年
57	潭底乖龍喚不応、	驕陽似欲敗西成、	虛堂永夜耿無寐、	起聽四郊車水聲、	又	鄭毅夫
58	雲頭点地黑如黟、	雨脚粘天未肯飛、	待得風師來判斷、	一齊併作晚涼歸、	雨意	鄭清之
59	老火無蹤雁有聲、	雨纔戰伯八紘清、	西風帆落崑山曉、	隱々青岑玉色明、	雨後	居簡 (6ウ)
60	雨過山林近暮鐘、	片懷寂々对孤松、	夜深笛怨梅花落、	月照人間睡正濃、	又	雪岑
61	一抹平林媚夕暉、	山煙漠々燕飛々、	倚欄遙認天辺電、	何処行人帶雨歸、	雨晴	趙閑々
62	一春不雨漫塵黃、	碧瓦朝來泛霽光、	留得紫薇花上露、	幾招渴燕下雕梁、	又	同
63	曉樹放開花意思、	夜窓添起月精神、	何如飛上參乘鬢、	与惱紅樓歌舞人、	雪	石敏若
64	風卷寒雲暮雪晴、	江煙洗尽柳条輕、	簷前數片無人掃、	又得書窓一夜明、	又	同 (7才)
65	北闕同雲掩曉霞、	東風春雪滿山家、	瓊章定少千人和、	銀樹長開六出花、	又	秦韜玉
66	未送余寒掃解谷、	先伝春信到花叢、	侵凌竹色回新緑、	点注梅梢破小紅、	又	王震
67	玉龍昨夜起天涯、	曉看团花一尺圍、	莫放粧台簾捲上、	怕驚釵畔宝鸞飛、	又	趙信庵
68	揉雲剪水作風毬、	夜落連明肯便休、	旧説六花元未識、	偶看一片上駝裘、	又	楊誠齋
69	小艇沿湖看雪飛、	正当騎馬蹋春時、	是誰乞与楊花舞、	先占東風一月期、	又	高九万 (7ウ)
70	曉來紅日尚羞明、	四外同雲未放晴、	一夜九天開玉闕、	六花万里散瓊英、	又	白玉蟾
71	飛簾滕六逞寒威、	費酒陪詩為解頤、	雪待夜深飛落尽、	梅噴風惡放開遲、	又	同
72	瑞応豊年喜欲跳、	曉晴纔見十分清、	探梅準擬前村去、	先遣家童扞石橋、	又	曾叔良
73	紅樓翠瓦不禁寒、	欲剪梅花去路難、	淨掃竹亭聊飲酒、	恰如明月照金盤、	又	馬定国
74	籟々天花落未休、	寒梅疎竹共風流、	江山一色三千里、	酒力銷時正倚樓、	又	高子文 (8才)
75	研光帽子舞山花、	吹落曾城万仞斜、	安得鸞輪為我駕、	一時飛到列仙家、	又次韻	楊仲弘
76	六出花飛処々飄、	粘窓扞砌上寒条、	朱門到曉難盈尺、	尽是三軍喜氣銷、	春雪	章孝標
77	嚏々春虫鬧撲窓、	地烘茶鼎蚓声長、	詩中有味清於酒、	只欠冰梢数点香、	又	宗景蕭 (宋)
78	眼看平白失前坡、	三日青松奈老何、	昨夜東風消不尽、	古牆陰処曉猶多、	又	积季潭
79	石泉凍合竹無風、	夜色沈々万籟空、	試向靜中閑側耳、	隔窓撩乱撲春虫、	夜雪	六一 (8ウ)

- 80 雪。眼。羞。明。夜。轉。飛。梅。花。未。竟。竹。先。知。一。炬。柴。火。三。杯。酒。  
（誰記力） □ □ 山陰有戴逵 又 宋壺山
- 81 迎春寒色愈嚴凝、小閣炉殘冷欲冰、寂寞黃昏愁吊影、雪窗怕上短檠燈 雪夜 劉頤庵
- 82 繞湖誰琢玉為屏、換却南堂萬疊青、老子醉狂還自咲、持竿画字滿中庭 曉雪 放翁
- 83 吹面風來受雪寒、宝花樓閣五雲端、船移忽碎瓊瑤影、丹鳳橋邊駐馬看 雪望 閑々
- 84 桃李無言蜂蝶忙、曉寒未肯放春光、花將計会千山日、風為栽埋一夜霜 雪晴 朱淑真（9才）
- 85 早出新鶯語尚蚤、花無氣力倚雕欄、幸蒙殘雪回頭早、又遣東風薄倖寒 又 同
- 86 五更驢背滿靴霜、殘雪離々草樹荒、身在景中無句写、錯教人比孟襄陽 雪行 元德明金人
- 87 乱飄僧舍茶煙濕、密洒歌樓酒力微、江上晚來堪画処、漁人披得一簑歸 雪中偶題 鄭谷
- 88 普天銀色變山河、西望群峯湧白波、旧說招魂今始信、層冰積雪正峨々 雪中即事 趙子昂
- 89 芍藥薔薇語早梅、不知誰是艷陽才、今朝領得東風意、不復饒君雪裡開 三月十八日雪中作 溫庭筠（9ウ）
- 90 狐裘臥載錦駝車、酒醒水。髭。結。乱。珠。三尺馬鞭裝白玉、雪中画字草軍書 雪中忽起從戎之興戲作 放翁
- 91 十万貔貅出羽林、橫空殺氣結層陰、桑乾沙土初飛雪、未到幽州一丈深 又 同（10才）（10ウ空白）
- 節序門
- 92 爆竹声中一歲除、春風送暖入屠蘇、千門万户曠々日、摠把新桃換旧符 元日 荆公
- 93 競裝祓木餞余寒、頌逐椒花上彩牋、覽鏡自驚非昔貌、举杯同喜得新年 又 胡安国宋人
- 94 一元塊比先天易、万物胚渾太極圖、自嚼梅花冰片々、無人先後飲屠蘇 又 方秋崖宋人
- 95 消夜香盤不住煙、女郎呼伴坐燈前、數殘二十五声点、昨日回頭是去年 又 黃子魯（11才）
- 96 自怪扶持七十身、歸來又見故鄉春、今朝人日逢人喜、不料偷生作老人 人日 司空圖
- 97 夜市千燈照碧雲、高樓紅袖客紛紛、如今不似時平日、猶自笙歌徹曉聞 上元 杜牧
- 98 玉作芙蓉院々明、博山香度小崢嶸、莫言水北人稀到、也有盤姍勃翠行 又 韓子蒼宋人
- 99 秦樓十二玉梯橫、紫府千門夜不扃、疑是東君弄春色、綵雲移下一天星 又 無名氏
- 100 月色燈光滿帝都、香車宝輦溢通衢、身閑不觀中興盛、羞逐鄉人賽紫姑 又 李大正宋人（11ウ）
- 101 放翁也入少年場、一咲燈前未歇狂、翠袖成圍欺月冷、氈車争道覺塵香 又 放翁
- 102 翡翠簾開舞袖輕、寒星万点下蓬瀛、清樽对月酌不已、也向蓬窓坐到明 又 信庵
- 103 遊人總戴孟家蟬、争託星毬万点円、闌裡伝呼大官過、後車多少尽嬋娟 又 姜堯章宋人
- 104 九陌無燈夜悄然、小紅時見点春煙、多情唯有柳梢月、拍酒樓頭照管絃 元夕無燈 高仲常
- 105 燕子今年諳社來、翠瓶猶有去年梅、丁寧莫管杏花□、付与春風一道開 社日 秋崖（12才）



106	江南已有杏花开、社日都無燕子来、人在白雲流水外、一声折柳十分哀	社日間笛	雪岑
107	鶯嬌燕點弄風煙、士女兒童滿野田、草色淺深圍幄幕、花枝上下逐秋千	寒食	劉禹錫
108	寒食家々尽禁煙、野棠風墜小花鈿、如今空有孤魂夢、半在嘉陵半錦川	同	張仁宝
109	美人寒食事春風、折尽青々賞尽紅、夜半無燈還有睡、秋千懸在月明中	同	薛能
110	粥香錫白杏花天、省对流鶯坐綺筵、今日寄來春已老、鳳樓迢遞憶秋千	同	義山 (12ウ)
111	寒食權豪尽出行、一川如画雨初晴、誰家金絡遊春盛、擔入花間軋々声	同	来鵬
112	別院東風料峭寒、春衫已試脫應難、黄昏却傍燈掃去、緩約花期幾日看	同	僧橘洲宋人
113	花瘦水肥三月天、画橈双動木蘭船、人家尽換新榆火、唯有垂楊帶旧煙	寒食湖上作	陳節齋
114	三月初三寒食雨、春光黯淡似秋光、羽書未報江東捷、何日看花到洛陽	三月三日寒雪	雪岑
115	清明時節雨紛紛、路上行人欲断魂、借問酒家何処有、牧童遙指杏花村	清明	杜牧 (13才)
116	無花無酒過清明、興味蕭然似野僧、昨日隣家乞新火、曉窓分与讀書燈	又	王之
117	春陰垂野草青青、時有幽花一樹明、晚泊孤舟古祠下、滿川風雨看潮生	又	蘇子美
118	東城酒散夕陽遲、南陌秋千寂寞垂、人与長瓶臥芳草、風將急管度青枝	又	荆公
119	踏歌槌鼓近清明、小雨霏々欲弄晴、喚起十年心上事、春風樓下壳花声	又	何応龍宋人
120	街頭兒女双鬢鴉、随蜂趁蝶学天邪、東風也作清明節、開徧東籬幾樹花	又	陳簡齋宋人 (13ウ)
121	鳴珂振轂滿重城、春日綿々老燕鶯、人在碧鷄坊外住、澹随流水過清明	又	李長源金人
122	綠煙高樹曉聞鶯、芳草池塘水漸生、不是尋春來陌上、不知今日是清明	清明日述懷	玩易齋
123	三分春色二分塵、天到清明濁更昏、行客要尋沽酒処、被雲偷却杏花村	清明雨	項庾老
124	野水横来滿竹池、一番風雨潤花時、幽禽行破青苔地、飛上海棠人不知	清明戲作	积祖可
125	楊柳池边独倚闌、清明時節雨生寒、春風不是多憔悴、今歲鶯花自懶看	清明日作	雪岑 (14才)
126	客路春風三月三、鳥飛魚泳日酣々、海棠紅葉俱無事、試摘山花綵不堪	上巳	季謙
127	猩々血綵繫頭標、天上齊声拳画橈、却是内人争意切、六宮紅袖一時招	同	張祐 <small>(前以下同)</small>
128	千紅万紫競繁華、鶯燕多依富貴家、上巳蘭亭修禊事、一年春色又楊花	同	玉蟾 (14ウ)
129	縱有靈符共綵糸、心情不似旧年時、榴花照眼唯牽恨、強切菖蒲泛酒卮	端午	淑真
130	海榴花上雨蕭々、自切菖蒲泛濁醪、今日独醒無用処、為公痛飲誑離騷	又	石屏
131	禁幕無風日正亭、侍臣初賜玉壺冰、不知翠輦遊何処、应在楼台第一層	端午帖子	王岐公宋人
132	盤中共解青菰粽、衰甚猶簪艾一枝、寂寞廢詩仍止酒、今年真負此佳時	乙丑重五	放翁

- 133 輕羅扇試新詞好，玉臂雙團綵縷長，清簾昼閑人闌草，午風微、裊、篆、炉、香、  
重午回文 張來儀明人（15才）
- 134 屋山竹樹帶疎蟬，淨掃風軒散髮眠，老子平生無長物，陶詩一卷枕屏邊  
伏日 後村（15ウ）
- 135 鸞扇斜分鳳幄開，星橋橫道鶴飛迴，爭將世上無期別，換得年々一度來  
七夕 義山
- 136 雲幕無波斗柄移，鵲慵烏慢得橋遲，若教精衛填河漢，一水還應有盡時  
同 晏叔原唐人
- 137 月帳星河次第開，兩情惟恐曙光催，時人不用穿針待，沒得心情送巧來  
同 羅隱
- 138 雲塔月地一相過，未抵今年別恨多，最恨明朝洗車雨，不教回却渡天河  
又 杜牧
- 139 今夕雲輶渡鵲橋，應非默默與迢迢，佳人競喜開粧鏡，月下穿針望九霄  
又 權德輿（16才）
- 140 七夕今朝看碧霄，牽牛織女渡河橋，家々乞巧望秋月，穿尽紅糸幾万条  
又 林傑
- 141 雲意不交天更闊，星光不動漢空流，素娥青女曾無匹，霜月亭々各自愁  
又 石曼卿宋人
- 142 六幕西回斗轉車，鮮雲点缀玉鉤斜，天孫已渡黃姑渚，阿母還來漢帝家  
又 楊大年
- 143 翠幕瑤梯百尺樓，々前星斗自悠悠，天家仙會能多少，未<sub>（詞）</sub>平明已別愁  
又 范蜀公
- 144 天河唯有鵲橋通，万劫懽緣一瞬中，惆悵五更仙馭遠，寂寥雲幕掩秋風  
又 趙濟甫金人（16ウ）
- 145 拜月亭前梧影稀，穿針樓上覺秋遲，天孫正好貪歡笑，那得工夫賜巧糸  
又 淑真
- 146 三秋靈匹此宵期，万古伝聞是果非，脫俗未能還自咲，金針乞得巧糸歸  
又 同
- 147 未會牽牛意若何，須邀織女弄金梭，年々乞與人間巧，不道人間巧已多  
又 楊朴宋人
- 148 欲理凌波踏造舟，不知滿架勝蒙鳩，漢陰抱瓮蒼顏老，不上今宵乞巧樓  
又 包淝川元人
- 149 先生拙賦安於拙，司馬愚溪頗似愚，乞得巧來無用處，夜涼妨却睡工夫  
巧夕 范叔範金人（17才）（17ウ空白）
- 150 少皞磨成白玉盤，六丁擎出太虛寬，清光千古復千古，留向人間此夜看  
中秋 田表聖
- 151 天遣今宵無寸雲，故開秋碧掛冰輪，詩人不会衣沾露，為惜清光豈易親  
又 范文正
- 152 月華円滿正秋中，天上人間此夕同，桂魄十分澄浪海，水輪千里碾霜空  
又 周開祖宋人
- 153 把酒冰壺接勝遊，今年喜不負中秋，故人心似中秋月，肯為狂夫照白顏  
又 石屏
- 154 無雲世界秋三五，共看蟾盤上海涯，直到天頭天尽處，不曾私照一人家  
又 曹松唐人（18才）
- 155 王母粧成鏡未収，倚欄人在水精樓，笙歌莫占清光尽，留与溪翁一釣舟  
又 成文幹
- 156 夜々池边待月生，却愁此夜易天明，憑誰引取秋江水，添入銅壺報曉更  
又 劉無競
- 157 万里秋空掛玉盤，瓊樓杳々想高寒，四時此月曾無別，人自今宵別眼看  
又 同
- 158 佳辰無物慰相思，先賞空吟昨夜詩，莫怪更深仍坐待，密雲或有暫開時  
中秋無月 元敏之金人
- 159 銀漢無声露暗垂，玉蟾初上欲円時，清樽素瑟宜先賞，明夜陰晴未可知  
十四夜月 孫明復宋人（18ウ）

- 160 猶欠一宵輪未滿、紫霞紅襯碧雲端、誰能喚得嫦娥下、引向堂前子細看  
同 元稹
- 161 不。那。此身偏愛月、等閑看月即更深、仙翁每被常娥使、一度逢圓一夜吟  
中夜戲酬顧道士 羅隱
- 162 輕煙薄、靄九霄寒、素月渾如隔、穀看、此夕洞庭心更好、誰能從我跨青鸞  
中秋夜半後無雲而月色微淡尤為絕景 放翁 (19才) (19ウ空白)
- 163 九日無歡可得追、飄然隨意歷山陂、蔣陵西曲風煙慘、也有黃花三兩枝  
九日 荆公
- 164 一見黃花只自羞、蕭然短髮不禁秋、誰人為整烏紗帽、獨倚西風滿眼愁  
又 張芸叟宋人
- 165 九日清樽欺白髮、十年為客負黃花、淮海少年天下士、可能無事落烏紗  
又 後山
- 166 幾向他鄉逢九日、不須把酒已霑巾、眼前景物年々異、只有茱萸似故人  
又 約齋
- 167 滿懷黃菊籬邊折、兩架茱萸鏡裡開、落帽台前風雨隔、不知何處醉金盃  
又 虞玄城宋人 (20才)
- 168 衰客不似秋容好、坐上誰憐老孟嘉、牢裹烏巾莫吹却、免教白髮見黃花  
又 徐淵子宋人
- 169 破帽無情不受吹、滿頭霜雪已如絲、菊花咲我三秋客、風物撩人九日詩  
又 華岳
- 170 世事濛々醉不知、南山秋意滿東籬、黃花何故無顏色、心為元嘉以後詩  
又 文山
- 171 雨沐天容霽欲流、好山誇翠出牆頭、黃花憔悴東籬晚、一段陶家冷淡秋  
又 張仲楊
- 172 万里驚飈朔氣深、江城蕭索昼陰々、誰憐不得登山去、可惜寒芳色似金  
九日遇雨 薛能 (20ウ)
- 173 醉來風帽半欹斜、幾度他鄉對菊花、最苦酒徒星散後、見人兒女倍思家  
客中九日 石屏
- 174 茶花過雨十分香、山後山前已帶霜、何事東籬數枝菊、已將青藥趁重陽  
九日贈曾宏文 呂居仁宋人 (21才) (21ウ空白)
- 175 一盃歲酒莫留殘、坐看新年上鬢端、只恐梅花明日老、夜瓶相對不知寒  
除夜 陳去非宋人
- 176 爆竹聲中臘已殘、醪酥酒暖燭花寒、朦朧曉色籠春色、便覺風光不一般  
又 王暉軒宋人
- 177 北風吹雪四更初、嘉瑞天教及歲除、半盞醪酥猶未舉、燈前小草寫桃符  
又 曾公衮宋人
- 178 一年只有今宵在、心事悠悠陌上塵、風雪閉門誰念旧、燈火獨對未歸人  
又 雪岑 (22才) (22ウ空白)
- 時候門
- 179 水結東溪凍未漪、風凌枯木怒猶威、不知春力來多少、便有青蠅負暖飛  
立春 党世傑金人
- 180 東風吹散梅梢雪、一夜挽回天下春、從此陽春心有脚、百花富貴草精神  
又 玉蟾
- 181 自折梅花插鬢端、韭黃蘭茁簇春盤、澆醅酒軟渾無力、作惡東風特地寒  
立春前一日 淑真
- 182 遙想東風騎氣來、柴門迎日暖先回、鬢糸那待金花勝、面纈猶堪柏葉杯  
元日後一日立春 季謙 (23才)
- 183 人日纔過春日近、薄醪生菜旅亭頭、慈親鬢髮垂々白、応看諸孫弄土牛  
人日後一日立春 紫岩
- 184 花紅柳綠也逢時、潤色青春有小詩、人世若無吾輩在、東風寥落亦堪悲  
新春 甘東溪元人
- 185 雨燕初飛隴麦青、春雲將雨滯行人、雲間若有金烏壳、応被豪家占得春  
春陰 錢昭度宋人



- 213 三月名園草色青、夢回猶聽亮花声、春光不管人憔悴、飛絮紛紛弄晚晴、  
 214 依々楊柳已藏鴉、風遞鶯声透碧紗、洗尽春光連夜雨、海棠贏得兩三花、  
 215 晚雨冷々子夜風、杜鵑啼月小墻東、江南詞客惜春老、清曉披衣拾墜紅、  
 216 此春眼不到湖山、過了春光只等閑、願有東君相管領、時吹飛絮入簾看、  
 217 卷中未有好詩看、草滿池塘夢已殘、客又不來春已暮、一簾新雨杏花寒、  
 218 百花開尽到酴醾、一片春心又欲歸、可恨東風留不得、謾教啼鳥恨斜暉、  
 219 坐看飛溜落簷牙、吟裡風吹鬢脚斜、洛下牡丹無買処、一枝空插杜鵑花、  
 220 麥鬢。豆莢雨生肥、閑綠園林粉蝶飛、賸。實。好。花。安。四。壁、不。教。人。道。是。春。歸、  
 221 麥。黃。秧。碧。百。家。衣、已。熱。猶。寒。四。月。時、雨。後。覓。春。無。一。寸、野。薔。薇。發。醜。燕。脂、  
 222 紅紫光陰不久長、一声啼鳩靜年芳、陰々綠樹黃鸝語、將与人間作夏涼、  
 223 紛々紅紫已成塵、布穀声中夏令新、夾路桑麻行不尽、始知身是太平人、  
 224 梭。筭。方。天。麥。報。秋、梅。黃。雨。過。水。平。疇、春。婦。欲。帶。春。風。韻、枝。上。一。聲。黃。栗。留、  
 225 乳鴨池塘水淺深、熟梅天氣半晴陰、東園載酒西園醉、摘尽枇杷一樹金、  
 226 春光過眼祇須臾、榆莢楊花掃地無、却憶菩提湖上寺、綠荷擎雨看跳珠、  
 227 綠樹成陰四月天、紫桐花放石池邊、風光暗換人双鬢、一別江南二十年、  
 228 塞雁南來已北歸、鄉心空逐暮雲飛、棟花落尽寒猶在、月下金波点客衣、  
 229 長養薰風弘曉吹、漸開荷葉落薔薇、青虫也学莊周夢、化作南園蛺蝶飛、  
 230 桑間椹熟麥齊腰、鶯語惺惚野雉嬌、日薄人家晒蚕子、雨余山客壳魚苗、  
 231 竹搖清影罩幽窓、兩々時禽噪夕陽、謝却海棠飛尽絮、困人天氣日初長、  
 232 枝上渾無一点春、半随流水半随塵、柔桑欲椹吳蚕老、稚笋成竿繡鳳馴、  
 233 玉堂睡起苦思茶、別院銅輪碾露芽、紅日轉塔簾影薄、一双胡蝶上葵花、  
 234 老。天。紺。碧。日。黃。色、暑。氣。逼。人。如。酒。中、不。到。廣。寒。水。窟。裡、扇。頭。能。多。幾。多。風、  
 235 旋移石枕扞藤床、細洒槐陰趁晚涼、大地噉々困炉鼎、老。天。不。肯。下。殘。陽、  
 236 五月南風化蠓蚘、野塘晚筍未成蒲、櫻花落尽紅英細、沙渚鴛鴦半引雛、  
 237 瑤池十丈藕花香、清賞尤便水殿涼、聞說內家多富貴、冰盆浸果侑霞觴、  
 238 水晶簾捲午風輕、万壑清寒凌室冰、閑奏薰絃思解慍、肯教人世濁炎蒸、  
 239 冰壺冷浸玉芙蓉、三伏炎蒸一点無、淨洗硯池瀦墨瀦、乘涼要答故人書、

夏中雜書

放翁

又

又

又

真西山 (28ウ)

又

馬定国 金人

又

呂大鵬 金人

又

曹通用

又

閑々

又

同 (28才)

又

淑真

又

張文潛

又

徐寅 宋人

又

同

又

雪岑 (27ウ)

又

积梵崇

又

石屏

又

信庵

又

放翁

又

石屏 (27才)

又

誠齋

初夏

危稹 宋人

又

王叔安 宋人

又

劉改之 宋人

又

秋崖 (26ウ)

又

同

又

後村

又

同

又

信庵

240	矮屋。炎天不可居、高亭爽氣亦元無、小風不被蟬。今有些涼。到老夫	誠齋
241	南州四月氣如蒸、却憶炎中始買水、綠浦遊船常載妓、画廊浴鼓或隨僧	後村
242	六月冷官還解熱、解衣盤礴坐蒼苔、微風只在松梢上、着意招呼不下来	洪舜愈 (29 才)
243	秋日尋詩独自行、藕花香冷水風清、一涼覺詩難做、付与梧桐夜雨聲	秋崖
244	雨歇遽陰秋暗生、高林涼葉未知驚、炎蒸惡客元無用、新月故人双眼明	程明道
245	洗滌炎埃宿雨晴、井梧一葉報秋聲、氣從縹室葭莖起、風向白蘋洲渚生	和靖
246	巾子峰頭烏白樹、微霜未落已先紅、凭欄高看復下看、半在石池波影中	高蟾唐人 (29 才)
247	陽羨溪声冷駭人、洞庭山翠晚凝神、天将金玉為風露、曾為高秋幾度貧	秦少游
248	月团新碾淪花甕、飲罷呼童課楚詞、風定小軒無落葉、青虫相對吐秋糸	劉武子宋人
249	乳鴉啼散玉屏空、一枕新涼一扇風、睡起秋声無覺处、滿塔梧葉月明中	放翁
250	短髮颯々病骨輕、臨池閑看露荷傾、月明何与浮雲事、正向凹時故々生	九万
251	老去驚秋白髮添、不禁涼吹逼疎簾、樓高幸自蛩声遠、争奈梧桐又傍欄	董文甫金人 (30 才)
252	見即如無、無烟上雪、淡而有味、水中塩、齐行定惠千燈焰、淨識乾坤一鏡奩	劉得仁
253	雁落西風字々沈、嫩涼偷入藕花心、眼前多少閑心事、付与寒蛩徹夜吟	器之
254	西風吹破黑貂裘、多少江山惜倦游、紅葉已霜天欲雁、綠蓑初雨客吟秋	玉蟾
255	檢点秋光莫問天、只從鴻燕見推遷、未霜楊柳老多病、既雨芙蓉美少年	同
256	拄杖相尋訪夕陽、詩肩独聳到昏黃、白沙洲上西風起、黃葉声中秋意長	积介石 (30 才)
257	夢醒客枕漏初殘、斜倚高樓月滿欄、潮水東西寄音信、芙蓉花老雁声寒	荆公
258	紅梨無葉庇花身、黃菊分香委路塵、歲晚蒼官纔自保、日高青女尚橫陳	方巨山
259	至日觀書不幾行、梅梢橫月欲昏黃、漢宮紅影無人見、未必曾添一線長	石屏
260	年光流轉尋常事、無事驚心感慨多、一歲休祥在雲氣、今朝雲氣果如何	季昭文
261	一氣推遷星復回、人生常苦歲華催、凍雲欲雪雁声過、臘酒正春梅信來	周伯弼 (31 才)
262	虛堂人靜不聞更、独坐書灰对夜燈、門外不知春雪霽、半峰殘月一溪水	雪岑
263	白雲寂々樹蒼々、夜靜泉声到石房、淡月照窓寒夢醒、枕辺聞得野梅香	陳正夫
264	活水煎茶興未闌、簷花細雨夜生寒、有梅却恨窓無月、疎影何妨把燭看	放翁
265	少年交友尽豪英、妙理時々得細評、老去同參惟夜雨、焚香臥聽画簾声	張登
266	甲子徒推小雪天、刺桐猶綠槿花然、陽和長養無時歇、却是炎州雨露偏	

267 脱却驪裘付酒家、忍寒因得醉京華、一冬天氣如春暖、昨日街頭亮杏花、  
冬暖 石屏 (31ウ)  
268 臘月南州不類冬、梨花飄粉小桃紅、未曾飛動遙山雪、早有春三二月風、  
又 華岳 (32才) (32ウ空白)

錦囊風月卷之二

地理門

269 倚天双劍古今閑、三尺高於四面山、若使火雲燒得動、始應農器滿人間、  
廬山双劍峯 来鶴

270 風卷魚龍暗楚閩、白波沈却海門山、鵬騰鰲倒且快性、地坼天開摠是閑、  
揚子江 盧仝

271 西北浮雲捲暮秋、太行南麓照封丘、橫峰倒嶺知多少、行到燕山翠未休、  
太行山 范至能

272 天女殷勤織得成、龍綃千丈脫機杼、剛風吹落廬山頂、錯被人呼瀑布名、  
廬山瀑布 顧謹中 (33才)

273 鳳凰聞說似天壇、北者南來馬上看、想得松声滿岩谷、秋風無際海波寒、  
鳳凰山 趙濟甫

274 半夜東風攪鄧林、三山銀闕香沈沈、洪波万里兼天湧、一点金烏出海心、  
日觀峯 蕭真卿

275 封侯輸与曲如鉤、冷坐磻溪到白頭、老婦厨中莫彈鋏、白魚留待躍王舟、  
磻溪 李長源

276 僧憐海石為碁子、客懼蠶螺作酒盃、自咲平生喜韜略、此時何計上金台、  
三山亭 陶弼

277 蛮江水碧瘴花紅、白舫黃旗舞便風、涪万四時常避火、棚居高出乱雲中、  
三峽歌 放翁 (33ウ)

278 巨靈一夜劈山開、二石推從天外來、仙客斫開修月路、化工築作挽河台、  
江郎山 周雲叟

279 傾欹石片插漣漪、上有蕭々楊柳枝、藻荇半浮苔半濕、浣紗人去不多時、  
浣紗石 劉岩老

280 煙鬢霜鬢化為石、不學世人空斷腸、江南江北有行客、万事何如婦故鄉、  
望夫石 邵沢民

281 白沙清淺不容舟、遼宋封疆限此溝、到了山河無定主、碧波依旧只東流、  
白溝 盧仁甫

282 咸陽宮闕蔚嵯峨、六国樓台艷綺羅、自是當時秦帝醉、不関天地有山河、  
咸陽 義山 (34才)

283 渤海聲中漲小堤、官家知後海翁知、蓬萊有路教人到、應亦年年稅紫芝、  
新沙 裴夷直

284 遼郭芙蓉拍岸平、花深蕩漿不聞声、万家咲語荷花裡、知是人間極樂城、  
吳興 林子中

285 冷日微煙渭上愁、華清宮樹不禁秋、霓裳一曲千門鎖、白尽梨園弟子頭、  
過驪山 孟遲

286 催老年光衰々来、好懷知欲向誰開、箕山潁水春風裡、呼起巢由共一杯、  
過崧山 趙仲常

287 玄德蒼黃起臥龍、鼎分天下一言中、可憐蜀国関張後、不見商量徐庶功、  
過隆中 崔道融 (34ウ)

288 紫蓋橫天整復斜、興亡接翅似昏鴉、旧時石闕磨雲处、荻屋荆扉三兩家、  
台城 洪舜愈

289 昌国寺前楓樹秋、琵琶洲畔暮雲愁、沙頭潮落灘声急、疑是潯陽泪未收、  
琵琶洲 聶古柏

290 雪楼当日動清寒、渭水梁山鳥外看、聞說德宗曾到此、吟詩不敢倚欄干、  
宝応県 陸游

- 291 唐僧巢、屋、近雲霄、如此高風世無招、咲殺侍郎行處險、街頭騎馬鬢飄蕭  
錢塘 季潭
- 292 風涼津濕共微々、隔岸泉衝石竅飛、争得巨靈從野性、旧郷無此孽將歸  
西県道中短亭 薛能 (35才)
- 293 一葉飄然下弋陽、殘霞昏日樹蒼々、吳溪漫渚干將劍、却是猿声斷客腸  
弋陽館 張祐
- 294 山木漂搖臥弋陽、因思太白夜淋浪、芭蕉一枕西窓雨、復似當時水邊床  
四車館在信州弋陽、々々信州吳名 荆公
- 295 立馬飛書万衆看、雪花滿硯指皆寒、自憐衰憊今如此、枕上裁詩字未安  
滄浪館 後村
- 296 晚風高樹一襟清、人与纓、燈相照明、謝女微吟有深致、海山星月摠関情  
高麗館 蔡伯堅
- 297 古木蒼山掩翠娥、月明南浦起微波、九疑望斷幾千載、斑竹淚痕今更多  
過湘妃廟 許渾 (35ウ)
- 298 碧、杜、紅、蘅、縹、渺、空、水、糸、彈、月、夢、清、涼、峯、巒、一、々、俱、相、似、九、処、堪、疑、百、斷、腸  
湘妃廟 同
- 299 玉輦金根去不回、湘川秋晚楚絃哀、自從泣尽江蘿血、夜々愁風怨雨來  
又 同
- 300 目斷魂銷正惘然、九疑山際路漫漫、何人知得心中恨、空有湘江竹万竿  
二妃廟 尤啓中
- 301 禹巡吾国三千歲、陳迹銷沈渺莽中、豈独江山無定主、苔磯知換幾漁翁  
禹廟 放翁
- 302 曾、將、一、劍、定、全、吳、斗、大、祠、庭、泣、楚、巫、故、国、神、遊、応、撫、掌、芦、花、楓、葉、幾、年、無  
吳大帝廟 茶山 (36才)
- 303 蒼々古廟映林巒、霧々煙霞覆石壇、精魄不知何处在、威風猶入浙江寒  
伍相廟 常雅
- 304 早則為霖水則舟、若人端合夢中求、荆王枕上陽台雨、板築英雄老死休  
武丁廟 雲卿
- 305 為嫌朝野尽陶々、不覺官高怨亦高、憔悴莫酬漁父笑、浪交千載詠離騷  
三閭廟 汪遵
- 306 乱猿啼処訪高唐、路入煙霞草木空、山色未能忘宋玉、水声猶似哭襄王  
高唐神女廟 韋莊
- 307 寂寞高堂別楚君、玉人天上逐行雲、停舟十二峯巒下、幽佩仙香半夜聞  
宿巫山廟 群玉 (36ウ)
- 308 鸞龍一夜降昆丘、遺廟千年枕碧流、賺得武皇心力尽、忍看煙草茂陵秋  
王母廟 吳融
- 309 蓮華峰下鎖雕梁、此去瑤池地共長、好為麻姑到東海、勸栽黃竹莫栽桑  
華山題王母廟 義山
- 310 中条山下黃礪石、豈作夷齊廟裡神、樹葉滿階塵滿座、不知澆酒為何人  
伯夷廟 盧綸
- 311 峨々商嶺采芝人、雪頂霜髯虎豹茵、山酒一卮歌一曲、漢家天子忌功臣  
四老廟 許渾
- 312 避秦安漢出藍関、松桂花陰滿旧山、自是無人有婦意、白雲長在水潺潺  
又 同 (37才)
- 313 本為留侯慕赤松、漢庭方識紫芝翁、蕭何只解追韓信、豈得虚当第一功  
又 義山
- 314 奪嫡心萌事可憂、四賢四笑暫安劉、後王不敢論珪組、土偶人前枳樹秋  
商山祠 竇常
- 315 吕氏強梁嗣子柔、我於天性豈恩讐、南軍不袒左辺袖、四老安劉是滅劉  
商山廟 杜牧
- 316 臥逃秦乱起安劉、舒卷如雲得自由、若有精靈応咲我、不成一事謫江州  
又 樂天
- 317 縱酒疎狂不治生、中陽有土不歸耕、偶因世乱成功業、更向翁前与仲争  
漢高祖廟 張安道 (37ウ)



- 318 朝言雲夢暮南巡、已為功名少退身、  
 盡握兵權猶不得、更將心計託何人  
 韓信廟 許渾
- 319 將略兵機命世雄、蒼黃鐘室難良弓、  
 遂令後代登壇者、每一尋思怕立功  
 又 禹錫
- 320 築壇拜日恩雖厚、躡足封時慮已深、  
 降準早知同鳥喙、將軍必有五湖心  
 淮陰廟 錢諫議
- 321 玉輦曾經陷楚宮、漢皇心怯擬休兵、  
 當時不得將軍力、日月須分一半明  
 樊將軍 汪遵
- 322 空使秦人咲沐猴、錦衣東去竟何求、  
 可憐了々重瞳子、不見山河遶雍州  
 項羽廟 許彥國 (38才)
- 323 千載興亡莫浪然、漢家功業亦荒丘、  
 空余原上虞姬草、舞盡春風未肯休  
 西楚霸王廟 許袞
- 324 為虜為王尽偶然、有何羞身漢江船、  
 平分天下猶嫌少、可惡行人贈紙錢  
 又 李山甫
- 325 青史編名在篋中、故林遺廟掛仁風、  
 還將文字如顏色、暫下蒲車為魯公  
 經中牟魯公廟 竇群
- 326 曹娥廟貌樹豐碑、千古行人誦色糸、  
 苦恨當時題八字、不旌賢孝只旌辭  
 曹娥廟 錢惟岳
- 327 青娥埋沒此江浜、江樹颺颺倦暮雲、  
 文字在碑々已墮、波濤辜負色糸文  
 又 趙嘏 (38ウ)
- 328 綺薦銀屏空積塵、柳眉桃臉暗消香、  
 不中更學陽台女、為雨為雲趁惱人  
 玉女廟 張安石
- 329 古原荒廟掩莓苔、何處喧々鼓笛來、  
 日暮烏啼人散尽、野風吹起紙錢灰  
 野廟 吳融
- 330 王子求仙月滿台、玉簫清轉鶴徘徊、  
 曲終飛去不知處、山下碧桃春自開  
 猴山廟 許渾
- 331 子晉廟前山月明、人間往々夜吹笙、  
 鸞吟鳳唱聽無拍、多似霓裳散序聲  
 王子晉廟 樂天
- 332 開元四荒不動塵、柱石中原有老臣、  
 壤土一丘松柏暗、長安三日荔支新  
 宋文貞公廟宋璟諡文貞 周常山 (39才)
- 333 征南籌幄豈尋常、功烈應封異姓王、  
 黃鶴不歸人世變、廟前松柏飽風霜  
 常山王廟 一初
- 334 海角釣龍人杳々、雲間待雁路迢々、  
 若為借得山頭石、每到高秋坐看潮  
 南台閩越王廟 德機
- 335 來往鍾山住半腰、騎驢松下暮蕭々、  
 只因墩号分人我、到了絳綸恨不消  
 王荆公半山祠 聖徒
- 336 龕中眉宇有仙標、猶似騎驢白下橋、  
 拜了独行松下路、一池莎草正青苗  
 過定林拜王荆公祠 葉唐卿
- 337 玉環妖血汗寰中、豈有靈祠祀鬼雄、  
 莫是仙山真縹渺、雪膚花貌主珠宮  
 日東有楊貴妃祠 景濂 (39ウ)
- 338 松樹高低逐徑斜、祠堂牢落鎖煙霞、  
 我來閑詠梅花句、想見此翁如此花  
 和靖祠 吳荆溪
- 339 一霄魂類徒南溟、靡待仙官勅六丁、  
 宗閔与紳空並世、可憐不似鱷魚靈  
 韓愈祠 後村
- 340 地悴天荒丘隴平、難從野老問衰興、  
 蒼煙落日低迷處、折足麒麟記壞陵  
 石麒麟 曾極
- 341 雨摧風剥校官碑、集古先生竟不知、  
 同是光和千歲刻、未容古鼎独称奇  
 校官碑 (ナシ)
- 342 金掌仙人曉露空、茂陵桂樹起秋風、  
 人間自有長生藥、不到真珠甲帳中  
 茂陵 (ナシ) (40才)
- 343 龍盤虎踞樹層々、勢入浮雲亦是崩、  
 一種青山秋草裡、路人唯拜漢文陵  
 經秦皇墓 許渾
- 344 長策東邊極海隅、鼉鼉奔走鬼神趨、  
 憐君未到沙丘日、肯信人間有死無  
 始皇陵 羅隱



- 370 紅樹蕭々閣半開、上皇曾幸此宮來、至今風俗驪山下、村笛猶吹阿濫堆。同 張祐
- 371 椒宮荒宴竟無疑、倏忽山河盡入隋、留得後庭亡國曲、至今猶與酒家吹。陳宮 (ナシ)
- 372 鄭姐無言下玉墀、夜來飛箭滿罌罍、越王定指高台咲、却見當時金鏤楣。館娃宮 日休
- 373 來時殘雪点征衣、落尽庭花尚未歸、夢裡不知身是病、春衫歸路馬如飛。万壽宮 劉靜脩 (44才)
- 374 万花如繡擁青紅、梯石稜層見梵宮、一十二時春百刻、日長半在鳥声中。靈心宮 德機
- 375 龍舟東下事成空、蔓草萋々滿故宮、亡國亡家為顏色、露桃猶自恨春風。隋宮春 牧之
- 376 金屋煌々列九霄、吳王沈醉越娃嬌、一從鳳管聲消後、僧在龍樓看雪潮。館娃宮 實存
- 377 蔓草春深綠更齊、玉鞭何處選芳菲、旧時錦繡叢中蝶、却傍疎籬野菜飛。題渚宮 廖高峰
- 378 天塹連天付水犀、離宮表裏万山圍、越帆直指吳松落、猶在娃宮醉不歸。夫差避暑宮 北礪 (44ウ)
- 379 君恩已尽欲何歸、猶有殘香在舞衣、自恨身輕不如燕、春來還繞御簾飛。長信宮 趙嘏
- 380 蛇分鹿死已無秦、五十年來漢苑春、問着流鶯無一語、柳條依旧扒牆新。隆德故宮 趙仲常
- 381 文昌新入有光輝、紫界宮牆白粉圍、曉日鷄人伝漏箭、春風侍女護朝衣。宮殿 樂天
- 382 禁門煙起紫沈々、樓閣当中複道深、長到暮天凝不散、掖庭宮裏夢秋砧。同 王涯
- 383 五帝樓台銷碧霞、終年培養牡丹芽、不妨野鹿踰垣入、銜去宮中第一花。同 張俞 (45才)
- 384 行殿峨々出綠槐、琳房芝闕聳崔嵬、管絃飄落人間去、幢節疑從天上来。同 六一
- 385 簾外微明燭下粧、殿門放<sup>(鎖力)</sup>侍君王、玉階地冷羅鞋薄、衆裏偷身倚御床。同 同
- 386 滿窓明月滿簾霜、被冷燈殘扒臥床、燕子樓中霜月夜、秋來只為一人長。燕子樓 樂天
- 387 樓上殘燈伴曉霜、独眠人起合歡床、相思一夜情多少、地角天涯不是長。同 盼々張建封妾
- 388 江上晴樓翠靄間、滿簾春水滴窓山、青楓綠草將愁去、遠入吳雲暝不還。太白樓在漢陽 (ナシ) (45ウ)
- 389 白雪樓中一望鄉、青山簇々水茫茫、朝來渡口逢京使、說道煙塵近洛陽。白雪樓在鄂州 (ナシ)
- 390 利及生人無更為、落花流水旧城池、逍遙樓上雕龍字、便是羊公墮淚碑。逍遙樓傷故事大夫 熊孺登
- 391 北固高樓海氣寒、央君心此凭欄干、春山雨後青無數、借与淮南子細看。北固樓 范希文
- 392 僧棹漁舫恣往還、澄波如鑑照群山、遠湖三百浮函舍、祇是憑欄一瞬間。望湖樓 清猷
- 393 隱侯詩餽滿東吳、八詠詩章意思殊、世<sup>(説力)</sup>当年清瘦甚、不知全為苦吟無。八詠樓 同 (46才)
- 394 奇峰列々樹蒼々、每愛危欄挹翠光、宿鳥歸時看最好、淡煙一抹鎖斜陽。宜晚樓 雪岑
- 395 幽閣重々罨画開、老禪深住白雲堆、欄干独倚秋天外、招得西山爽氣來。西爽樓在雲居庵 一初
- 396 秋月春風幾凭欄、菰蒲斷岸荻花灣、江南山色青如許、不見江樓祇見山。江山樓在真州 洪盤隱

- 397 憂人何處可消憂、碧瓦紅欄流水頭、從此潯陽風月夜、崔公樓替庾公樓  
398 小書樓下千竿竹、深火炉前一盞燈、此處與誰相伴宿、燒丹道士坐禪僧  
399 山雪樓頭半夜明、天風吹下讀書聲、勸君莫把離騷讀、見說梅花恨未平  
400 一樓瞰碧石湖隱、簾隔輕塵翠竹深、月色滿欄風滿案、分明呈露聖賢心  
401 架岩鑿石結層樓、々外清江袞々流、想見夜深風月冷、一聲橫笛滿山秋  
402 水岸閑樓帶月躋、夏林初見岳陽溪、一点新螢報秋信、不知何樹是菩提  
403 突兀樓居倚碧空、松江西畔大湖中、天垂十二欄干角、月滿三千世界中  
404 霧幕煙迷十二欄、壺觴招我一躋攀、黃簾卷起湘川竹、分得西州數点山  
405 嬰武新班宴杏園、不妨老鶴已乘軒、龍津橋上黃金榜、三見門生是狀元  
406 江南地暖少嚴風、九月炎涼正得中、溪上玉樓々上月、清光合作水晶宮  
407 灑水初晴物候新、澹霞閣上最宜春、山花四面風吹入、為我鋪床作錦茵  
408 翠靄空霏有似無、筆端誰著此工夫、溪山本被人圖畫、却道溪山似畫圖  
409 臨春高閣上侵雲、風起香飄數里聞、自是君王正沈醉、豈知消息報隋軍  
410 結綺高宜眺海涯、上凌丹。弘。雲霞、一千朱翠同居此、争奈恩多属麗華  
411 巋然一閣倚林垆、中有神龍臥不驚、六月青天無点雨、幾人來此看雲生  
412 池閣孤清瞰碧流、太虛懷抱物華秋、円。蟾。照。有。中。宵。約。幾。点。閑。雲。為。我。收  
413 錦川城裡玉溪橫、溪上浮圖画閣明、我念官拘登未暇、有風終日為誰清  
414 陵陽郡事全稀少、懶守長羸半日閑、晚後須來上高閣、就中無厭是雲山  
415 跨壑飛簷屋數楹、上橫山下下溪聲、等閑題作丹青閣、未必丹青画得成  
416 觀跡成文代結繩、皇風儒教浩然興、幾人從此休耕釣、吟對長安雪夜燈  
417 嵩棘空存百尺基、酒酣曾唱大風詞、莫言馬上得天下、自古英雄尽解詩  
418 劉項興亡轉燭過、乱蟬吟破漢山河、長陵臥老咸陽月、沛上猶傳擊筑歌  
419 平流白日無人愛、橋上閑行若个知、水似晴天々似水、兩重星点碧瑠璃  
420 老尽梧桐鳳不來、虛名猶占旧層台、朝陽照破興亡夢、一径花陰自綠苔  
421 芳草台邊魂不歸、野煙喬木弄殘暉、可憐高祖清平業、留与閑人作是非  
422 百千家似圍棋局、十二街如種菜畦、遙認微々入朝火、一条星宿五門西  
423 臨高始見人寰小、对遠方知色界空、回首却歸朝市去、一稊米落太倉中
- 新樓崔使君樓也 樂天  
竹樓宿 同 (46ウ)  
梅樓 鄭碩  
書樓 实存  
石上小樓 謝無逸  
南樓夏夜 賈島  
樓 紫岩 (47才)  
李氏友雲樓 王敏夫  
狀元樓 同新進士呂子成輩宴集此樓 張大節  
明月樓 吳興因此謂之水晶宮 楊傑  
澹霞閣 肩吾  
丹青閣 翁靈舒 (47ウ)  
臨春閣 孫元晏  
結綺樓 同  
龍井閣 南峯  
水月閣 清猷  
清風閣 同 (48才)  
平雲閣 文与可  
丹青閣 趙季西  
蒼頡台 汪遵  
歌、風、台 陳陶  
同 之昂 (48ウ)  
水月台 李涉  
鳳凰台 陳碧礪  
望思台 羅隱  
登觀音台望城 樂天  
登靈応台北望 同 (49才)

424	礼士招賢方古名、高台依旧对燕城、如今寂寞無人上、春去春来草自生	燕台	汪遵
425	輦土爲台積恨深、宮門金氣尚森々、當時吳破兆兵力、只在西施一捧心	越王台	一初
426	魏帝當時銅雀台、黃花深映棘叢開、人生富貴須回首、此地豈無歌舞來	銅雀台	薛大拙
427	尽將歌舞閉遺宮、豈是平生志不充、借問鼎歸司馬後、有誰來此望陵中	同	季潭
428	三聘殷勤起富春、如何一宿便辭君、早知閑脚無伸処、只合空山臥白雲	釣台	林可山 (49ウ)
429	山凍江流激素灘、羊裘立尽暮雲寒、早知釣餌成虚説、多却當時一釣竿	同	沈庸齋
420	万事無心一釣竿、三公不換此江山、平生恨識劉文叔、惹得虚名滿世間	同	石屏
431	饒舌從教奏客星、袞衣争似一糸輕、當時只道歸來好、不道歸來更得名	同	秋江
432	昨夜扁舟宿釣灘、清風猶自逼人寒、我來不是求名者、何必先生冷眼看	泊釣台	劉隨如
433	潮去潮來洲渚春、山花如繡草如茵、嚴陵台下桐江水、解釣鱸魚有幾人	釣台	許渾 (50才)
434	漢包六合網英豪、一箇冥鴻惜羽毛、世祖功臣三十六、雲台争似釣台高	同	希文
435	幸自無人識客星、桐江儘可了生平、當時只合簑衣釣、却被羊裘誤得名	同	黃宜山
436	昔与劉郎是故人、劉郎能客不能臣、今人稍有南陽旧、肯学先生老富春	同	趙竹屋
437	漢室興亡一聚塵、山河社稷幾番新、独余七里灘頭水、只属嚴家不属人	同	無文
438	赤帝青氈僅已還、華助高躅未容攀、詩家摠認婦休意、不到狂奴兩字間	同	之奇 (50ウ)
439	生涯千頃水雲寬、舒卷乾坤一釣竿、夢裡偶然伸双脚、渠知天子是何官	同	無名氏
440	辣塌山頭一草亭、只消此地了生平、崎嶇狭世纔伸足、又被劉郎壳却名	同	平甫
441	節義功名摠不輕、南宮凶像煥丹青、如何只画風雲將、不画桐江一客星	同	成齋堂
442	斷崖初未有人蹤、只合先生著此中、漢室也無一抔土、釣台今是幾春風	同	誠齋
443	春花秋月入詩篇、白日清宵是散仙、空捲珠簾不會下、長移一榻对山眠	隱霧亭	魚玄機 (51才)
444	独將詩教領諸生、但愛青山不愛名、滿院竹声堪愈疾、乱林花片足忘情	麗句亭 秦系亭也	韋莊
445	若非天上神仙宅、須是人間將相家、想得當時好風月、管絃吹殺後庭花	令狐亭	韋莊
446	喬柯門裡自成陰、散髮窓中曾不簪、逍遙且喜從吾事、榮寵從來非我心	崔処士林亭	裴迪
447	不修仁德合文明、天道如何擬力争、隔岸故鄉歸不得、十年空負拔山名	項亭	汪遵
448	薄煙如夢雨如塵、霜景晴來却勝春、好住池西紅葉樹、明年今日伴何人	雲夢亭	崔櫓 (51ウ)
449	会峯亭对大屏風、万秀千奇聳碧空、不識誰能奪造化、真仙世界一壺中	会峯亭	清獻
450	水南脩竹弄晴暉、花落溪風白鳥飛、尽日倚欄人不見、自携詩卷月中歸	翫野亭	道原

451	險夷一節如金石、勳德俱高映古今、豈止忘機鷗鳥信、鈞陶万物本無心	狎鷗亭	六一
452	水鳥栖煙夜不喧、風伝宮漏到湖邊、三更好月十分魄、万里無雲一様天	依綠亭	淑真
453	欄干風冷雪漫々、惆悵無人把釣竿、時有官船橋畔過、白鷗飛去落前灘	釣雪亭	姜白石 (52才)
454	虎帳奸雄昼夢回、急呼五騎逐黃鬚、智高識敏真英主、七宝神鞭付老嫗	翫鞭亭	実存
455	煙籠遠浦迷芳草、日照澄湖侵碧峰、幸有清樽堪醖酌、忍陪良友不從容	置翠亭	荊公
456	簾外群山当画屏、白雲如水度中庭、松花落径無人掃、失却莓苔一半青	静芳亭	袁伯長
457	簿書纔了晚衙催、且上高亭眼暫開、野鴨成群忽驚起、定知城背有船來	淨遠亭	誠齋
458	佗問天、玉此埋堙、千古誰分偽与真、每向小庭風月夜、却疑山水有精神	玉光亭	荊公 (52ウ)
459	秋霽濤江氣象寬、龍山亭聳凭雲端、老僧欲快吾心目、施剪当軒竹数竿	白賁亭 <small>在開元寺</small>	清猷
460	青雲随步覺身高、燕雀卑飛不敢巢、民屋万家都下瞰、欄干迢遞出林梢	扨雲亭	同
461	窓含翠。雨。琴。書。潤。門掩蒼苔枕簟涼、夢覺不知春已夏、一声黃鳥日初長	繁陰亭	道原
462	嘿坐焚香儘自佳、莫随俗眼乱空花、古今人物不相遠、勘破中間只隔些	采芹亭	秋崖
463	水流花落石生雲、日静風暄草欲薰、老去風流猶未減、一丘一壑要平分	訪山亭	陳觀 (53才)
464	雨後西山翡翠堆、結亭直欲近岩隈、從今記取溪頭路、一日須來一百廻	同	同
465	慘々秋風吹客襟、唐人遺跡宋人吟、浮雲世事多遷變、不独此事無綠陰	題唐人綠陰亭	戴復古
466	遠鐘入枕報新晴、衾鉄、衣稜夢不成、起傍梅花讀周易、一窓明月四簷声	讀易亭	魏鶴山
467	浩々白雲溪一色、冥々青竹鳥三呼、只今那得王摩詰、画我凭欄覓句凶	賦詩亭	簡齋
468	碧池萍嫩柳垂波、綺席糸。鋪。每翠娥、為報会稽亭上客、永和心不勝元和	風光亭	劉言史 (53ウ)
469	家在匡廬。疊。翠。層。雲。開。彷彿見微稜、褰衣欲上千岩去、隔岸扁舟喚不应	湛然亭	覺範
470	小亭与客登臨処、閑暇江山又故丘、最愛名花每含笑、更憐幽草解忘憂	信美亭	同
471	亭中偶坐悠然見、不学王郎拄笏看、多謝秋山每傾倒、潑雲秀色墮欄干	致爽軒	同
472	遙知与客登臨処、看得雲山到落暉、四注小亭清入画、万竿寒玉碧成围	環翠亭	同
473	夜色澄々海氣深、水光蕩漾上簾旌、冰肌玉骨便清夢、不為吹簫送月明	桂亭	伯生 (54才)
474	朔風凜々雪漫々、此際寒亭未是寒、六月火雲天下雨、請君来此凭欄干	寒亭	陳月觀
475	約住山雲倚斷欄、雲如秋薄揜松関、对山終日無佳句、山不負予、予不負山	山亭	秋崖
476	介亭群石似飛来、深挿雲根阿々排、占得群峯最高地、翠姿何処有塵霾	介亭	清猷
477	方床岸幘坐来遲、扨々涼風半醉時、好句忽、円人拍手、鷺鷥驚起藕花池	池亭	実存

- 478 折得官橋楊柳枝、春風依旧綠糸々、啼鶯為向行人道、離別何時是。客亭 之昂 (54ウ)
- 479 花、圍竹、護錦、成林、簷、庄紅雲、遶砌深、燕子來時寒未了、莫教簾幕帶春陰。雲錦亭 北礪
- 480 絕頂煙開霽色新、万家台觀密如鱗、城中楚々銀袍子、來説會碑有幾人。福州道山亭南豐作記 後村
- 481 欄、干三、面倚、秋空、渺々寒波拍々風、莫種垂楊當望眼、恐妨中散送歸鴻。雲海亭 潘德久
- 482 許由為計未為深、洗耳如何不動心、到此洒然如世外、何嘗更有事來侵。汚亭 康節
- 483 晴波一派瀉銀潢、雲錦樓翻織女裳、好記西風天上月、丹心願補舜衣裳。錦波亭 趙閑々 (55才)
- 484 刻桷朱楹墮紺紗、裙腰草色趁塔斜、誰知剥落亭中石、曾聽宣和玉樹花。龍德宮八景亭 子瑜
- 485 日暮西風吹竹枝、天寒杖屨獨來時、門前流水清如鏡、照我星々兩鬢糸。諸樂亭 王子端
- 486 釣台逸老心非傲、浮石仙人跡尚存、对岸煙林双仏寺、隔灘風笛一漁村。濯纓亭 趙閱道
- 487 元祐年間花雨地、一原還是旧風煙、欄前草木皆新出、独許蒼松見蜀仙。綠野亭在余杭景觀東坡旧題 物初
- 488 花氣炉煙綫不同、噴青噴翠小窓風、中辺故嗅渾無有、心跡相忘忽暗通。細香軒 鐸宣叔 (55ウ)
- 489 星落江東化梵宮、樓台金碧駭魚龍、北軒端有南康趣、只尺匡廬五老峯。豈翠軒 謝無逸
- 490 橘州不見千木奴、松徑猶存幾大夫、必照軒中望城市、朝晴暮靄摠堪囒。必照軒在嶽麓 張子文
- 491 仙事茫茫不可知、籀龍空此見孫枝、壺中若有閑天地、何苦歸來問葛陂。籀龍軒 荊公
- 492 樓前宿鶯起星河、近歲江南雪轉多、投老鍾山寒不寢、滿山松竹夜如何。聽雪軒 伯生
- 493 鄭家亭子枕中流、一碧清涵大古秋、坐到鳶飛魚躍處、天光雲影共悠悠。涵碧軒 一初 (56才)
- 494 不用山僧供帳迎、世間無此竹風清、独拳一手支頤臥、偷眼看雲生未生。竹軒 葛敏修
- 495 動入和風靜惹煙、翠条疎処露池蓮、林中尽是能吟物、春有黃鸝夏有蟬。柳軒 清猷
- 496 簡編遮眼送余生、老境人情一羽輕、独喜西軒千箇竹、最先群物報秋声。西軒 (ナシ)
- 497 黃塵赤日汗霑裾、竹裡煎茶喜有余、堪咲放翁窮巧意、就君池館説君書。致爽軒 放翁
- 498 夕陽塵外漲郊墟、六々峯頭夢覺余、竹色喚人來下馬、乱蟬深処有囒書。同 石湖 (56ウ)
- 499 雲似杜陵懷古処、江如謝朓得詩時、兩家南北千年事、落日孤帆海上歸。浮遠堂 陳寧子之
- 500 一杯仙茗雪花白、數片甘瓜碧玉香、但得心閑無个事、人間何地不清涼。雨華台 虞橫溪
- 501 柳外西風六幅蒲、野塘睡鴨对春鉏、如何喚得王摩詰、画作江南煙雨囒。王氏平遠堂 蘇養直
- 502 分得山雲老一(飄方)、夢寒不記紫宸朝、無人會得閑中意、吟入梅花雪逕遙。亦樂堂 秋崖
- 503 茗溪清淺雪溪斜、碧玉寒光照万家、誰向月明終夜聽、洞庭漁笛隔芦花。碧瀾堂 陳堯佐 (57才)
- 504 綠李黃梅繞屋疎、秋眠不著鳥相呼、雨声偏向竹間好、山色漸從煙際無。野堂 庭筠

- 505 一樹秋風啼老鳥、鍾山猿鶴近何如、六經不載青苗法、不識當時讀甚書、  
荊公讀書堂 崔復初
- 506 松蘿瀟灑似居山、賓退公余半是閑、誰會樂天虛白意、只佯詩句落人間、  
虛白堂 清猷
- 507 堂前多種紫荊枝、堂上能啼白髮兒、但恨後來風雅廢、南陵不似古人風、  
孝友堂 德機
- 508 生公說法鬼神聽、身後堂空夜不扃、高座寂寥塵漠々、一方明月可中庭、  
生公講堂 禹錫 (57ウ)
- 509 靜中亭榭隔紅塵、水色山光日日新、不用沿溪種松竹、主人元是歲寒人、  
歲寒堂 趙思文
- 510 人生自是人間客、月亦天边寄此身、彼此虛空無著處、誰歎是主復誰賓、  
葉東叔賓月堂 梁隆吉
- 511 白髮高堂昼霧昏、自將忠義教兒孫、迎頭種得千株柳、春雨深々荷主恩、  
楊夫人柏舟亭 伯生
- 512 歷陽賓主昔多賢、三老風流二十年、獬豸冠中曾補袞、鳳凰池上迭擎天、  
三老堂 劉莘老
- 513 旋移松石成岩壑、時引笙歌入醉鄉、吏散簾垂公事畢、清風一榻傲羲黃、  
吏隱堂 李光 (58才)
- 514 憧々車馬競春遊、不見溪堂五月秋、臥聽雲濤春午枕、夢隨鷗鳥落沙洲、  
均福堂 劉岩老
- 515 人亦何依曰此仁、吾心無限好精神、君還會得依仁意、李核桃穠總是春、  
依仁齋 秋江
- 516 施汲清泉起穀紋、定知晏永是前身、個中自可逃真性、不用淋漓污葛巾、  
醉墨齋 宇文虛中
- 517 傍人但咲腹便々、枕藉詩書正昼眠、不識先生真悟處、未離文字已逃禪、  
醉翠齋 同
- 518 詩書讀破自融神、不羨雲安麴米春、黃卷至今真味在、莫將糟粕待前人、  
醉經齋 常山 (58ウ)
- 519 松上江雲石上苔、自嫌婦去夕陽催、山門握手無他語、只約今冬看雪來、  
無本上人小齋 鄭谷
- 520 無心唯有白雲知、閑臥高齋夢蝶時、不覺東風過寒食、雨來萱草出芭籬、  
齋中 羊士諤
- 521 籬外誰家不繫船、春風吹入釣魚灣、小童疑是有村客、急向柴門去却閑、  
谿屋 崔道融
- 522 竹軒臨水靜無塵、別後覺鷺入夢頻、杜若菰蒲煙雨歇、一谿春色屬何人、  
憶溪居 李中
- 523 共愛碧溪臨水住、相思來往踐莓苔、而今却似嫌溪水、雨漲春流隔往來、  
谿居 劉商 (59才)
- 524 一顧成周力有余、白雲閑釣五谿魚、中原莫道無麟鳳、自是皇家結網疎、  
閑居 陳陶
- 525 杖屨獨游栽葉圃、琴樽多在釣魚船、晚來花下敲門客、不是詩仙即酒仙、  
幽居 僧楚巒
- 526 覆榻一床單紙被、掛身三事旧麻衣、吾廬只在深雲裡、咲折梅花月下歸、  
山居 淮海
- 527 翠微深處結茅廬、著我閑身一事無、占得白雲三萬頃、年々不用納官租、  
同 實存
- 528 禪堂茶散卷殘經、竹杖麻鞋信脚行、山尽路回人跡絕、竹鷄時作兩三聲、  
同 僧如璧 (59ウ)
- 529 欲向西山學採薇、可憐身瘦得名肥、天邊多少能鳴雁、不到衡陽不肯歸、  
同 淮海
- 530 家住夕陽江上村、一灣流水護柴門、種來松樹高於屋、借与春禽養子孫、  
江居 葉苔磯
- 531 草堂有燕賀新成、沙渚無鷗統旧盟、滿逕落紅風掃靜、一渠春碧雨添平、  
村居 楊果



- |     |                                 |         |          |
|-----|---------------------------------|---------|----------|
| 558 | 野寺尋花春色遲、背岩唯有兩三枝、明朝携酒猶堪賞、為報春風且莫吹 | 春晚遊鶴林寺  | 李涉 (62ウ) |
| 557 | 水落天晴山翠開、愛山騎馬入山來、心知不及柴桑令、一宿西林便却回 | 宿西林寺    | 藏叟       |
| 556 | 小橋路入野僧家、山犬眠莎向日斜、庭戶幾時風雨橫、粉牆壓倒似桑花 | 光嚴寺雨後過之 | 荊公       |
| 555 | 路過湖溝八九盤、招提雪脊隱雲端、金鈿一々花摠老、翠被重々山更寒 | 法雲寺     | (ナシ)     |
| 554 | 一樹桃花一半空、不堪狼藉梵王宮、山僧閑把青鸞尾、背却東風掃落紅 | 山寺      | 苔磯       |
| 553 | 松窓一夜遠潮生、斷送幽人睡失明、夢覺不知春已去、半簾紅雨落無聲 | 山寺早起    | 劉因 (62オ) |
| 552 | 孤撐山作碧螺髻、漫散水成蒼玉鱗、野寺荒涼人不到、水光山影正橫陳 | 巨然山寺    | 任君謨      |
| 551 | 花磚凝潤午風涼、日影鶯聲睡思長、一陣打窓山雨過、忽聞滿閣焙茶香 | 憩青蓮寺    | 天隱       |
| 550 | 君山空有洞庭湖、無此雲屏九疊面、上下水天平似鏡、青螺一点浸水壺 | 落星寺舟中望  | 実存       |
| 549 | 谿上遙聞精舍鐘、泊舟微徑度深松、青山霽後雲猶在、画出西南四五峯 | 柏林寺南望   | 郎士元      |
| 548 | 東岸樓台西岸山、瀟湘一片在中間、紅塵不到滄波上、僧与白雲相對閑 | 湘西寺     | 石屏 (61ウ) |
| 547 | 天日蒼茫海氣深、每來高处一登臨、丹樓碧閣皆時事、只有江山古到今 | 金山寺     | 荊公       |
| 546 | 一点青螺碧浪中、金依水府与天通、晴江万里雲飛尽、鼇背参差日氣紅 | 金山寺     | 肩吾       |
| 545 | 上堂齋了各西東、慚愧闍梨飯後鐘、三十年來塵撲面、如今始得碧紗籠 | 同       | 同        |
| 544 | 三十年前此院遊、木蘭花發院新修、如今再到經行处、樹老無花僧白頭 | 題惠照寺    | 王播       |
| 543 | 窄々柴門短々牆、屋西綠樹午風涼、白頭老嫗能留客、厨有新炊井有漿 | 田家飲馬    | 謹中 (61オ) |
| 542 | 疎煙落日路三叉、敗葉乾楓屋數家、場圃畢工梁月出、傍欄紅女績糸麻 | 村家      | 徐元氣      |
| 541 | 短々籬邊野叟家、一湾寒碧抱村斜、小梅不禁春消息、也著梢頭三四花 | 小春山家    | 僧正進      |
| 540 | 雖有柴門長不闕、片雲孤木伴身閑、猶嫌住久人知处、見擬移家更上山 | 移家      | 賈島       |
| 539 | 居家到底勝居官、啼鳥声中昼掩闕、待得小園花落尽、更須移酒对青山 | (ナシ)    | 応龍       |
| 538 | 馬蹄踏水乱明霞、醉袖迎風受落花、怪見溪童出門望、鵲声先我到山家 | 山家      | 静脩 (60ウ) |
| 537 | 林深路轉午鷄鳴、知有人家住阻溪、一塢闌紅春色動、酒帘直在杏花西 | 人家      | 平齋       |
| 536 | 負郭依山一逕深、万竿如束綠沈々、從來愛物多成癖、辛苦移家為竹林 | 葺夷陵居    | 李涉       |
| 535 | 柴門閑掩逕生苔、不覺年華去又回、長到清明時節後、阻牆風送落花來 | 幽居      | (ナシ)     |
| 534 | 跨鶴來尋处士家、迢々空翠隔煙霞、山童掛客松边坐、却背春風掃落花 | 山居      | 黄元鎮      |
| 533 | 種茶巖接紅霞塢、灌稻泉生白石根、皤腹老翁眉似雪、海棠花下戲兒孫 | 題汝川村居   | 滕白 (60オ) |
| 532 | 山僻誰家綠樹中、短牆半露石榴紅、蕭然門巷無人過、三兩孫隨白髮翁 | 同       | 石屏       |

- 559 布薩閑齋涕泗揮、大通基在昔人非、此身終屬侯丞相、誰辯金錢贖帝婦  
同泰寺梁武帝捨身處 茶山
- 560 白蒼蜀花露滴々、碧蕊蜀草雨濛々、田地更無塵一点、是何人合住其中  
經東林寺 貫休
- 561 玉几峰前一梵区、依稀台殿見兵余、斷碑屹立清溪上、留得狂僧醉後題  
栖霞寺 一初
- 562 蘿徑陰々近百層、金輿記是昔人登、山僧苦避尋詩者、牢閉柴門喚不応  
平坡寺 德機
- 563 三吳家近水晶宮、行坐紅香綠影中、今日異鄉僧寺裡、一盆荷葉戰西風  
平陰僧寺 三興居士(63才)
- 564 越王城下送行舟、万壑千巖落木秋、後夜相思定何処、芙蓉明月滿滄洲  
能仁寺在越時訪見心 申屠駟
- 565 十里松蘿映碧苔、一川晴色鏡中開、遙聞上界翻經処、片々香雲出院來  
定山寺 張祐
- 566 翠微寺本翠微宮、樓閣亭台幾十重、天子不來僧又去、樵夫時倒一株松  
翠微寺 (ナシ) 張器之
- 567 林表招人白塔明、竹間蘭芷石泉清、惠崇水墨西軒景、煙帶平蕪水帶城  
遊栖霞寺 薛濤(63ウ)
- 568 聞說凌雲寺裡花、飛空遶磴逐江斜、有時鎖得嫦娥鏡、鏤出瑤台五色霞  
凌雲寺 趙洞
- 569 松門明月仏前燈、庵在孤雲最上層、犬吠一山秋意靜、敲門時有夜歸僧  
晚宿山寺 盧肇
- 570 祝融絕頂万余層、策杖攀蘿步步登、行到月宮霞外寺、白雲相伴兩三僧  
登南嶽月宮蘭若 (ナシ) 崔峒
- 571 絕頂茅庵老此生、寒雲孤木伴經行、世人那得知幽徑、遙向青峯礼磬聲  
蒲庵 篤列囚
- 572 編蒲築室近招提、一日思親十二時、江右風塵歸未得、白雲林下且栖遲  
(ナシ) 林彦文(64才)
- 573 青蒲葉短水痕深、愁結山人寸草心、廬阜風煙如可掃、便心壳屨老叢林  
宿山庵 実存
- 574 檜梢炬頭無主賓、蒲团坐久自生春、夜深一片虛樞月、写出梅花面目真  
九華山陸方士庵 同
- 575 千峯一榻寄閑身、無復塵■世路行、山頂有田三四畝、半栽紅朮半黃精  
葉靖逸庵 同
- 576 一庵自隱古城辺、不是山林不市塵、落月半窓霜滿屋、臥聽宰相去朝天  
蔗境庵 杜癖齋
- 577 世事多端好備嘗、未能悅口勿輕忘、結交莫厭初年淡、晚景相看味始長  
花庵 司馬光(64ウ)
- 578 自然天物勝人為、万葉無風碧四垂、猶恨簪紳未離俗、荷衣蕙帶始相宜  
題靈徹上人旧房 張祐
- 579 寂寞空門支道林、滿堂詩板旧知音、秋風吹葉古廊下、一半繩床燈火深  
題僧房 歐陽詹
- 580 草庵蒲团不掃塵、松間石上似無人、群陰欲午鐘聲動、自煮溪蔬養幼身  
慈恩寺塔 劉中
- 581 慈恩石刻半公卿、時遇聞人為指名、龍虎榜中休着眼、一篇偈賦悞平生  
題清遠峽觀音院 盧肇
- 582 清潭洞徹深千丈、危岫攀蘿上幾層、秋尽更無黃葉樹、夜闌唯对白頭僧  
又 同(65才)
- 583 風入古松添急雨、月臨虛檻背殘燈、老猿嘯狖還欺客、來撼窓前百尺藤  
題真上人院 杜牧
- 584 清羸已近百年身、古寺風煙又一春、寶海自成戎馬地、唯師曾是太平人  
悟真院 (ナシ)
- 585 野水縱橫漱屋除、午窓殘夢鳥相呼、春風日々吹香草、山北山南路欲無

- 586 万壑煙松圍紺宇、一湖秋水隔紅塵、何須更覓神仙府、得此清閑能幾人  
憩霖洪上人院 実存
- 587 雪屋彈琴泛作声、寂無人語紙窓明、倦遊識破諸緣妄、心与梅花一樣清  
書院 改之
- 588 兩地雲山百里間、相逢一笑入禪關、却將二十年、前事、話到秋江月、半山  
歷山院 張東谷 (65ウ)
- 589 曾是霓裳第一人、曲終認得出来身、多年不作東風夢、閑却薔薇一架春  
尼院 杜小山
- 590 日夜潮声送是非、一回登眺一忘機、憐師好事無人見、不把蘭芽染褐衣  
題僧院 蘿隱
- 591 纔燒香篆点团茶、春酒留連又一家、過午婦来挑履齒、半泥半雪半梅花  
僧舍 李竹墅
- 592 紅炉撥火轉瓶笙、默坐繩床得細聽、宛是平生誦書处、数椽茅屋一燈青  
宿盈川僧舍 趙嘏
- 593 溪上禪閑水木間、水南山色与僧閑、春風終日無來客、幽磬一声高鳥還  
僧舍 趙得全 (66才)
- 594 高僧夜滴芙蓉漏、遠客窓含楊柳風、何処相逢話心地、月明身在磬声中  
宿僧舍 同
- 595 寂々鐘魚柏滿軒、午風輕颺煮茶煙、西堂竟日無人到、只許山人借榻眠  
宝岩僧舍 宋雲叟
- 596 舍北十章師子橋、庭前一架獼猴桃、々々花■時春滿座、橘花白後水客期  
舍北 宋景濂
- 597 一徑縈紆至此窮、山僧盥漱白雲中、閑吟定後更何事、石上松枝常有風  
雲居室 權德輿
- 598 禪子蒸花滿室春、紛々香雪落衣巾、由来道化無声臭、誰識梅檀淨妙身  
天香室 劉子幹 (66ウ)
- 599 屋頭除却数条椽、政好臨風对月眠、行客只從門外過、豈知屋裡有青天  
天窓 薛能
- 600 門前柿葉已堪書、弄鏡燒香聊自娛、世事窓明窓暗裡、題詩不用著工夫  
書窓 簡翕
- 601 偏宜酥壁称閑身、白似溪雲薄似水、不是野人嫌月色、免教風弄讀書燈  
紙窓 郭希声
- 602 竹窓紅莧兩三根、山色遙供水際門、只我近知墻下路、能將屐齒紀苔痕  
竹窓 荆公
- 603 白雪香浮蟹眼团、紫雲光冷兒鬚乾、倉庚怨雨庭春晚、玄乙窺簾花昼寒  
小窓 張計野 (67才)
- 604 小窓雲影破瑠璃、六曲屏風白紵詞、池館雪晴梅落尽、詩情移上綠楊枝  
小窓 蕭水崖
- 605 十日書窓九日局、春晴無処不閑行、瓶花落尽無人管、留得殘枝葉自生  
西窓 徐大至
- 606 竹鷄呼我出華胥、起滅篝燈擁燎炉、試問道人何所夢、但言渾忘不言無  
書定林院窓 荆公
- 607 練衣蒲屨小綸巾、四壁清風一榻塵、誰謂先生貧到骨、百金新聘竹夫人  
書壁 後村
- 608 桑条索漠柳花繁、風斂余香暗度垣、黃鳥数声残午夢、尚疑身在半山園  
書湖陰先生壁 荆公 (67ウ)
- 609 天与湖光鏡樣平、道辺野草亦知名、隣翁莫訝歸来晚、未必山如錦瑟清  
題平江范石湖橋壁 橘洲
- 610 竹谿咽絕雨纔通、無數深紅間涉紅、山店落英春寂々、青旗吹尽柳花風  
題惠安壁 養直
- 611 紫陌紅塵扞面来、無人不道看花回、玄都觀裡桃千樹、尽是劉郎去後栽  
玄都觀 禹錫
- 612 百畝庭中半是苔、桃花淨尽菜花開、種桃道士歸何処、前度劉郎今独来  
再遊玄都觀 同

- 613 琳宮高倚碧雲端，万里江風六月寒，天外夜深毛女下，青鸞白鶴滿瑤台  
614 白雲斜日影深松，玉宇瑤壇知幾重，把酒題詩人散後，華陽洞裏有疎鐘  
615 夕照紗窗起暗塵，青松遶殿不知春，君看白首誦經者，半是宮中歌舞人  
616 日暮銜花飛鳥還，月明溪上見青山，遙知玉女窓前樹，下界仙人不得攀  
617 琳館清深小雪殘，釀梅天氣不多寒，客窓竟日無人到，只有蕭々竹數竿  
618 雪裡雲山上作屏，松風入耳細冷々，朝來醉着江亭酒，却被髻龍喚得醒  
619 万來何曾換一瓢，羽成玉骨蛻塵囂，是非到耳雖無跡，潁水何曾洗得消  
620 燈前自了誑殘經，風入疎簾月入櫺，坐到夜深誰是伴，數枝梅夢一銅瓶  
621 山中積雪到簷端，獨对篝燈坐夜闌，不是梅花心似鉄，如何禁得許多寒  
622 濯龍門外主家親，鳴鳳樓中天上人，自有金盃迎甲夜，還將綺席代陽春  
623 一夢奢華去不還，斷牆花發豈堪看，玉纖素綆知何處，金井梧桐碧甃寒  
624 兩崖古樹千般色，一井寒泉數丈冰，欲問前朝戴居士，野煙秋色是丘陵  
625 水流花落歎浮生，又伴遊人宿杜城，還似昔年殘夢裡，透簾斜月獨聞鶯  
626 紅葉青山載酒行，山人新結野庵成，西欄一樹梧桐好，他日重来聽雨聲  
627 雨霽風和不動塵，柳邊携酒賞晴春，頻來溪鳥渾相識，渡水穿花不避人  
628 表聖當年絹五千，休々亭下買林泉，黃花面目吾還見，天柱峯高不直錢  
629 柳条扞地不須折，松樹梢雲從更長，藤花欲暗藏猿子，柏葉初齊養麝香  
630 陶廬僻陋那堪比，謝墅幽微不足攀，何似嵩峰三十六，長隨申甫作家山  
631 主父西遊去不還，滿溪春雨長春微，怪來馬上詩情好，点破青山白鷺飛  
632 可惜亭台閑度日，欲偷風景暫遊春，只愁花裡鶯饒舌，飛入宮城報主人  
633 去年今日此門中，人面桃花相映紅，人面只今何處在，桃花依旧笑春風  
634 万騎千官擁帝車，八龍三馬訪仙家，鳳凰原上窺青壁，嬰武盃中弄紫霞  
635 東山朝日翠屏開，北闕晴空綵仗來，喜遇天文七曜動，少微今夜入三台  
636 非吏非隱晋尚書，一丘一壑降乘輿，天藻緣情兩曜合，山巖獻寿万年余  
637 夜沈々復日遲々，物々供詩總欠詩，宿鳥忽翻花架動，滿庭香露滴酸醜  
638 泉声猶帶嘯時寒，曾有人龍此地蟠，未必鼎分天下後，乾坤得此草廬寬
- 白鶴觀 實存 (68才)  
玉真觀 韓翃  
東都安国觀 盧尚書  
望仙觀 顧況  
佐德觀 憑子翼  
雲興觀 趙可 (68ウ)  
許由觀 北礪  
癸酉歲晚留上人觀 伯生  
又 同  
夜宴安樂公主宅 沈佺期  
絳廢宅 李中 (69才)  
題招隱寺即戴顓旧宅 李涉  
宿城南亡友別墅 庭筠  
過聶氏西岡別墅 鄧德良  
柳溪別墅 仲純  
戲用前人語題天平別墅 王礪 (69ウ)  
輞川別業 王維  
和裴令公南莊 樂天  
題盧拾遺莊 韋莊  
令公南莊花柳正盛欲偷一賞先寄一篇 樂天  
題都城南莊 崔護 (70才)  
奉和幸韋嗣立莊 李嶠  
又 佺期  
和聖製幸韋嗣立莊 劉憲  
甘氏別業 积惠嵩  
諸葛草廬 劉清叔 (70ウ、第一冊終)

錦囊風月卷之三

王臣門

- 639 宮花、一朵、掌中、開、緩、頰、翻、為、敵、國、媒、六、里、青、山、天、下、笑、張、儀、容、易、去、還、來、  
 640 壯士悲歌出塞頻、中原蕭瑟半無人、君王不負長陵約、直欲功成賞漢臣、  
 641 殺翁分我一杯羹、龍種由來事杳冥、何用生兒作劉季、暮年無骨葬昭陵、  
 642 帝長何曾識帝王、入席便解約三章、只銷一勺清冷水、冷却秦鍋百沸湯、  
 643 平吳專越禍胎深、豈是功成有去心、勾踐不知嫌鳥喙、歸來猶自鑄黃金、  
 644 中原秦鹿待新羈、力戰紛紛此一時、有道吊民天即助、不知何因牧羊兒、  
 645 束帶山河百戰功、白頭富貴亦成空、華堂不着新歌舞、却要區々一老翁、  
 646 漢業存亡俯仰中、留侯於此每從容、固陵始識韓彭地、複道方囹雍齒封、  
 647 辟穀輕身慕赤松、不知誰拳佞春官、君方避溺猶居水、忍使余波及四翁、  
 648 寂寞清高一老儒、平生自許聖人徒、太玄真是擬周易、豈不前地莽大夫、  
 649 執戟浮沈亦未遷、無端著頌美新都、白頭所得能多少、枉被人書莽大夫、  
 650 蕭々白髮周內史、耿々丹心唐老臣、到底五龍能洗日、何如勲業付他人、  
 651 八荒同軌託雄圖、是古非今尽剷除、可惜當時猶漏網、不焚圯上老人書、  
 652 范雎相秦傾九州、一言立斷魏齊頭、世間禍福不可忽、簣中死屍能報讐、  
 653 沈魄浮魂不可招、遺編一詆想風標、何妨拳世嫌迂闊、故有斯人慰寂寥、  
 654 張生鞍馬客幽都、却笑靈光筆法龜、祇今白首風沙裡、憶向江南見画圖、  
 655 躬耕谷口雜編民、寧肯懷金媚賊臣、揚子解言如計事、不知執戟是何人、  
 656 世上年光東逝波、咸陽銅狄幾摩挲、神仙不死成何事、只向秋風感槩多、  
 657 胸中機鑑自神明、運甓工夫謾課程、致力中原了無事、竹頭木屑是功名、  
 658 可歎迂疎一老翁、豈堪床下拜梁松、明珠薏苡猶難辨、万里爭教論杜龍、  
 659 健兒搖足拋山東、李氏家居太半空、貞觀力排封建議、魏徵元只是田公、  
 660 十重越甲夜成圍、宴罷君王醉不知、若論破吳功第一、黃金只合鑄西施、  
 661 馬上功成不喜文、叔孫綿絕共經綸、諸君可咲貪君賜、便許當時作聖人、  
 662 清於獨鶴瘦於梅、小袖春衫晉樣裁、推出柴車人共指、前身曾住洛中来、

百官門文武

上鄭丞相

無文

嘲叔孫通

荆公 (3才) (3ウ空白)

魏徵

純甫

馬伏波

蕭服之 (2ウ)

陶侃

子瑜

鄭子真

仲弘

張戡北騎

彦高

孟子

同

范雎

荆公 (2才)

李斯

陳仲猷

狄仁傑

昱山

同

劉潜夫

揚雄

昱山

留侯

子瑜 (1ウ)

張良

同

曹參

同

范增

荆公

范蠡

龜蒙

又

馮克齋 (1才)

漢高帝

可正平

漢武

荆公

楚懷王

崔道融

- 663 去婦何辭見六親、手中刀尺不如人、可憐池閣秋風夜、愁。綠。嬌。紅。一。遍。新。  
664 春明門外作卑官、病女經年不得看、莫道長安近於日、昇天却易到城難、  
665 清朝無事諫章疎、多病長年臥直廬、惆悵平生不如夢、春來三度到溪居、  
666 君正忙時我正閑、如何同得到鍾山、夷門二十年、前事、回首黃塵一夢間、  
667 嵩雲秦樹久離居、雙鯉超々一紙書、休問梁園舊賓客、茂陵秋雨病相如、  
668 驥足駸々吳越間、屏星復與紫書還、知君從事元無事、城上愁看海上山、  
669 聖朝宰相年々出、君在中書十四秋、西祀東封俱禮畢、好來相伴赤松遊、  
670 腰問寶劍七星文、臂上瑠弓百戰勛、見說雲中擒黠虜、始知天上有將軍、  
671 雲台高議正紛紛、誰定當時蕩寇勳、日暮灞陵原上獵、李將軍是舊將軍、  
672 風卷平沙日欲曛、狼煙遙認犬羊群、李陵一戰無歸日、望斷胡天哭塞雲、  
673 白布長衫皂板條、腰間百箭臂雙刀、婦來醉飲咸陽市、換得殷紅錦戰袍、  
674 青銅峽裏韋州路、十去從軍九不回、白骨似沙々似雪、將軍莫上望鄉台、  
675 征蠻破虜漢功臣、携劍歸來万里身、閑倚凌煙金柱看、形容消瘦老於真、  
676 白鹿坡頭百万兵、碧油幢下一書生、如今始覺為儒貴、臥聽元戎報五更、  
677 一曲涼州今不清、辺風蕭颯動江城、坐中有老沙場客、橫笛休吹塞上声、  
親屬門  
678 孤矢重懸旧禮儀、郎君又產玉麟兒、便煩着眼從頭看、的似徐卿二子奇、  
679 父以辛勤得一官、只今滋味只儒酸、吾兒莫忘儒酸味、把作人家子弟看、  
680 白髮飄蕭老病身、幾因兒女泪沾巾、虛談悞世王夷甫、只有情鍾語最真、  
681 行年已合識頭顱、旧学屠龍意轉疎、有子添丁助征戍、肯令辛苦更冠儒、  
682 棣萼分張信使希、幾多鄉。濕。征。衣、笳声未断先腸断、万里胡天鳥不飛、  
683 故里行人戰後疎、青崖萍。寄。白。雲。居、那堪又是傷春日、把得長安落第書、  
684 長。樂。鐘。声。拆。号。時、三。台。八。座。列。參。差、自憐手把天瓢水、一滴鄉閩不得私、  
685 聖主宮中遊幸疎、日臨秘閣看芸儲、今朝蘭省初開試、清曉玉音催著書、  
686 省垣東畔至公堂、十五年前戰芸場、飽食大官無補報、兩科來此校文章、  
687 仁廟初科射策郎、如今斑白殿朝行、東風昨夜聞歸雁、夢繞江南煙水秋、  
上田尚書 王建  
寄広文張博士 同  
書御史台 放翁 (4才)  
和王鐸主簿 荆公  
寄令狐郎中 商隱  
送符別駕還錢塘 (ナシ)  
上平章王相公 魏野 (4ウ)  
贈裴旻將軍 王維  
旧將軍 商隱  
裴羽仙  
忠義兵 杜子昕  
西征歸途 芸叟 (5才)  
贈功臣 李洞  
督師 夏竦  
宴辺將 張喬 (5ウ)

釈道門

- 688 花落花開百鳥悲、岩前物是主人非、桃源咫尺無尋處、一棹漁簑寂寞歸  
牛頭見四祖百鳥不銜花 張天覺
- 689 瘦脰高囊梵屨輕、野塘風勁錫環鳴、如何不向深山裡、坐擁閑雲過一生  
寒日逢僧 龜蒙
- 690 枯貌自同霜裡木、余生唯指仏前燈、少時写得坐禪影、今見問人何處僧  
贈老僧 同
- 691 手開一室翠微裡、日暮白雲栖半間、白雲朝出天際去、若比老僧雲未開  
山中僧 同(8才)
- 692 棹倚東林欲問禪、遠公飛錫未忘還、蒙莊弟子相看咲、何事空門亦有閑  
訪僧不遇 同
- 693 草履初登南客船、銅瓶猶貯北山泉、衡陽旧寺秋歸去、門鎖寒潭幾樹蟬  
送僧歸南出 清塞
- 694 叢々竹雀閑人家、農事春來漸有涯、品字柴頭煨政暖、不知風雪到梅花  
示長芦禪師 張雪窓
- 695 太白山、高雪、四圍、孤峰、翠織、五銖衣、誰言老子寒無力、獨擁紅炉更下幃  
寄天童長老 袁伯長
- 696 簷花、映日、午風、薰、時有黃鸝隔竹聞、香炷一炬春睡足、上方車馬正紛紛  
金陵報恩大師西堂方丈 荆公(8ウ)
- 697 酒肆、淫坊、綵道場、偶然遊戯亦何妨、阿師自墮泥牛趣、更咲春風柳絮狂  
答鄭下辯禪師見戲代防御高侯 王從之
- 698 仏隴當年談妙法、一道紅光射海東、至今顯密二宗學、長伴扶桑出日紅  
天台智者在時有伝教弘法二師來受顯密之教而至今國中盛行 景濂
- 699 林間禪坐豈徒勞、紫翠煙嵐上布袍、西岳華山千万仞、看來争似道情高  
贈山中禪者 斯道
- 700 一天、明月、晒銀沙、童子敲冰夜煮茶、坐久忽聞庭竹折、老僧持呪保梅花  
雪夜訪僧 苔磯
- 701 赤壁、西邊、旧武昌、吳波蜀浪幾興亡、婦來黃鶴樓前看、半是寒濤半夕陽  
送僧歸武昌 淮海(9才)
- 702 滿目、鄉心、怕著秋、東州見了又西州、明年莫看中秋月、曾是當時照別愁  
送僧歸淮西 同
- 703 聞說、溪陰、山水好、師行一々徧經過、要須覓取堪居處、若箇溪頭葉最多  
送僧往金陵 張籍
- 704 麻衣、年少、雪為顏、却咲孤雲未是閑、此去若逢花柳月、栖禪莫向苧蘿山  
送僧遊越 肩吾
- 705 扶桑、已在、渺茫中、家在扶桑東更東、此去与師誰共到、一船明月一帆風  
送日本僧歸 僧皎然
- 706 自從、離却、日本國、墮影江南濕翠間、滿地落花春似海、不知猶憶五龍山  
贈日本僧 景濂(9ウ)
- 707 一回、錯買、離鄉船、抹過鯨波万里間、震旦扶桑無異土、參方飽看浙中山  
和 僧全俊秀崖
- 708 一法、伝聞、繼老能、九華閑臥最高層、秋鐘尽後殘陽暝、門掩松辺雨夜燈  
貽九華上人 齊己
- 709 一竹、簷簷、掛淨巾、竈無煙火地無塵、剃頭未必知佛法、要且閑於名利人  
題僧壁 韋蟾
- 710 曉傍、疎林、露滿巾、碧山秋寺属閑人、溪頭尽日看紅葉、却咲高僧衣有塵  
同 趙嘏
- 711 斜日、橫窓、起暗塵、水辺門戶閉閑春、千竿竹裡花枝動、只道無人似有人  
尋僧 同(10才)
- 712 溪戸、無人、谷鳥飛、石橋橫木掛禪衣、看雲日暮倚松立、野水乱鳴僧未歸  
又 同
- 713 竺國、鄉裡、算不回、病中衣錫遍浮埃、如今漢地諸経本、自過流沙遠負來  
病僧 言史

- 714 百補袈裟一比丘、數莖長睫覆青眸、多心獨住山林慣、唯<sup>(照方)</sup>寒泉自剝頭、  
獨住僧 徐凝
- 715 失意因休便買山、白雲深處寄柴關、若逢城邑人相問、報道花時也不閑、  
山居送僧 李涉
- 716 五峯三峽好林泉、飛瀑如龍下九天、何日從師分半榻、青松石上看雲眠、  
送別見心禪師之廬山 楊宗瑞 (10ウ)
- 717 高堂無地寄征衣、淮水西邊近解圍、想得夜蘭更秉燭、天寒木落一僧歸、  
送僧歸淮西 僧聖徒
- 718 無事經年別遠公、帝城鐘曉憶西峯、烟銷盡寒燈晦、童子開門雪滿松、  
憶住一師 商隱
- 719 青山遶寺々連溪、夾道雲松猿鳥啼、聞說近來頻送客、杪羅樹下石橋西、  
奉上一見心禪師 陳文明
- 720 花鞋雪笠縱登臨、楚水吳雲即妙心、行到金陵三四月、鳳凰台上又相尋、  
送別見心禪師之廬山 全晉
- 721 三尺泉阿秋水光、龍池夜々動星芒、飛騰定与風雷合、散作甘霖遍大荒、  
又 同 (11才)
- 722 江城春尽柳吹花、來問東園野老家、掃石焚香坐清昼、杪羅樹底論三車、  
見心禪師過余武林之舍因成口号一絕 倪中 (11ウ)
- 723 鼎烹玉兔山前藥、花看金鼈背上春、莫怪少年能決烈、藍田夫婦摠登真、  
神仙 王迪
- 724 肘伝丹篆千年術、口調黃庭兩卷經、鶴觀古壇槐影裡、悄無人迹戶長扃、  
同 無名氏
- 725 華山高処是吾宮、出即凌空跨曉風、台殿不將金鎖閉、來時自有白雲封、  
同 陳函南
- 726 曾折松枝為宝櫛、又編栗葉作羅襦、有時問着秦宮事、笑撚仙華望太虛、  
同 同
- 727 土木形容殷々々、水雲情性許閑々、身中火棗無人會、此藥元來便駐顏、  
同 張天覺 (12才)
- 728 宝劍揮時天地震、金炬燒処鬼神驚、丹砂九轉工夫就、詔我榮遷玉籍名、  
同 同
- 729 豈無鉄拐懸葫子、亦有鐘離呂洞賓、道与諸公々不信、後会休問邵真人、  
同 同
- 730 花洞門前大似雷、險声流断俗塵埃、雨飛山脚毒龍起、月照松梢孤鶴回、  
同 伊用昌
- 731 千金疊土望三山、雲鶴無蹤羽衛還、若說神仙求得、茂陵何事在人間、  
望仙 羅鄴
- 732 漢武迎仙紫禁秋、玉笙瑤瑟似崑丘、年々望断無消息、空閉重城十二樓、  
學仙 許渾 (12ウ)
- 733 心期仙訣意無窮、彩画雲車起寿宮、聞有三山未知処、茂陵松柏滿西風、  
同 同
- 734 金書宮殿玉欄干、雪瀑泉飛洞自寒、日暮仙翁騎鶴去、碧桃花滿石棋盤、  
仙興 葉介老
- 735 昔日曾遊魏伯陽、經時醉臥紫金床、東君過我多情懶、罰向人間作酒狂、  
酒仙 馬自然
- 736 煮玉如泥得共瀆、碧桃花下取琴彈、欲分瑤草人間種、又恐春風不一般、  
小仙遊 趙白雲
- 737 雪藥瓊糸滿院春、衣輕步々不生塵、君平簾下徒相問、長伴吹簫別有人、  
聞唐昌觀玉藥花下有遊仙 禹錫 (13才)
- 738 羽車潛下玉龜山、塵世何由覩舜顏、唯有無情枝上雪、好風吹綴綠雲鬟、  
聞玉藥院真人降 嚴休復
- 739 玄鶴衝開樹杪雲、靈風為掩竹間門、苦無柿葉書名姓、惟有蒼苔記履痕、  
訪道士不遇 吳彥輝
- 740 齒如冰雪鬢如鬚、幾百年來醉似泥、不共世人争得失、臥床前有上天梯、  
贈孫尊師 韓偓



741	月夜無人独扣舷、月華如昼水如天、胸中江海混為一、未必蓬萊有此仙	寄孤舟道士	僧即庵
742	叩爾焚香出世塵、齋壇鳴磬步虛人、百花仙醞能留客、一飲胡麻度幾春	朱鍊師山房	昌齡 (13ウ)
743	聞說經旬不啓闕、藥窓誰伴醉開顏、夜來雪。庄。村。前。竹。剩。見。溪。南。幾。尺。山。	寄隣莊道侶	韓偓
744	独抱瑤琴三十年、東遊齊魯北趨燕、仙風道骨人間少、一粒金丹直万錢	贈魯天倪方士	道原
745	明鏡湖中休采蓮、却師阿母字神仙、朱糸誤落青囊裡、猶是篋笥幾絃	贈女道士鄭玉華	肩吾
746	黃昏騎得下天龍、巡遍茅山數十峯、採芝却到蓬萊上、花裡猶殘碧玉鍾	贈成鍊師	言史
747	等閑何處得靈方、丹臉雲鬢日月長、大羅過却三千歲、更向人間魅阮郎	又	同 (14才)
748	二十四岩凌紫清、琪花瑤草日初晴、抱琴曾侍群仙宴、記得鈞天一兩声	送芳潤葉道士	危琴棠 (14ウ)
749	欲上瀛洲臨別時、贈君十首步虛詩、天仙若愛心相問、向道江州司馬詩	送蕭鍊士步虛詩	樂天
750	花紙瑤緘枯墨字、把將天上共誰開、試呈王母如堪唱、發遣双成更取來	又	同
751	曉起清心檢玉經、洞房涼露下青冥、丹扉不使山童掩、自有靈官遺六丁	步虛詞	季潭
752	閨苑仙人白錦袍、海山宮闕醉蟠桃、三更月底鸞聲急、万里峯頭鶴背高	又	玉蟾
753	紫陽宮女捧丹砂、王母令過漢帝家、春風不肯停仙馭、却向蓬萊看杏花	上清詞	張繼 (15才)
754	入海浮生汗漫秋、紫皇高宴五雲樓、霓裳曲罷天風起、吹散仙香滿十洲	又	同
755	樓鎖彤霞地絕塵、碧桃花發九天春、東皇近日慵遊宴、閑殺瑤池五色麟	又	同
756	新拜天官上玉都、紫皇親授五靈符、群仙箇々來相問、人世風光似此無	又	同
757	蓮花峯高五千仞、華陽川中有路通、乘風去拾鉄舟葉、白煙一線起当空	馭氣引	景濂
758	頭上白光高七尺、看来漂渺似飛雲、解嚼一丸玄玉汁、噴來紙上悉成文	又	同 (15ウ)
759	丸泥為馬走如風、游徧蓬萊七十峯、丫鬢玉女來相問、碧落侍郎何處逢	又	同
760	長髯垂地色如鴉、椰笠斜簪三朶花、叱鹿細耕水谷底、割雲下種龍肝瓜	又	同
761	丹府金童善主家、百神聽命靜無譁、從今何必餐松柏、但吸日精天月華	絕粒	豐山 (16才) (16ウ空白)
禁御門			
762	華清波色漢陽溝、不似氍毹煖淥柔、飄。尽。上。林。紅。万。点。又。從。天。上。送。春。愁。	御溝	張鳴善
763	龍池賜酒敞雲屏、羯鼓声高衆樂停、夜。半。宴。歸。宮。漏。永。薛。王。沈。醉。壽。王。醒。	龍池	義山
764	玉堂陰合冷窓紗、雨。過。銀。泥。引。篆。螭。萱。草。戎。葵。俱。不。見。蜂。声。滿。院。採。槐。花。	玉堂	秉文
765	桂海氷天老歲華、直。廬。重。上。玉。皇。家。当。年。曾。識。青。々。鬢。惟。有。東。牆。一。架。花。	玉堂懷旧	石湖 (17才)
766	青煙漠々雨紛紛、水殿西廊北苑門、已着单衣猶禁火、海棠花下怯黄昏	禁中春寒	荊公

- 767 金炉香尽漏声残、剪々輕風陣々寒、春色惱人眠不得、月移花影上欄干、夜直 同
- 768 翠木交陰覆兩欄、夜天如水碧恬々、帝城風月看常好、人世悲哀老自添、禁直 同
- 769 乘輿聞喜達皇都、自此玉堂官鎖無、閑殺幕中揮翰手、日長独坐数花鬚、院中 德機
- 770 禁門深鎖寂無譁、濃墨淋漓兩相麻、唱徹五更天未曉、一池月浸紫微花、六月十六日宣鎖 平齋 (17ウ)
- 771 輦路風清飛早鴉、官卑難趁紫宸衙、了無公事鉤簾坐、一樹冬青落細花、檢院即事 任斯庵
- 772 玉殿晴暉颺彩旌、承平天子亦知兵、嬌兒慣識風流陣、传到漁陽芸始精、華清宮風流陣 趙漢家
- 773 玉階春冷未催班、暫扞塵衣枕笏眠、孤立小心還自笑、夢魂潛繞御炉煙、早入諫院 鄭谷
- 774 洛下三分紅葉秋、三分翻作上陽愁、千声万片御溝上、一片出宮何處流、上陽紅葉 徐凝
- 775 露湿晴花春殿香、月明歌吹在昭陽、似將海水添宮漏、共滴長門一夜長、宮中春夜 李益 (18才)
- 776 藥宮裁詔与宵分、惟在青雲憶白雲、待報君恩了歸去、山翁何急草移文、杪秋夜直 鄭畋
- 777 西掖重雲闕禁署、北山疎雨点朝衣、千門柳色連青鎖、三殿花香入紫微、西省即事 岑參
- 778 芳草長含玉輦塵、君王遊幸此中頻、今朝別有承恩處、嬰武飛來說似人、宮中 羅鄴
- 779 紫禁仙輿詰旦來、青旗遙倚望春台、不知庭雪今朝落、疑是林花昨夜開、苑中逢雪應制 宋之問
- 780 翠鈿勻綠線輕、著行排立弄新晴、更看三月春風裡、散作飛花滿鳳城、春柳應制得城字 劉伯祥 (18ウ)
- 781 宮殿參差列九重、祥雲瑞氣捧塔濃、微臣欲獻唐堯壽、遙指南山对袞龍、獻壽詞 王涯 (19才) (19ウ空白)
- 隱逸門
- 782 柴門深掩古城秋、背郭綠溪一徑幽、不有小園新竹色、君來那肯暫淹留、郊店友人相訪 崔道融
- 783 落花門外春將尽、飛絮庭前日欲高、深院客來人未起、黃鸝枝上啄櫻桃、訪友人幽居 雍陶
- 784 莎深苔滑地無塵、竹冷花遲刺駐春、尽日弄琴誰共聽、与君兼鶴是三人、同 同
- 785 立意忘機々已生、可能朝市汗高情、時人未會巖陵志、不釣鱸魚只釣名、招隱 韓偓 (20才)
- 786 童子穿雲晚未歸、誰收松下着殘碁、先生醉臥落花裡、春去人間總不知、訪隱者 王荊公
- 787 柳煙簇々護双扉、江竹環居水鶴飛、不恨我來君已去、只愁我去恰君歸、訪王山人不遇 僧斯道
- 788 水滿方塘雲滿樓、鶴松鳳竹兩清幽、想君只在山前後、石上殘碁尚未收、訪李樵谷高士不遇 英実存
- 789 小院春濃落照閑、碧篁相对乳禽還、晚風陣歇遊糸尽、留得歸雲在屋山、晚訪中章不遇 (ナシ)
- 790 出郭幽人晚未歸、青天只尺見何稀、一年祇有春晴好、多事楊花雪飛、西谷訪人不遇 范德機 (20ウ)
- 791 土床竹壁倚禪蒲、只有殘煙滿地炉、童子出門迎客語、山人朔日去麻姑、訪人不遇因題其壁 僧円至
- 792 玉洞桃開春正晴、石樓簾捲乱峯青、白頭道士貪春困、閑却黃庭一卷經、訪蕭高士正昼寢戲之 英実存

- 793 宛々溪流暈九湾、山間林下鳥閑々、釣磯茶竈山中樂、大隱屏辺日月閑 隱逸 黄子厚宋人
- 794 絶頂遙知有隱君、滄芝種朮鹿為群、多心午竈茶煙起、山下看来是白雲 同 劉後村
- 795 君乘白鶴下青雲、我入春山聽曉鶯、可惜小樓風雨過、無人收拾万松声 友人見訪不遇 黄子蕭 (21才)
- 796 踏雪尋春計亦優、不知去款魏君侯、雪裘風帽台州去、豈是無才入蔡州 雪中訪別魏使君 僧居簡 (21ウ)
- 漁獵門
- 797 雨後沙虚古岸崩、魚梁移入乱雲層、婦時月落汀洲晴、認得妻兒結網燈 漁父 陸龜蒙
- 798 首戴凹荷髮不梳、葉舟為宅水為居、沙頭聚看人如市、釣得澄江一丈魚 漁者 張喬
- 799 醉眠無事避風濤、一斗霜鱗換濁醪、驚怪兒童呼不得、尽衝煙雨漉車鰲 釣侶 皮日休
- 800 池塘經雨更蒼々、万点荷珠晝氣涼、朱瑀空偷御溝水、金鱗紅尾属嚴光 薛氏池垂釣 温庭筠 (22才)
- 801 默坐磻溪素髮垂、商周於此繫興衰、機深正似忘機者、心被沙鷗静处窺 太公釣 張樂全
- 802 一縷經綸一釣竿、扁舟風暖水漫々、婦来滿髮楊花雪、莫作寒江独釣看 春江漁父 王烈孫
- 803 江水磨銅鏡樣寒、釣魚人在蓼花湾、回頭貪看初生月、不覺竹竿流下灘 漁翁 盧溪
- 804 急景易如流水去、浮名終与白雲空、何如幾曲秋溪上、醉泛一舟煙雨中 漁父 王珪宋人
- 805 采辱從來摠不知、幾間茅屋对漁磯、江鷗散处夜無伴、荷葉老時秋有衣 同 許彦国宋人 (22ウ)
- 806 芦花深沢静垂綸、月夕煙朝幾十春、自說孤舟寒水畔、不曾逢着独醒人 贈漁父 杜牧
- 807 無限荷香染暑衣、阮郎何處弄船歸、自慙不及鴛鴦侶、猶得双々遠釣磯 聞李端公垂釣回 魚玄機
- 808 一葉扁舟傍蓼湾、得魚換酒慰風寒、醉来忘却荈花宿、睡覺還疑作雪看 漁父 愛梅先生元人
- 809 虹作長竿月作鉤、糸綸直下一星流、等閑掣取金鰲去、翻動西山四百州 垂釣 張渭叟
- 810 身閑輪与老漁翁、罷釣歸来繫短篷、滿眼秋光無处著、斜陽一抹蓼花紅 漁翁 蒙齋 (23才) (23ウ空白)
- 811 青山直入鳳城頭、澆水斜分入御溝、新校内人唯射鴨、長随天子苑東遊 御獵 王建
- 812 已落双鵬血向新、鳴鞭走馬又翻身、憑君莫射南來雁、恐有家書寄遠人 獵騎 杜牧
- 813 蕃面將軍着鼠裘、酣歌衝雪在辺州、獵過黑山猶走馬、寒鵬射落不回頭 射鵬騎 馬戴
- 814 金鉞染血犬衝毛、倒臂蒼鷹掣錦條、紅日下山秋塞闊、齊歌禁樂陣雲高 觀出獵 宋衙
- 815 的磔金鑿墮曉星、晴天霹靂心弦声、風毛雨血燕雲在、未要草間孤兔驚 送獵口号 欽叔金人 (24才) (24ウ空白)
- 樵牧門
- 816 雲際依々認旧林、断崖荒磴路難尋、西山望見朝来雨、南澗歸時渡处深 樵夫 歐陽永叔
- 817 日照瓊林鶴斂衣、登銀踐玉拾薪扉、山童帶湿供茶竈、溪友衝寒款竹扉 樵雪 僧道原 (25才)

818 草鋪橫野六七里、笛、弄、晚、風、三、兩、聲、  
歸來飽飯黃昏後、不、脫、簑、衣、臥、月、明、  
819 一鞭一笠一簑衣、短笛橫吹牛倒騎、  
黃閣朱崖天上事、世間元自不曾知  
同 (ナシ)  
鍾弱翁唐人  
820 白霰紛々風戰天、徑崎泥滑敢加鞭、  
梅花折得和凍插、未夜歸來豈背眠  
雪中老牧人  
諶子仁 (25ウ)

農耕門

821 雙膝過顛頂在肩、四隣知姓不知年、  
臥驅鳥雀惜禾黍、猶恐諸孫無社錢  
老農 盧綸  
822 田裡工夫著得勤、翻犁須熟糞須勻、  
插秧更要當時節、趁取陽和三月春  
勸農 真西山  
823 一犁春雨足生涯、黍粟桑麻已滿畝、  
只願今年風景好、村々社酒樂農家  
農年 趙信庵  
824 万字新歌大有年、又看瑞雪粲瑤田、  
太平和氣隨春轉、米斗從今三四錢  
同 (26オ)

825 堯舜吾君堯舜民、一犁新雨半簑雲、  
灞陵山下齊眉者、歲々春風欲猷芹  
耕隱 曾德厚  
826 百歲老翁不種田、惟知曝背業殘年、  
有時捫虱獨搔首、目送歸鴻籬下眠  
野老曝背 李頎唐人  
827 浪波春稻滿前陂、極目連雲把種肥、  
更被鷺鷥千点白、披煙來入画屏飛  
稻田 韋莊

828 田家汨々水流渾、一樹高花明遠村、  
雲意不知殘照好、却將微雨送黃昏  
田家 鄭毅夫  
829 翁携襁褓去栽桑、婦踏練車日夜忙、  
終歲幾曾身飽暖、逢人猶自說農桑  
同 黃湫潤 (26ウ)

830 溪繞孤村山繞溪、野花牽引上疎籬、  
老翁抱子茅檐靜、坐看羸牛嚼豆箕  
同 謝暈山  
831 皤翁偃僕負薪行、稚子跳梁剥棗聲、  
不似二姑忙更殺、晚春椎髻脫釵荆  
田間秋日 經甫金人 (27オ) (27ウ空白)

錦囊風月卷之四

婦女門

832 粉色全無飢色加、豈知人世有榮華、  
年々道吾蚕辛苦、底事渾身著苧麻  
蚕婦 杜荀鶴

833 曉夕采桑多苦辛、好花時節不閉身、  
若教解愛繁華事、凍殺黃金屋裡人  
(ナシ) 薛能

834 兩鬢樵、風、一面塵、採桑々々露沾身、  
相逢却道空辛苦、抽得糸來還別人  
(ナシ) 翁靈舒宋人

835 子規啼徹四更時、起視蚕頭怕葉稀、  
不信樓頭楊柳月、玉人歌舞未曾歸  
蚕婦吟 謝暈山 (28オ)

836 曉起何曾得画眉、採桑枝上雨垂々、  
歸來窓下烘殘火、春袖未乾蚕又飢  
蚕婦嘆 李中山宋人

837 君在辺頭妾在家、寒衣遠寄護風沙、  
到來休訝麝々布、是妾鋤園自種麻  
戍婦詞 何彦登

838 三年兩度寄征衣、絡緯啼時妾正啼、  
欲寄西風數行淚、可憐吹不倒遼西  
同 (ナシ)

839 欲寄寒衣万里雲、又伝婦信到江浜、  
深閨半夜嬋娟夢、起換香燈拜鬼神  
征婦詞 趙崇嶠宋人

840 嫁与上人頭欲白、未曾一日得双行、  
任君逐利輕江海、莫把風濤似妾輕  
賈婦怨 劉得仁 (28ウ)

- |     |                                 |   |     |           |
|-----|---------------------------------|---|-----|-----------|
| 867 | 長安遊子誤歸期、懶織回文錦字詩、約臂黃金寬一寸、逢人猶道不相思 | 同 | 閨怨  | 葉苔機 (31ウ) |
| 866 | 誤種千愁著寸腸、而今腸斷奈愁何、夜來酒醒無眠處、自起移燈看海棠 | 同 | 同   | 高明叔       |
| 865 | 桂影婆娑玉殿涼、風伝花漏夜聲長、內人亦有思仙者、月下吹簫引鳳凰 | 同 | 同   | 陳節齋       |
| 864 | 紅樓曉色催宮漏、紫閣春光雜禁煙、風定玉炉香影直、日融金掌露華鮮 | 同 | 同   | 僧覺範       |
| 863 | 璧門金闕倚天開、五色宮花落古槐、明日扁舟滄海去、却尋雲氣望蓬萊 | 同 | 同   | 劉夔宋人      |
| 862 | 金雀觚稜轉晚暉、飄々宮葉墜秋衣、出門塵漲如黃霧、始覺身從天上歸 | 同 | 同   | 秦少游 (31才) |
| 861 | 昨夜承恩宿未央、羅衣猶帶御炉香、芙蓉帳小雲屏暗、楊柳風多水殿涼 | 同 | 同   | 劉長卿       |
| 860 | 拍々宮溝碧卷羅、影窺明玉斂青蛾、回頭趁撲双々蝶、恨殺春風独管他 | 同 | 同   | 同         |
| 859 | 拜月歸來剪絳燈、誤占燈喜望君恩、斷魂薄命如初月、欠尽团々只一痕 | 同 | 同   | 僧居簡       |
| 858 | 御泉長繞鳳凰樓、只是恩波別處流、閑蝶舞衣歸未得、夜來砧杵古宮秋 | 同 | 同   | 劉駕        |
| 857 | 長門花泣一枝春、争奈君恩別處新、錯把黃金買詞賦、相如元是薄情人 | 同 | 同   | 崔道融 (30ウ) |
| 856 | 蟬鬢慵梳倚帳門、蛾眉不掃慣承恩、傍人未必知心事、一面殘粧空淚痕 | 同 | 同   | 劉皂        |
| 855 | 金壺漏尽禁門開、飛燕昭陽侍寢回、随分独眠秋殿裡、遙聞語笑自空來 | 同 | 同   | 李端        |
| 854 | 学画蛾眉独出群、当时人道便承恩、經年不見君王面、花落黄昏空掩門 | 同 | 同   | 劉媛        |
| 853 | 閑把羅衣泣鳳凰、先朝曾教舞霓裳、春來却羨桃花落、得逐晴風出禁牆 | 同 | 同   | 鄭谷        |
| 852 | 自閉長門經幾秋、羅衣濕尽淚還流、一種蛾眉明月夜、南宮歌管北宮愁 | 同 | 同   | 裴交泰 (30才) |
| 851 | 独坐炉边結夜愁、暫時恩去亦難留、手持金筋垂紅淚、乱撥寒灰不举頭 | 同 | 同   | 劉言史       |
| 850 | 宮殿沈々曉欲分、昭陽更漏不堪聞、珊瑚枕上千行淚、半是思君半恨君 | 同 | 同   | 劉皂唐人      |
| 849 | 天回北斗掛西樓、金屋無人萤火流、月光欲到長門殿、別作深々一段愁 | 同 | 同   | 同         |
| 848 | 桂殿長愁不記春、黃金四屋起秋塵、夜懸明鏡青天上、独照長門宮裡人 | 同 | 長門怨 | 李太白       |
| 847 | 玉貌風沙勝画図、琵琶難写旧恩疎、宮中只尺如千里、況復如今万里余 | 同 | 同   | 僧季潭 (29ウ) |
| 846 | 一曲琵琶梨葉怨、兩行玉筍漢庭春、願君更作防胡計、莫倚平安在妾身 | 同 | 同   | 彭復雅       |
| 845 | 画工有罪似無心、說着和親氣扑膺、千古琵琶梨葉曲、声々应是怨長陵 | 同 | 同   | 游希卿 (29才) |
| 844 | 丹青未必誤君王、傾国無人漢道昌、後二十年儲禍水、冢頭青草死猶香 | 同 | 同   | 趙漢宗       |
| 843 | 淚眼胡天蹙漢眉、此心何得九重知、如今只合丹青恨、未到丹青合恨誰 | 同 | 同   | 諶子仁       |
| 842 | 泪滴宮衫別漢墀、鏡中偷画漢宮眉、君王雖恨丹青手、也恨丹青未画時 | 同 | 同   | 宋器之       |
| 841 | 雪裡穹廷不見春、漢衣雖旧淚常新、如今最恨毛延壽、愛把丹青錯画人 | 同 | 王昭君 | 劉媛        |

868	眉鎖從春不暫開、懶移心事向粧台、恩情恰似殘花片、去逐東風更不回。	同	許斐
869	燕子樓前柳色新、画眉人遠鏡生塵、年來羞結空床夢、閑撥琵琶過却春。	同	賈秋壑
870	月引庭花影上窓、悶和簪朶臥空床、春寒翠被無人共、閑却重爐一字香。	同	許梅屋
871	滿目淒涼只自知、閑將心事寄琴徽、無情梁上双双燕、帶取秋光一半歸。	秋閨	王花洲
872	白袷行人又遠遊、日斜空上映花樓、愁糸墮絮相逢着、絆惹春風卒未休。	閨怨	陸龜蒙 (32才)
873	閨中少婦不曾愁、春日凝粧上翠樓、忽見陌頭楊柳色、悔教夫婿覓封侯。	同	王昌齡
874	細柳輕煙鎖画樓、々中人去水空流、琵琶聲斷梅花落、別是春風一種愁。	春閨怨	趙季思
875	獵騎秋來在內稀、渚宮雲雨濕龍衣、騰々戰鼓動城闕、江畔射麋猶未歸。	楚宮怨	許渾
876	風暖江城白日遲、昔人遺事後人悲、草生宮闕國無主、玉樹後庭花為誰。	陳宮怨	同
877	地雄山險水悠悠、不信隋兵到石頭、玉樹後庭花一曲、与君同上景陽樓。	同	同 (32ウ)
878	空宮夜靜百花香、欲卷珠簾春恨長、斜抱雲和深見月、朦朧樹色隱昭陽。	西宮春怨	王昌齡
879	羅袖無香鏡有塵、一花々瘦不成春、十年不識君王面、始信嬋娟解語人。	宮怨	倪梅屋
880	柳色參差掩画樓、曉鶯啼送滿宮愁、年々花落無人見、空逐春泉出御溝。	同	司馬札唐人
881	長門燈暗夜沈々、自計寧無買賦金、見說臨邛能賦客、閨中亦有白頭吟。	同	劉媛
882	花影重重疊綺窓、篆煙飛上枕屏香、無情鶯舌驚春夢、喚起愁人对夕陽。	春怨	朱叔真 (33才)
883	紗窓日落漸黃昏、金屋無人見淚痕、寂寞空庭春欲晚、梨花滿地不開門。	同	劉方平
884	越王宮裡如花人、越水溪頭采白蘋、々々未盡人先尽、誰見江南春復春。	越溪怨	(ナシ)
885	朝日殘鶯伴妾啼、開簾只有草萋々、庭前時有東風入、楊柳千条尽向西。	春愁	劉方平
886	自有春愁正斷魂、不堪芳草思王孫、落花寂々黃昏雨、深院無人独倚門。	同	韋莊
887	銀屏屈曲障春風、独抱寒衾睡正濃、啼鳥一声驚夢破、乱愁依旧鎖眉峯。	旧愁	朱叔真 (33ウ)
888	一聯佳句題流水、十載幽恩滿素懷、今日却成鸞鳳友、方知紅葉是良媒。	紅葉之緣	韓夫人
889	青鸞解報仙郎信、紅葉能傳禁女情、東家把酒西家咲、只作春風過一生。	贈媒者	青山
890	空谷佳人独笑歌、不煩花鳥使相過、紅粧洗却蛾眉醜、縱有良媒可奈何。	同	同
891	華堂今日綺筵開、誰喚分司御史來、忽發狂言驚滿坐、兩行紅粧一行廻。	李尚書坐上而賦	杜牧
892	金井梧桐秋葉黃、珠簾不捲夜來霜、熏籠玉枕無顏色、臥聽南宮清漏長。	長信秋詞	王昌齡 (34才)
893	月映東窓似玉輪、未央前殿絕聲塵、宮槐花落西風起、鸚鵡驚寒夜喚人。	漢宮詞	鮑溶
894	寂々花時閉院門、美人相並立瓊軒、含情欲說宮中事、鸚鵡前頭不敢言。	宮中詞	朱慶余

921	宮樣梳兒金縷犀、 釵梁水玉刻蛟螭、 粧成要點双心字、 不管蕭郎只画眉	粧	李膺仲
920	浅画蛾眉薄傅腮、 淡粧雅称寿陽梅、 丁寧不用梳高髻、 勾引朝臣諫疏來	宮粧	陳自齋
919	銀瓶瀉水欲朝粧、 燭焰紅高粉壁光、 共怪滿衣珠翠冷、 黃花瓦上有新霜	同	同(37才)(37ウ空白)
918	百尺仙梯倚閣邊、 内人爭下擲金錢、 風來競看相烏轉、 遙指朱竿在半天	同	王涯
917	涼殿吹笙露滿天、 木犀花發月初圓、 君王少御珊瑚枕、 多就宮人玉臂眠	同	劉後村
916	玉甃銀床轉轆轤、 吹寒桐葉扞金鋪、 已涼未忍忘秋扇、 還得君恩似妾無	同	元端本
915	真珠簾底瑞香風、 月冷宮門十二重、 驚散採蓮船上夢、 幾回愁恨景陽鐘	同	(ナシ)
914	先帝宮人綵道裝、 遙瞻陵柏淚成行、 旧恩一似薔薇水、 滴在羅衣到死香	同	劉後村(36ウ)
913	三曲女兒呼楚娃、 蓮花髻子綰双鴉、 無奈南国春色惱、 自上牆頭攀杏花	同	同
912	文錦爛斑作地衣、 怯春長是步行遲、 美人欲療尋花病、 海南去買白猿脂	同	同
911	幾番花信逐時添、 諸柘新篳酒正甜、 莫道曉風猶料峭、 内家新賜却寒簾	同	同
910	花氣蒸霞淑景明、 望仙樓上看彈鸞、 李謨吹笛宮牆外、 学得梨園第幾聲	同	同
909	露蘭研粉寿陽粧、 奩内新燒百刻香、 円舌教成鸚鵡語、 偷將玉笛送寧主	同	同(36才)
908	合宮舟泛濯龍池、 端午爭懸百綵糸、 新賜承恩脂粉磬、 上陽不敢妬蛾眉	同	宋景濂
907	銀床井冷露薄々、 半臂薰衣釧辟寒、 不恨長門冬夜永、 小奴休報鞦韆單	同	馬祖常
906	太一芙蓉上下天、 秋波淡々白生煙、 採蓮宮女分花子、 笑把蘭篙学刺船	同	巨觀金人
905	玉楼天半起笙歌、 風送宮嬪笑語和、 月殿影開聞夜雨、 水精簾卷近銀河	同	陸暢
904	非関宋玉有微辭、 却是襄王夢覺遲、 一自高唐賦成後、 楚天雲雨尽堪疑	同	李商隱(35ウ)
903	宝帶香襟水府仙、 黄旂綵扇九龍船、 薰風十里瑤華島、 一派歌声唱採蓮	同	郭平叔金人
902	九重天架降神仙、 步舞分行踏錦筵、 嘈噴一声鐘鼓歇、 万人楼下拾金錢	同	陸暢
901	梨花風動玉蘭香、 春色沈々鎖建章、 唯有落紅官不禁、 儘教飛舞出宮牆	同	武朝宗
900	鴛鴦瓦上警然声、 昼寢宮娥夢裡驚、 元是君王金彈子、 海棠花下打流鶯	宮詞	王建
899	碧落初明月未收、 露華香滴杏梢頭、 玉欄干外東風軟、 人在香雲第幾樓	同	文鼎(35才)
898	黃鳥啼多春日高、 紅芳開尽井辺桃、 美人手暖裁衣易、 片々輕雲落剪刀	同	施肩吾
897	低花樹映小粧楼、 春入眉心兩点愁、 斜倚欄干臂嬰武、 思量何事不回頭	同	白居易(34ウ)
896	新粧宜面下朱楼、 深鎖春光一院愁、 行到中庭数花朵、 蜻蜓飛上玉搔頭	春詞	劉禹錫
895	上苑風酣雨露香、 紅情綠意為春忙、 五雲独繞瓊花夢、 三十六宮清漏長	春宮詞	趙白雲

- 922 独在紗窓刺繡遲、紫荊枝上囓黃鸝、欲知無限傷春意、尽在停針不語時 春女怨 朱絳
- 923 一朵薔薇颯髯窩、春衫初試薄蕉羅、呼童掃聚桃花片、以似啼痕未必多 佳人怨 宋器之
- 924 自別漢宮休楚舞、不施粧粉恨君王、無金豈得迎商叟、呂氏何曾畏木強 戚夫人 劉媛 (38 才)
- 925 百子池頭一曲春、君恩和淚落塵埃、當時心恨秦皇帝、不殺商山皓首人 又 李泰伯
- 926 不望金輿到錦帷、人間樂極即須悲、若言要識愁中貌、也似君恩日夕衰 李夫人 徐演
- 927 家國興亡自有時、吳人何苦怨西施、若解傾吳國、越國亡來又是誰 西施 羅隱
- 928 苧羅山下如花女、占得姑蘇台上春、一笑不能忘敵國、五湖何處有功臣 又 崔道融
- 929 玉貌何曾為洗紗、只因勾踐猷夫差、蘇台日夜唯歌舞、不覺干戈犯翠華 越女 汪遵 (38 才)
- 930 燭淚夜黏桃葉袖、酒痕香汚石榴裙、莫辭辛苦供歡宴、老後思量悔殺君 論妓 樂天
- 931 宝鈿雪和玉、禁仙、深含媚靨裊朱絃、春風不怕君王恨、引出幽花落外邊 贈陳長史妓 本內人 劉言史
- 932 宝鈿香蛾翳翠裙、裝成掩泣欲行雲、殷勤好取襄王意、莫向陽台夢使君 送零陵妓 戎昱
- 933 秋色西陵滿綠蕪、繁絃急管強權娛、長舒羅袖不成舞、却向風前承淚珠 銅雀妓 吳燭
- 934 阿母桃花方似錦、王孫草色正如煙、不須更向滄溟望、惆悵歡情恰一年 別青州妓段東美 薛冥僚 (39 才) (39 才空白)
- 遊宴門
- 935 青林碧嶼暗相期、緩揖揮觥欲賦詩、借問嬌歌凡幾轉、河低月落五更時 同武平一遊湖 儲光義
- 936 花潭竹嶼傍幽磯、画棹浮空入夜溪、菱荷覆水船難進、歌舞留人月易低 同 同
- 937 水北水南草色新、雪消風暖不生塵、城中車馬應無數、能解閑行有幾人 与賈島閑遊 張籍
- 938 老身不計人間事、野寺秋晴每獨過、病眼校來猶斷酒、却嫌行處菊花多 閑遊 同 (40 才)
- 939 綠樹交加山鳥啼、晴風蕩漾落花飛、鳥歌花舞太守醉、明日酒醒春已歸 豐樂亭遊春 歐陽永叔
- 940 紅樹青山日欲斜、長郊草色綠無涯、遊人不管春將老、來往亭前踏落花 同 同
- 941 麗沢門西日未俄、水明沙淨卷纖羅、綠瑤洲渚青瑤嶂、付与詩工敢琢磨 遊城東 王荊公
- 942 庇嫌屐齒印蒼苔、十扣柴門九不開、春色滿園闌不住、一枝紅杏出牆來 遊園不值 葉靖逸 宋人
- 943 為愛名花抵死狂、只愁風日損紅芳、綠章夜奏通明殿、乞借春陰護海棠 花時遊諸園 放翁 (40 才)
- 944 看雲東度四明山、仙屋仙巖紫翠間、好掛錫杖從此住、盤陀石上聽潺湲 見心復公訪遊四明率成一絕 子迪明人
- 945 載酒尋春二月天、子規啼破綠楊煙、日斜醉倚鞦韆柱、石上桃花紅欲燃 春遊 趙信庵
- 946 宝馬香車正踏青、豈知已自過清明、燕雛告訴花都盡、鳩婦丁寧雨速晴 同 林季謙
- 947 一春十病九因酒、三月却無兩日晴、明且乘驢芳草渡、綠楊深處聽啼鶯 同 白玉蟾



948	曉風吹醒桃花醉、暮雨添成柳葉愁、醉了又愁々又醉、鶯煎燕燭逼春休	同	同 (41才)
949	樹藏条竹々藏門、々外清溪幾股分、行過小橋人不見、背陰花氣隔牆聞	同	秉文金人
950	一抹輕煙隔小橋、新篁搖翠兩三梢、惜春不覺歸來晚、花庄重門帶月敲	同	趙信庵
951	草色江城綠四圍、客中天氣近單衣、蛛糸似怕春深去、網住桃花不許飛	同	宋季任
952	老去風光不屬身、黃金莫惜買青春、白頭縱作花園主、醉折花枝是別人	勸行樂	雍陶
953	池上涼台五月涼、百花開尽水芝香、黃金買酒邀詩客、醉倒簷前青玉床	夏日燕九華池贈主人	陳羽 (41ウ)
954	一曲歌雲動玉觴、歸來斜月冷侵床、小窓細嚼梅花藥、吐出新詩字々香	小宴	劉小山
955	尋芳不覺醉流霞、倚樹沈眠日已斜、客散酒醒深夜後、更持紅燭賞殘花	花下醉	李義山
956	花園欲去々心遲、正是風吹狼藉時、近西數樹猶堪醉、半在春風半在枝	杏園花落時招錢卍外同醉	白居易
957	天下蒼生望不休、東山雖有但時遊、從來海上仙桃樹、肯逐人間風露秋	和裴令公夜宴	劉禹錫
958	突兀毬場錦繡峰、遊人女士女擁千重、月離雲海飛金鏡、燈射冰簾掣火龍	侍宴御樓	孫何宋人 (42才)
959	天桃紅燭正相鮮、傲吏閑齋困独眠、忘是夢中飛作蝶、悠揚祇在此花前	看花招李兵曹不至	呂温
960	王孫還是負佳期、玉馬追游日漸西、独上郊原人不見、鷓鴣飛過落花溪	會友不至	成文幹
961	分坐山窓对白雲、心如秋水語如春、平生結交渾無數、青眼相看有幾人	會竺原未上人	僧実存 (42ウ)
音樂門			
962	抱琴花夜不勝春、独奏相思淚滿巾、第五指中心最恨、数声嗚咽為何人	琴	趙嘏
963	雲水一笑無別好、琴心三疊有誰知、今宵松殿相期处、彈到西山月落時	同	白玉蟾
964	道人清夜理瑤琴、愛学啼鳥轉羽音、莫抱世人工拙論、世人彈耳不彈心	同	潘紫岩
965	琴到無絃聽者希、古今惟有一鍾期、幾回擬鼓陽春曲、月滿虛堂下指遲	同	僧癩可 (43才)
966	至竟心為造化功、一枝青竹四絃風、寥寥双耳更深後、如在縵山明月中	風琴	貫休
967	風鉄相敲固可驚、朔兵行夜響行宮、如何清世容高臥、翻作幽窓枕上声	同	王荊公
968	一鼓薰風至自南、再行新月墮瑤簪、高山流水人猶在、笛弄梅花莫再三	彈琴	楊洲
969	半生湖海鬢星々、歸臥山林抱一絃、起向梅花写岑寂、琴心三疊水泠々	携琴	周衡之
970	五音六律十三徽、龍吟鶴響思庖羲、二彈流水一彈月、水月風生松樹枝	風中琴	王秋江 (43ウ)
971	信意閑彈秋思時、調清声直韻疎遲、近來漸喜無人聽、琴格高低心自知	彈秋思	白樂天
972	靜中有物即縈心、物象相忘趣轉深、為報柴桑陶处士、無絃争似更無琴	無絃琴	申屠致遠
973	十指宮商膝上秋、七条絃動雨條々、空堂半夜孤燈冷、彈着郷心欲白頭	秋夜聽琴	薛能

974	賈誼投文吊屈平、瑤琴能寫此時情、秋風一卷沈湘曲、流水千年作恨聲	聽彈沈湘	雍裕之
975	青松宿鶴礪泉流、雲意遲々山意秋、一曲広陵休盡奏、月寒天地古人愁	聽子善琴	僧雪岑 (44才)
976	人靜窓虚片月明、臥聞風鉄響簷楹、直疑半夜朝元去、吹過群仙玉佩聲	夜聞風鉄	曹元象
977	上帝鈞天會衆靈、昔人因夢到青冥、伶倫吹裂孤生竹、却為知音不得聽	鈞天	李義山
978	玉作搔頭金步搖、高張苦調響連宵、欲知寫尽相思夢、度水尋山不用橋	箜篌	陸暢
979	花咽嬌鶯玉漱泉、名高半在御筵前、漢皇欲助人間樂、從遣新聲墜九天	聽李憑彈箜篌	楊巨源
980	露重花香飄不遠、風微梧葉落無聲、倡樓何處教新曲、夜靜月高絃索鳴	秋夜聞箜篌	平叔 (44ウ)
981	千重鈎鎖撼金鈴、万顆真珠瀉玉瓶、恰值滿堂人欲醉、甲光纔觸一時醒	楚州章中丞箜篌	張祐
982	金屑檀槽玉腕明、子絃輕撚為多情、只愁拍尽涼州破、画出風雷是撥聲	王家琵琶	同
983	欲寫明妃万里情、紫槽紅撥夜丁丁、胡沙望尽漢宮遠、月落天山聽一聲	聽琵琶	許渾
984	禁曲新翻下玉都、四絃振觸五音殊、不知天上彈多少、金鳳銜花尾半無	聽曹剛彈琵琶	張祐
985	號國潛行韓國隨、宜春深院映花枝、金輿遠幸無人見、偷把郗王小管吹	郗王小管	張祐 (45才)
986	曉。蟬。鳴。咽。暮。鶯。愁。言。語。殷。勤。十。指。頭。罷。閱。梵。書。聊。一。弄。散。隨。金。磬。泥。清。秋	聽僧吹笙管	薛濤
987	非琴非瑟亦非箏、撥柱推絃調未成、欲散白頭千万恨、只消紅袖兩三聲	雲和	白樂天
988	一為遷客去長沙、西望長安不見家、黃鶴樓中吹玉笛、江城五月落梅花	与史郎中飲聽黃鶴樓上吹笛	李白
989	江上誰人吹笛聲、月明霜白不堪聽、孤舟万里瀟湘客、一夜歸心滿洞庭	聞笛	周南峯
990	當時得意氣填心、一曲君前直万金、今日不如庭下竹、風來猶得學龍吟	破笛	黃陵美人 (45ウ)
991	誰家橫笛弄輕清、喚起離人枕上情、自是斷腸聽不得、不干吹出斷腸聲	中秋聞笛	朱淑真
992	江南已有杏花開、社日都無燕子來、人在白雲流水外、一声折柳十分衰	社日聞笛	僧雪岑
993	天籟無声地籟沈、一轟千仞裂層陰、瞳々喚得閑山月、不作離鸞別鵲吟	聞笛	僧居簡
994	虚簷欹枕月侵床、風露宜人枕簟涼、正是閑愁覺端緒、笛声無奈過隣牆	夜涼聞笛	李元膺
995	皎潔西樓月未斜、笛声寥亮入東家、却令燈下裁衣婦、誤剪同心一半花	夜笛詞	施肩吾 (46才)
996	何處桓伊酒力雄、分明嚼徵更含宮、倚樓三弄西風急、不覺梅花太半空	笛	李梅亭
997	少年毬馬宴秋風、笛起連營響裂空、今夕夢回村野館、一枝孤卷月明中	聞笛	劉後村
998	初如癡將哭窮、又似孤臣訴左遷、何必謝公双淚落、野人聽罷又凄然	同	同
999	不帶梅花塞曲悲、調声清古似桓伊、平生不識閑山面、牛背斜陽任意吹	牧笛	琴屋
1000	雌鸞無鳳怨西風、月、女、寒、寒、泪、洒、空、牙、板、急、隨、声、不、斷、滿、天、敲、碎、玉、玲、瓏	聞笛	辺元鼎 (46ウ)

1026	颯々先飛、梁上塵、朱唇不動翠眉顰、願得春風吹更遠、直教愁殺滿城人	歌	李涉
1025	擊霜寒玉乱丁々、花底秋風扒坐生、王母閑看漢天子、滿猗蘭殿佩環聲	方響	陸龜蒙 (49才) (49ウ空白)
1024	寒林煙重暝栖鴉、遠寺疎鐘送落霞、無限嶺雲遮不斷、數聲和月到山家	暮鐘	劉彦由
1023	寒鷄縮頸未鳴晨、已聽春容入夢頻、未必佞徒知警悟、祇能喚起利名人	相国寺鐘	祝廉夫
1022	花洲人別月涼船、煙寺寒鯨隔岸聞、帶雨一声天外落、過江穿破半山雲	晚鐘	趙福元
1021	天生一芸更無倫、寥亮幽音妙入神、吹向別離攀折处、当应合有断腸人	聞吹楊葉者	郎士元
1020	何処聞笳最是、京門独立晚晴時、鸚庚一去荒郊遠、借問春光有底遲	聞笳	范德機 (48ウ)
1019	新教郤娘羯鼓成、大酺初日最先呈、冬兒指向貞々說、一曲乾鳴兩杖輕	郤娘羯鼓	張祐
1018	華清宮裡打撩聲、供奉糸簧束手聽、寂寞鑿與斜谷裡、是誰翻得雨淋鈴	羯鼓	崔道融
1017	辺霜昨夜墮関榆、吹角当城片月孤、無限塞鴻飛不度、秋風吹入小单于	聽曉角	李益
1016	咽月悲風夜未分、數声軋々入江雲、梅花不使人愁絶、愁絶人緣客裡聞	夜聞角	僧斯道
1015	風通羌音出戍樓、月華摧落古城頭、傷心一曲梅花引、吹作霜天幾枕愁	聞角	僧道原 (48才)
1014	江城吹角水茫茫、曲引辺声怨思長、驚起暮天沙上雁、海門斜去兩三行	潤州聽角	李涉
1013	嫋々清笳入雪雲、白頭老守臥中軍、自憐到老懷遺恨、不向居延塞外聞	冬夜聞角声	陸務觀
1012	胡兒吹角漢城頭、月皎霜寒大漠秋、三奏未終天便曉、何人不起望鄉愁	单于曉角	同
1011	何処金笳月裡悲、悠悠辺客夢先知、单于城上関山曲、今日中原總解吹	汴州聞角	武元衡
1010	戍鼓停過月五更、鳴々巧作断腸声、江南自是春來早、吹到梅花夢也清	聞角	劉吉父 (47ウ)
1009	画角梅花吸曉寒、數声清徹碧雲端、誰知有客愁無寐、一掬鄉心不奈酸	角	華岳
1008	織女分明銀漢秋、桂枝梧葉共颺颺、月露滿庭人寂々、霓裳一曲在高樓	秋夜安国觀聞笳	劉禹錫
1007	鳳吹声如隔彩霞、不知牆外是誰家、重門深鎖無尋処、疑有碧桃千樹花	聽隣家吹笳	郎士元
1006	滿座無言聽軋箏、秋山碧樹一蟬清、只应曾送秦王女、写得雲間鸞鳳声	聽軋箏	劉禹錫
1005	心与寥寥太古通、手随輕籟入天風、山長水闊無尋処、声在乱雲空碧中	風箏	無名氏 (47才)
1004	花臉雲鬟坐玉樓、十三絃裡一時愁、憑君向道休彈去、白尽江州司馬頭	聽崔七妓人箏	白樂天
1003	玉柱冷々对寒雪、清商怨、徵声何切、誰憐楚客向隅時、一片愁心与絃絶	雪中聽箏	楊巨源
1002	秦声楚調怨無窮、壘水胡笳咽復通、莫遣黃鸝花裡轉、參差撩乱妬春風	箏	陸暢
1001	剪雨裁煙一節秋、落梅楊柳曲中愁、尊前暫借殷勤看、明月曾聞向隴頭	笛	張喬

- 1027 柳、柳、青、樓、花、滿、衣、能、歌、宛、轉、世、應、稀、空、中、幾、處、聞、清、響、欲、遶、行、雲、不、遣、飛、  
同 陸暢
- 1028 月上重樓系管秋、佳人夜唱古梁州、滿堂誰是知音者、不惜千金與暮愁、  
聽歌 武元衡
- 1029 蕭史吹笙鳳女台、月高霜冷鳳笙哀、不堪好酒沈沈夜、又遣青鸞獨自來、  
歌妓 辺元鼎 (50才)
- 1030 咲裡低眉引醉波、閨風秋月一聲歌、明知畫燭無情物、何是尊前泪更多、  
同 同
- 1031 恋郎思郎非一朝、好似并州花剪刀、一股在南一股北、幾時裁得合歡袍、  
越歌 宋景濂
- 1032 越王台下是儂家、一尺龍梭字織紗、願郎莫裁梨子樹、遮却房前夜合花、  
同 同
- 1033 仙歌靜轉玉簫催、疑是流鶯禁苑來、他日相思夢巫峽、莫教雲雨晦陽台、  
贈歌人 武元衡
- 1034 新詩宛轉通相伝、振袖傾鬢風露前、月落烏啼雲雨散、遊童陌上拾花鈿、  
蹋歌詞 劉禹錫 (50ウ)
- 1035 促指繁歌沸不停、月亭絃語轉明星、莫令知有西隣客、獨坐排燈課六經、  
聞東隣歌 范德機
- 1036 花月樓台近九衢、清歌一曲倒金壺、坐中亦有江南客、莫向春風唱鷓鴣、  
席上貽歌者 鄭谷
- 1037 服製虹霓髻似雲、蕭郎屋裡上清人、等閑逐酒傾盃樂、飛盡虹梁一夜塵、  
韋晤宅聽歌 歐陽詹
- 1038 花暖江城斜日陰、鶯啼繡戶曉雲深、春風不道珠簾隔、伝得歌声与客心、  
東隣美女歌 宋濟
- 1039 唱得梁州意外声、旧人唯数米嘉榮、近来時世輕先輩、好染髭鬚事後生、  
与歌者米嘉榮 劉禹錫 (51才)
- 1040 侯家故人歌声發、逸處能高怨處低、今歲洛中無雨雪、眼前風景似江西、  
和人聽江西故吏歌 劉禹錫
- 1041 花萼樓前雨露新、長安城裡太平人、龍御火樹千燈艷、鷄上蓮花万歲春、  
十五夜御前踏歌詞 張說
- 1042 綺筵無處避梁塵、虞姁清歌日夕新、來值渚亭花欲盡、一声留得滿城春、  
淮南丞相坐贈歌者虞姁 趙嘏
- 1043 汗浥新裝画不成、糸催急節舞衣輕、落花遶樹疑無影、回雪従是暗有情、  
舞 陸暢
- 1044 纏紅結紫畏風吹、嫋娜初回弱柳枝、買咲未知誰是主、万人心逐一人移、  
觀舞女 施肩吾 (51ウ)
- 1045 舞勢隨風散復収、歌声似磬韻還幽、千回赴節填詞處、嬌眼如波入髻流、  
玉女舞霓裳 李太玄
- 1046 百尺竿頭裊々身、足騰跟倒駭傍人、漢陰有叟君知否、抱甕區々亦未貧、  
上竿伎 晏同叔
- 1047 離騷課罷便投壺、長日身心得自娛、多少論籌閑殿最、始終中節定工夫、  
投壺 盧鉞
- 1048 香入熏炉禁火天、芙蓉深苑闌鞦韆、身輕幾欲隨風去、却恨恩深不得仙、  
鞦韆 沈存中
- 1049 錦襜叢裡闌腰支、記得京城此夕時、一曲太平錢舞罷、六街人唱看燈詞、  
元夕觀傀儡 天隱 (52才)
- 1050 百般尽被鬼神戲、看取人間傀儡棚、煩惱自無安脚處、従他鼓笛弄浮生、  
贈傀儡子 劉仁父
- 1051 曾携五老峯前過、幾向双松石上彈、此境此声誰更愛、掀天羯鼓滿長安、  
贈琴客 僧齊己
- 1052 宮碁布局不依絳、黑白分明子教停、巡拾玉沙天漢曉、猶殘織女兩三星、  
夜看美人宮碁 王建
- 1053 蕭森風竹擁虛樓、夢遶湘江六月秋、忽喜靜中生動意、一声飛玉落枰楸、  
困碁 張志龍

- 1079 寸木能將百樣鐫、子從何處得心伝、自慚朴野無人問、謾聘文房齋簡編
- 1078 玉尺金刀剪枝勻、暗中偷出旧枝春、東君太是無情思、分得花權与別人
- 1077 着朱成碧酒闌珊、更訪街西白牡丹、今日看花人白髮、接花容易接春難
- 1076 削玉裁瓊巧自然、雲根水骨更無堅、不知可助媧皇否、補取人間欠处天
- 1075 錕鍔切玉爛成泥、妙手鐫銅亦似之、若会此機來学道、石盤木鑽有通時
- 1074 護惜神鋒速欠殘、回觀敗塚只潯然、只今汗血無人問、朽骨成仙直幾錢
- 1073 魚胞万杵成玄玉、応是柯仙得妙伝、鉄硯毛錐為密友、何時海上別回仙
- 1072 天地炉中有太丹、朝飛東海暮西山、一年三百六十粒、十粒輕抛去不還
- 1071 未信儒冠得誤儂、排雲消息夢魂中、君王若喚丹青手、画我寒岩築晚風
- 1070 君看一滴硯池多、漲起崑崙九曲河、不是与人胸次到、世間那有此風波
- 1069 樹林蓊蔚水灣環、知是江南何処山、數載幽并倦行役、按図欲借屋三間
- 1068 万松深処一茅亭、坐对匡廬九疊屏、黃鳥出林春未老、一溪花雨昼冥々
- 1067 二集一伝一不伝、可能宝晋勝坡仙、蘇郎不醉常如醉、米老真顛客辨顛
- 1066 大令云亡筆不停、世無行草已千年、偶然遺下群鶯帖、生出楊風与米顛
- 1065 淳熙天子課農桑、黃閣鴻儒結郡章、文物昇平今已遠、断篇流落入僧房
- 1064 丞相裁書答布衣、殷勤辭翰総珠璣、秋風吹落蒼松樹、二百年來此道非
- 1063 宋家宗社已丘墟、万里中原百戰余、玉輦不知何処去、人間留得瘦金書
- 1062 蘇本空閒蜀賈舟、襪材還復望袁州、画又猶是黃岡竹、細和陶詩飽即休
- 1061 玉皇前殿掌書仙、一染塵心下九天、莫怪濃香熏骨膩、雲衣曾引御炉煙
- 1060 森然筆勢聚干將、氣軋鍾王未肯降、惆悵當時鉄鉤鎖、可能無意鎖長江
- 1059 詩健如提十万兵、東坡直欲避時名、須知筆墨渾閑事、猶与先生抵死争
- 1058 纖玉參差象管輕、蜀牋小研碧窓明、袖紗密映噴郎看、学得鴛鴦字未成
- 1057 蓬萊仙子補天手、筆妙詩清万世功、肯学黃家元祐脚、信知人厄匪天窮
- 1056 一着臨期下手難、但尋活路向前行、從教对面成千里、黑白分明不用争
- 1055 無事山中一局碁、当機有著少人知、縱然悟得争先法、何似贏他未算時
- 1054 白困黑遶一文楸、費尺機心密運籌、到底盈輸無一事、齊強魯弱兩悠悠
- 1053 放翁 (52ウ)
- 1052 同
- 1051 同
- 1050 同
- 1049 同
- 1048 同
- 1047 同
- 1046 同
- 1045 同
- 1044 同
- 1043 同
- 1042 同
- 1041 同
- 1040 同
- 1039 同
- 1038 同
- 1037 同
- 1036 同
- 1035 同
- 1034 同
- 1033 同
- 1032 同
- 1031 同
- 1030 同
- 1029 同
- 1028 同
- 1027 同
- 1026 同
- 1025 同
- 1024 同
- 1023 同
- 1022 同
- 1021 同
- 1020 同
- 1019 同
- 1018 同
- 1017 同
- 1016 同
- 1015 同
- 1014 同
- 1013 同
- 1012 同
- 1011 同
- 1010 同
- 1009 同
- 1008 同
- 1007 同
- 1006 同
- 1005 同
- 1004 同
- 1003 同
- 1002 同
- 1001 同
- 1000 同
- 999 同
- 998 同
- 997 同
- 996 同
- 995 同
- 994 同
- 993 同
- 992 同
- 991 同
- 990 同
- 989 同
- 988 同
- 987 同
- 986 同
- 985 同
- 984 同
- 983 同
- 982 同
- 981 同
- 980 同
- 979 同
- 978 同
- 977 同
- 976 同
- 975 同
- 974 同
- 973 同
- 972 同
- 971 同
- 970 同
- 969 同
- 968 同
- 967 同
- 966 同
- 965 同
- 964 同
- 963 同
- 962 同
- 961 同
- 960 同
- 959 同
- 958 同
- 957 同
- 956 同
- 955 同
- 954 同
- 953 同
- 952 同
- 951 同
- 950 同
- 949 同
- 948 同
- 947 同
- 946 同
- 945 同
- 944 同
- 943 同
- 942 同
- 941 同
- 940 同
- 939 同
- 938 同
- 937 同
- 936 同
- 935 同
- 934 同
- 933 同
- 932 同
- 931 同
- 930 同
- 929 同
- 928 同
- 927 同
- 926 同
- 925 同
- 924 同
- 923 同
- 922 同
- 921 同
- 920 同
- 919 同
- 918 同
- 917 同
- 916 同
- 915 同
- 914 同
- 913 同
- 912 同
- 911 同
- 910 同
- 909 同
- 908 同
- 907 同
- 906 同
- 905 同
- 904 同
- 903 同
- 902 同
- 901 同
- 900 同
- 899 同
- 898 同
- 897 同
- 896 同
- 895 同
- 894 同
- 893 同
- 892 同
- 891 同
- 890 同
- 889 同
- 888 同
- 887 同
- 886 同
- 885 同
- 884 同
- 883 同
- 882 同
- 881 同
- 880 同
- 879 同
- 878 同
- 877 同
- 876 同
- 875 同
- 874 同
- 873 同
- 872 同
- 871 同
- 870 同
- 869 同
- 868 同
- 867 同
- 866 同
- 865 同
- 864 同
- 863 同
- 862 同
- 861 同
- 860 同
- 859 同
- 858 同
- 857 同
- 856 同
- 855 同
- 854 同
- 853 同
- 852 同
- 851 同
- 850 同
- 849 同
- 848 同
- 847 同
- 846 同
- 845 同
- 844 同
- 843 同
- 842 同
- 841 同
- 840 同
- 839 同
- 838 同
- 837 同
- 836 同
- 835 同
- 834 同
- 833 同
- 832 同
- 831 同
- 830 同
- 829 同
- 828 同
- 827 同
- 826 同
- 825 同
- 824 同
- 823 同
- 822 同
- 821 同
- 820 同
- 819 同
- 818 同
- 817 同
- 816 同
- 815 同
- 814 同
- 813 同
- 812 同
- 811 同
- 810 同
- 809 同
- 808 同
- 807 同
- 806 同
- 805 同
- 804 同
- 803 同
- 802 同
- 801 同
- 800 同
- 799 同
- 798 同
- 797 同
- 796 同
- 795 同
- 794 同
- 793 同
- 792 同
- 791 同
- 790 同
- 789 同
- 788 同
- 787 同
- 786 同
- 785 同
- 784 同
- 783 同
- 782 同
- 781 同
- 780 同
- 779 同
- 778 同
- 777 同
- 776 同
- 775 同
- 774 同
- 773 同
- 772 同
- 771 同
- 770 同
- 769 同
- 768 同
- 767 同
- 766 同
- 765 同
- 764 同
- 763 同
- 762 同
- 761 同
- 760 同
- 759 同
- 758 同
- 757 同
- 756 同
- 755 同
- 754 同
- 753 同
- 752 同
- 751 同
- 750 同
- 749 同
- 748 同
- 747 同
- 746 同
- 745 同
- 744 同
- 743 同
- 742 同
- 741 同
- 740 同
- 739 同
- 738 同
- 737 同
- 736 同
- 735 同
- 734 同
- 733 同
- 732 同
- 731 同
- 730 同
- 729 同
- 728 同
- 727 同
- 726 同
- 725 同
- 724 同
- 723 同
- 722 同
- 721 同
- 720 同
- 719 同
- 718 同
- 717 同
- 716 同
- 715 同
- 714 同
- 713 同
- 712 同
- 711 同
- 710 同
- 709 同
- 708 同
- 707 同
- 706 同
- 705 同
- 704 同
- 703 同
- 702 同
- 701 同
- 700 同
- 699 同
- 698 同
- 697 同
- 696 同
- 695 同
- 694 同
- 693 同
- 692 同
- 691 同
- 690 同
- 689 同
- 688 同
- 687 同
- 686 同
- 685 同
- 684 同
- 683 同
- 682 同
- 681 同
- 680 同
- 679 同
- 678 同
- 677 同
- 676 同
- 675 同
- 674 同
- 673 同
- 672 同
- 671 同
- 670 同
- 669 同
- 668 同
- 667 同
- 666 同
- 665 同
- 664 同
- 663 同
- 662 同
- 661 同
- 660 同
- 659 同
- 658 同
- 657 同
- 656 同
- 655 同
- 654 同
- 653 同
- 652 同
- 651 同
- 650 同
- 649 同
- 648 同
- 647 同
- 646 同
- 645 同
- 644 同
- 643 同
- 642 同
- 641 同
- 640 同
- 639 同
- 638 同
- 637 同
- 636 同
- 635 同
- 634 同
- 633 同
- 632 同
- 631 同
- 630 同
- 629 同
- 628 同
- 627 同
- 626 同
- 625 同
- 624 同
- 623 同
- 622 同
- 621 同
- 620 同
- 619 同
- 618 同
- 617 同
- 616 同
- 615 同
- 614 同
- 613 同
- 612 同
- 611 同
- 610 同
- 609 同
- 608 同
- 607 同
- 606 同
- 605 同
- 604 同
- 603 同
- 602 同
- 601 同
- 600 同
- 599 同
- 598 同
- 597 同
- 596 同
- 595 同
- 594 同
- 593 同
- 592 同
- 591 同
- 590 同
- 589 同
- 588 同
- 587 同
- 586 同
- 585 同
- 584 同
- 583 同
- 582 同
- 581 同
- 580 同
- 579 同
- 578 同
- 577 同
- 576 同
- 575 同
- 574 同
- 573 同
- 572 同
- 571 同
- 570 同
- 569 同
- 568 同
- 567 同
- 566 同
- 565 同
- 564 同
- 563 同
- 562 同
- 561 同
- 560 同
- 559 同
- 558 同
- 557 同
- 556 同
- 555 同
- 554 同
- 553 同
- 552 同
- 551 同
- 550 同
- 549 同
- 548 同
- 547 同
- 546 同
- 545 同
- 544 同
- 543 同
- 542 同
- 541 同
- 540 同
- 539 同
- 538 同
- 537 同
- 536 同
- 535 同
- 534 同
- 533 同
- 532 同
- 531 同
- 530 同
- 529 同
- 528 同
- 527 同
- 526 同
- 525 同
- 524 同
- 523 同
- 522 同
- 521 同
- 520 同
- 519 同
- 518 同
- 517 同
- 516 同
- 515 同
- 514 同
- 513 同
- 512 同
- 511 同
- 510 同
- 509 同
- 508 同
- 507 同
- 506 同
- 505 同
- 504 同
- 503 同
- 502 同
- 501 同
- 500 同
- 499 同
- 498 同
- 497 同
- 496 同
- 495 同
- 494 同
- 493 同
- 492 同
- 491 同
- 490 同
- 489 同
- 488 同
- 487 同
- 486 同
- 485 同
- 484 同
- 483 同
- 482 同
- 481 同
- 480 同
- 479 同
- 478 同
- 477 同
- 476 同
- 475 同
- 474 同
- 473 同
- 472 同
- 471 同
- 470 同
- 469 同
- 468 同
- 467 同
- 466 同
- 465 同
- 464 同
- 463 同
- 462 同
- 461 同
- 460 同
- 459 同
- 458 同
- 457 同
- 456 同
- 455 同
- 454 同
- 453 同
- 452 同
- 451 同
- 450 同
- 449 同
- 448 同
- 447 同
- 446 同
- 445 同
- 444 同
- 443 同
- 442 同
- 441 同
- 440 同
- 439 同
- 438 同
- 437 同
- 436 同
- 435 同
- 434 同
- 433 同
- 432 同
- 431 同
- 430 同
- 429 同
- 428 同
- 427 同
- 426 同
- 425 同
- 424 同
- 423 同
- 422 同
- 421 同
- 420 同
- 419 同
- 418 同
- 417 同
- 416 同
- 415 同
- 414 同
- 413 同
- 412 同
- 411 同
- 410 同
- 409 同
- 408 同
- 407 同
- 406 同
- 405 同
- 404 同
- 403 同
- 402 同
- 401 同
- 400 同
- 399 同
- 398 同
- 397 同
- 396 同
- 395 同
- 394 同
- 393 同
- 392 同
- 391 同
- 390 同
- 389 同
- 388 同
- 387 同
- 386 同
- 385 同
- 384 同
- 383 同
- 382 同
- 381 同
- 380 同
- 379 同
- 378 同
- 377 同
- 376 同
- 375 同
- 374 同
- 373 同
- 372 同
- 371 同
- 370 同
- 369 同
- 368 同
- 367 同
- 366 同
- 365 同
- 364 同
- 363 同
- 362 同
- 361 同
- 360 同
- 359 同
- 358 同
- 357 同
- 356 同
- 355 同
- 354 同
- 353 同
- 352 同
- 351 同
- 350 同
- 349 同
- 348 同
- 347 同
- 346 同
- 345 同
- 344 同
- 343 同
- 342 同
- 341 同
- 340 同
- 339 同
- 338 同
- 337 同
- 336 同
- 335 同
- 334 同
- 333 同
- 332 同
- 331 同
- 330 同
- 329 同
- 328 同
- 327 同
- 326 同
- 325 同
- 324 同
- 323 同
- 322 同
- 321 同
- 320 同
- 319 同
- 318 同
- 317 同
- 316 同
- 315 同
- 314 同
- 313 同
- 312 同
- 311 同
- 310 同
- 309 同
- 308 同
- 307 同
- 306 同
- 305 同
- 304 同
- 303 同
- 302 同
- 301 同
- 300 同
- 299 同
- 298 同
- 297 同
- 296 同
- 295 同
- 294 同
- 293 同
- 292 同
- 291 同
- 290 同
- 289 同
- 288 同
- 287 同
- 286 同
- 285 同
- 284 同
- 283 同
- 282 同
- 281 同
- 280 同
- 279 同
- 278 同
- 277 同
- 276 同
- 275 同
- 274 同
- 273 同
- 272 同
- 271 同
- 270 同
- 269 同
- 268 同
- 267 同
- 266 同
- 265 同
- 264 同
- 263 同
- 262 同
- 261 同
- 260 同
- 259 同
- 258 同
- 257 同
- 256 同
- 255 同
- 254 同
- 253 同
- 252 同
- 251 同
- 250 同
- 249 同
- 248 同
- 247 同
- 246 同
- 245 同
- 244 同
- 243 同
- 242 同
- 241 同
- 240 同
- 239 同
- 238 同
- 237 同
- 236 同
- 235 同
- 234 同
- 233 同
- 232 同
- 231 同
- 230 同
- 229 同
- 228 同
- 227 同
- 226 同
- 225 同
- 224 同
- 223 同
- 222 同
- 221 同
- 220 同
- 219 同
- 218 同
- 217 同
- 216 同
- 215 同
- 214 同
- 213 同
- 212 同
- 211 同
- 210 同
- 209 同
- 208 同
- 207 同
- 206 同
- 205 同
- 204 同
- 203 同
- 202 同
- 201 同
- 200 同
- 199 同
- 198 同
- 197 同
- 196 同
- 195 同
- 194 同
- 193 同
- 192 同
- 191 同
- 190 同
- 189 同
- 188 同
- 187 同
- 186 同
- 185 同
- 184 同
- 183 同
- 182 同
- 181 同
- 180 同
- 179 同
- 178 同
- 177 同
- 176 同
- 175 同
- 174 同
- 173 同
- 172 同
- 171 同
- 170 同
- 169 同
- 168 同
- 167 同
- 166 同
- 165 同
- 164 同
- 163 同
- 162 同
- 161 同
- 160 同
- 159 同
- 158 同
- 157 同
- 156 同
- 155 同
- 154 同
- 153 同
- 152 同
- 151 同
- 150 同
- 149 同
- 148 同
- 147 同
- 146 同
- 145 同
- 144 同
- 143 同
- 142 同
- 141 同
- 140 同
- 139 同
- 138 同
- 137 同
- 136 同
- 135 同
- 134 同
- 133 同
- 132 同
- 131 同
- 130 同
- 129 同
- 128 同
- 127 同
- 126 同
- 125 同
- 124 同
- 123 同
- 122 同
- 121 同
- 120 同
- 119 同
- 118 同
- 117 同
- 116 同
- 115 同
- 114 同
- 113 同
- 112 同
- 111 同
- 110 同
- 109 同
- 108 同
- 107 同
- 106 同
- 105 同
- 104 同
- 103 同
- 102 同
- 101 同
- 100 同
- 99 同
- 98 同
- 97 同
- 96 同
- 95 同
- 94 同
- 93 同
- 92 同
- 91 同
- 90 同
- 89 同
- 88 同
- 87 同
- 86 同
- 85 同
- 84 同
- 83 同
- 82 同
- 81 同
- 80 同
- 79 同
- 78 同
- 77 同
- 76 同
- 75 同
- 74 同
- 73 同
- 72 同
- 71 同
- 70 同
- 69 同
- 68 同
- 67 同
- 66 同
- 65 同
- 64 同
- 63 同
- 62 同
- 61 同
- 60 同
- 59 同
- 58 同
- 57 同
- 56 同
- 55 同
- 54 同
- 53 同
- 52 同
- 51 同
- 50 同
- 49 同
- 48 同
- 47 同
- 46 同
- 45 同
- 44 同
- 43 同
- 42 同
- 41 同
- 40 同
- 39 同
- 38 同
- 37 同
- 36 同
- 35 同
- 34 同
- 33 同
- 32 同

- 1103 淺色縠衫輕似霧、紡花紗袴薄於雲、莫嫌輕薄但知着、猶恐通州熱殺君  
衣服門  
錦囊風月卷之五  
寄生衣与微之  
樂天
- 1102 紫艷紅苞、不同、匝街羅列起香風、無言無語呈顏色、知落誰家池館中  
壳花謠  
來鶴(57ウ、第二冊終)
- 1101 日暮堂前花藥嬌、爭拈小筆上床描、繡成安向春園裡、引得黃鸝下柳條  
觀諸妓繡樣  
胡釘琰
- 1100 拜象馴犀角抵豪、星丸霜劍出花高、六宮爭近乘輿望、珠翠三千擁緒袍  
雜伎  
陸龜蒙
- 1099 君推造化最幽玄、白屋曾經定狀元、休向深雲問消息、春風只在杏花園  
贈日者  
淮海
- 1098 君平天上知名久、牛渚無人解汎槎、獨抱簑衣江海去、扁舟風雨度年華  
贈日者沈愛山  
僧咲隱(57才)
- 1097 連珠合璧轉璇膏、也被星家不見饒、災曜元來怯禱机、福星不是背筆飄  
送談星辰許季叔  
同
- 1096 今年見說也無難、政坐談天泄密機、拳世近來憎直語、貴人剩許未為痴  
送談命曾南翔  
誠齋
- 1095 古寺相逢亦偶然、謾將牛斗話生緣、時行時止非人力、莫問流年只問天  
山寺逢僧談命  
朱元晦
- 1094 石中求玉誰之玉、鑑上無塵知幾塵、除却江東雲谷子、眼高四海許何人  
相者玉鑑  
許伯昭
- 1093 嫗貌何妨至輔臣、猴形亦有上麒麟、唐人嘲歐陽詢云誰令麟閣上画此一獼猴、伏波眉目空如画、不是雲台劍佩人、贈馬相士  
劉潛夫(56ウ)
- 1092 滿鏡秋霜鬢影寒、此生堪咲復堪憐、煩君只相看書眼、更对青燈得幾年  
同  
許尤甫
- 1091 江南橋上相逢处、咲我而今似俗人、欲識本来真面目、秋風天地一吟身  
同  
王君謨
- 1090 麻衣三字未為玄、饒舌希夷不識仙、苦茗一甌君且去、老夫貪着北窗眠  
同  
李商隱
- 1089 拙貌慙君子細看、鏡中我自覺神寒、直從杜甫編排起、幾個吟人作大官  
贈相士  
劉後村
- 1088 虎頭燕頤籬籬將、鳳格龍章鼎鼎臣、却喜野人無此相、一生閑殺臥雲身  
送碧驢與相士  
實存(56才)
- 1087 蹇足蹢躅不問途、釣竿擬去扞珊瑚、煩君相此跛男子、風浪船中差得無  
同  
熊東齋
- 1086 解增頰上三毛勝、能識眉間一点黃、二芸兼精古來少、未忘晦跡水雲鄉  
贈相士黃水堂  
(ナシ)
- 1085 高眼先生本姓陳、閱人多矣妙通神、地炉伝得麻衣法、恐是希夷身後身  
贈高眼陳相士  
雪坡
- 1084 出山只為有源長、散作人間六月涼、從此不憂丹荔渴、宝塘一派冷於霜  
送謝有源閩中医官  
高若鳳
- 1083 聞君妙得医王訣、我病勞君指下求、天与一般愚直性、不知何剂可能瘳  
医学  
潘紫岩(55ウ)
- 1082 活却仙人藥一囊、陰功吹作滿城香、靈椿丹桂君家有、莫羨燕山寶十郎  
贈善医劉惠卿  
誠齋
- 1081 脈差死活懸三指、灸誤風孳廢四支、寧餌生金餐野葛、有身不可識庸医  
医  
劉後村
- 1080 信手揮斤出古文、商盤秦鼎失精神、煩君惜取鑄金手、留待人間周伯仁  
贈刻圖書処士  
李劉

- 1129 半老情懷睡不能、小簷霜月當寒燈、無人來問相如渴、敲碎梅花一夜冰、求酒 趙竹所
- 1128 臘蟻初浮社、瓮菊宿醒正渴卯時投、醉鄉兀々陶々裡、底是形骸底是愁、卯酒 九嘉
- 1127 誰將清酒寄愁人、澄徹甘香氣味真、好是綠窗明月夜、一杯搖動滿懷春、謝人送酒 与可
- 1126 淺色官醅昨夜菊、一樽聊付卯時投、甕邊吏部應歡喜、殊勝平原老督郵、送酒与畢大夫 同(4才)
- 1125 江形圖似阮家盆、山勢岑如北海樽、戸有浮蛆春盎々、双松一路醉鄉門、又 麋道翁
- 1124 温如春色爽如秋、一榼尊前自獻酬、百万愁魔降未得、故応用你作戈矛、酒 和靖
- 1123 家中若下蟻還浮、白玉樽前倒即休、不是春來偏愛酒、応須得酒遣春愁、春飲 徐凝
- 飲食門
- 1122 象榻香濃翠幌春、美人倦繡態橫陳、平明欲進朝天襪、小立蘭燈熨帖頻、襪 簡馬伯庸 清容居士元人(3才)(3ウ空白)
- 1121 剗草曾升馬祖堂、暖窓接膝語還鄉、贈行百衲兜羅襪、処々相隨入道場、謝曉紙送衲襪 黄庭堅(2ウ)
- 1120 万騎西行駐馬嵬、凌波曾此墜塵埃、誰知一掬香羅小、踏鞢開元宇宙來、楊妃襪 曾茶山
- 1119 銀尺裁量減四方、織々玉手裏輕雲、五陵年少欺他醉、咲把花前出画裙、襪 杜牧
- 1118 輕微菅蒯將何用、客足偷安事頗同、日入信陵賓館靜、贈君閑步月明中、贈嚴四草履 劉商
- 1117 赤履頒來雨露新、青鞋不復想雲門、人間拳足皆王土、跣步寧忘答聖恩、蒙賜履謝恩 僧一初
- 1116 魚佩茸鱗光照地、骨銜瑞帶勢冲天、莫嫌鬢上些々白、金紫由來称長年、喜劉蘇州賜金紫 白居易(2才)
- 1115 翠染水輕透露光、墮雲孫寿有余香、只応七夕回天浪、添作湘妃淚兩行、瑟瑟釵 温庭筠
- 1114 靖節高風不可攀、此巾猶墜凍醪間、偏宜雪夜山中戴、認取時情与醉顏、漉酒巾 陸龜蒙
- 1113 霧袖煙裾雲母冠、碧琉璃簾井水寒、焚香欲使三清鳥、靜扞桐陰上玉壇、避暑女冠 李益
- 1112 玉潤金明信好冠、錯刀剗出薛紋乾、不忘君惠常加首、要使歡盟未可寒、耿天驕以竹冠見贈 王荊公
- 1111 玉色嬋娟蝶夢円、水沈香煖压紅綿、白雲一片寒於水、只合松窓伴鶴眠、楮衾 周小溪(1ウ)
- 1110 吳宮金蹙鳳花緩、春暖熏籠換水沈、那地水橋楮夫子、滿床明月解微吟、答惠楮衾 方秋崖
- 1109 一合溪藤展樣裁、蒙頭豈足傍寒隈、玉樓凍合春初透、只有青燈伴定回、代覺無象繞楮衾吟謝玉樓大參 僧居簡
- 1108 對織芭蕉雪、蠶新長縫双袖窄裁身、到頭須向辺城着、消殺秋風射獵塵、花褐裘 王建
- 1107 八海風涼水影高、上卿教製赤霜袍、蛟糸玉線難裁割、須供玉妃金剪刀、赤霜袍 曹唐
- 1106 朝班尽説人宜紫、洞府忘無鶴着緋、從此玉皇須破倒、染霞裁賜地仙衣、試衫 司空圖(1才)
- 1105 紫陽宮裡賜光綃、仙霧朦朧隔海遙、霜兔龜寒水蠶靜、常娥咲指織星橋、試新服裁制初成 薛濤唐人
- 1104 翠芸箱裏暈惚々、楚葛湘紗淨似空、便着清江明月夜、輕涼与掛一身風、校書叔遺暑服 群玉

- 1130 雲自無依鶴自孤、此生誰信有窮途、干戈二十年來客、留得殘骸傍酒壚、  
1131 稍開襟、抱使心寬、大放酒腸須盡乾、珠簾十里城南路、肯作當年小社看、  
1132 醒時忙事醉時閒、隨分傾盃也破顏、若使王樓休釀酒、春風應不到人間、  
1133 小酌凭欄夕照中、江天搖落不禁風、遙看一樹凌霜葉、只似衰顏醉裡紅、  
1134 万里清江万里天、一村桑柘一村煙、漁翁醉着無人喚、過午醒來雪滿船、  
1135 幾年無事傍江湖、醉倒黃公旧酒壚、覺後不知新月上、滿身花影倩人扶、  
1136 老盆新熟土茅柴、携向田頭祭社來、巫媪莫嫌滋味薄、旗亭官酒更多灰、  
1137 九醞松醪一曲歌、本因閑放養天和、後人不識前賢意、破国亡家事甚多、  
1138 万事銷沈向一杯、竹門咄軋為風開、秋宵睡足芭蕉雨、又是江湖入夢來、  
1139 放翁病起不禁愁、買酒看山自獻酬、八月吳中未搖落、誰令衰髯早知秋、  
1140 三年逐客臥江臯、自与田工釀小槽、飲慣茅柴諳苦硬、不知如蜜有香醪、  
1141 亦非崖蜜亦非錫、青女吹霜凍作冰、透骨清寒輕着齒、嚼成人跡板橋霜、  
1142 沃々春泉出洞霞、石壘封寄野人家、草堂尽日留僧坐、自向前溪摘茗芽、  
1143 白髮前朝旧史官、風炉煮茗暮江寒、蒼龍不復從天下、拭泪看君小鳳团、  
1144 生拍芳叢鷹觜芽、老郎封寄謫仙家、今宵更有湘江月、照出霏々滿盃花、  
1145 万杵殷雷動幔亭、羶葷腸胃伯夷清、誰能携向梅花下、就把陶家雪水煮、  
1146 滿火芳香碾麴塵、吳甌湘水綠花新、媿君千里分滋味、寄与春風酒渴人、  
1147 水光欲徹瑠璃影、玉色初浮翡翠斑、便覺麴生風味惡、小炉新火对蒲团、  
1148 鷄蘇狗虱難同味、懷取君恩婦去來、青若湖邊尋顧陸、白蓮社裡覓宗雷、  
1149 雪裡過門多惡客、春陰只惱有情人、睡魔正仰茶料理、急遣溪童碾玉塵、  
1150 岳寺春深睡起時、虎跑泉畔思遲々、蜀茶倩箇雲僧碾、自拾枯松三四枝、  
1151 三猷蓬萊始一嘗、自調金鼎闋芳香、貯之玉合才半餅、寄与阿誰題數行、  
1152 嫩綠微黃碧洞新、采時聞道斷葷辛、不將錢買將詩乞、借問山翁有幾人、  
器用門  
1153 六曲連環接翠帷、高楼半夜酒醒時、掩燈遮霧密如此、雨落月明俱不知、  
1154 屏風周放画纖腰、歲久丹青色半消、斜倚玉窓鸞髮女、扞塵猶自妬嬌饒、  
1155 乘雲遊霧過江東、絵事当年小葉公、可恨垂空千丈勢、剪裁今入小屏風、
- 醉後 王元粹  
席上歡客酒 後山(4ウ)  
效唐杜牧之对酒絶句 文彦博  
小酌 朱行中  
醉着 韓渥  
春夕酒醒 龜蒙  
茅柴酒 石湖(5才)  
詠酒 汪遵  
又 同  
買酒 放翁  
茅柴酒 子蒼  
糟霜 誠齋(5ウ)  
謝山泉 龜蒙  
謝人惠茶 子蒼  
嘗茶 禹錫  
嘗建茶 畊吳  
答友寄新茗 群玉(6才)  
烹茶 居仁  
今歲官茶極而難為嘗音者戲詩用前韻 棘道翁  
催公靜碾茶 同  
煎茶 成文幹  
新茶詠 盧倫(6ウ)  
乞新茶 姚合(7才)(7ウ空白)
- 屏風 義山  
又 牧之  
行宮古龍屏風 許介之宋人



- 1182 拾得、炎州月一団、殷勤持贈比琅玕、情知已是秋風後、留作明年九夏寒
- 1181 魏三句裡數聲櫓、秦七詞中万点鴉、遶樹微茫沙步外、一弯流水幾人家
- 1180 岩脈交橫簇亂峯、顛崖懸絕隱仙翁、不須遠看連天色、尽在吾人掌握中
- 1179 願憶前身是謫仙、硯煩親捧玉堂前、如今再閱嬋娟面、不覺人間五百年
- 1178 宝扇持來入禁宮、本教花下動香風、姮娥須逐彩雲降、不可通宵在月中
- 1177 玉光澄潤錦爛斑、霜雪經多節愈堅、珍重故人相贈意、扶持衰病過殘年
- 1176 杖藜隨水轉東岡、興罷還來赴一床、堯桀是非猶入夢、因知余習未全忘
- 1175 揀得林中最健枝、結根石上長身遲、莫嫌滴瀝紅斑少、恰是湘妃淚尽時
- 1174 六節南藤色似朱、拄行階砌勝人扶、會須將入深山去、倚看雲泉作老夫
- 1173 一茎烟々琅玕色、數節重々瑋瑁文、拄到高山未登处、青雲路上願逢君
- 1172 不惜仙山碧玉枝、封題遠寄病支離、只疑化作蒼龍去、未忍輕投向葛陂
- 1171 衰病近來多少力、光公乞我百齡藤、閑來此日向何処、過水緣山只訪僧
- 1170 午枕花前簟欲流、日催紅影上簾鉤、窺人鳥喚悠揚夢、隔水山供宛轉愁
- 1169 表裡通明不假雕、冷於春雪白於瑤、朝來送在涼床上、只怕風吹日灸消
- 1168 通身有眼更無腸、好上羅庵獅子床、莫使綠衣顛倒想、班姬陳后兩淒涼
- 1167 小簟含風七尺床、竹奴從此合專房、吾身瓠落都無用、占得山間一味涼
- 1166 青奴初不下房櫳、肌骨玲瓏雪未中、八月華胥人自到、可憐塵壁臥西風
- 1165 名實於人不可誣、馬牛我亦受人呼、世間物化多難曉、誰為此君為此奴
- 1164 珍簟新鋪翡翠樓、泓澄玉水記方流、唯心雲扇情相似、同向銀床恨早秋
- 1163 翡翠佳名世共稀、玉堂高下巧相宜、殷勤為囑纖々手、捲上銀鉤莫放垂
- 1162 碎剪松江水上紋、虛堂垂處夜平分、夢寒不到池塘草、明月梨花一洞雲
- 1161 一床玉雪瑩無瑕、妒有生香鼎有茶、夜半起來說周易、好看明月透梅花
- 1160 白玉為竿丁字成、黃金繡帶短長輕、強遮天上花顏色、不隔雲中語笑声
- 1159 巫山枕障尽高丘、白帝城邊樹色秋、朝雲夜入無行処、巴水橫天更不流
- 1158 露葦霜荷落晚風、數行婦雁下秋風、何人收拾江湖景、都在明窓淨几中
- 1157 繩床竹簟曲屏風、野水遙山霧雨濛、長有灘頭釣魚叟、伴人閑臥寂寥中
- 1156 屏間梅月兩相宜、梅不飄零月不虧、夢覺不知窓欲曙、只疑月色在梅枝
- 梅月屏 許子文(8才)
- 画枕屏 蘇子由
- 硯屏 林子來
- 巫山障子 太白
- 坐障 陸暢
- 紙帳 陸暢
- 同 豐山(8ウ)
- 同 宋敬宋人
- 簾 羅隱
- 酬人寄簟 魚玄機
- 青奴 祝廉夫
- 同 橘洲(9才)
- 竹奴 謝幼槃
- 為竹奴解嘲 孫器之宋人
- 石膏枕 薛逢
- 午枕 荆公
- 光上人乞百齡藤杖 姚合(9ウ)
- 謝惠毛竹杖 同
- 謝惠斑竹杖 禹錫
- 南詔朱藤杖 裴夷直
- 斑竹杖 賈島
- 杖藜 荆公(10才)
- 謝張郎中寄筇竹拄杖 六一
- 扇 陸暢
- 画楊妃扇 李軌
- 画山水扇 邵清甫
- 題扇頭 趙周臣(10ウ)
- 以璫扇一握奉致黃明府 德機

- 1209 黑月翳雲脫太清、海風吹上筆頭輕、瑣窗冷透芙蓉碧、定有新銘到九成  
謝送墨 楊万里
- 1208 青暈時磨半硯雲、更將書貼扞秋塵、衰羸自顧空多感、不是臨池苦學人  
謝墨 林和靖
- 1207 內唯胎髮外秋毫、綠玉新裁管束牢、老病手疼無那爾、却資年少寫風騷  
胎髮筆 僧齊己
- 1206 越管宣毫始稱情、紅牋紙上撒花瓊、都緣用久鋒頭盡、不得羲之手裡擎  
筆離手 薛書記 (13 才)
- 1205 鼓舞先声自管城、細聽鏖戰了無声、看来亦異常蛇勢、掃退詞場万馬兵  
筆陣 李梅亭
- 1204 江南秋兔老毫疎、数字鍾王尚賈余、因說退之毛穎伝、可憐今日不中書  
筆 林和靖
- 1203 毫穎織凹管套奇、精神猶帶廢龍姿、換鶯愧殺無羲帖、留写弥明石鼎詩  
桂師惠筆 周南峯
- 1202 近來覺得羲之帖、免穎凋零写不工、閑却一庭紅柿葉、西風袖手看飛鴻  
為友人求筆 彭雅林
- 1201 中書君已不中書、椎鈍無心費指呼、别有管城堪任使、儘教罵作筆頭奴  
退筆 許梅屋 (12 才)
- 1200 贈我阿泓非姓陶、木家居士漆園曹、急呼陳玄導墨水、花暈千層吹海濤  
髹木硯 楊廷秀
- 1199 硯名金雀世難倫、用報慙無天下珍、国士有詩偏雅处、晴窓气暖墨花春  
再用晴窓气暖墨花春謝王勝之諫議惠金雀硯 邵康節
- 1198 吾硯平生極自珍、塗雲抹月甃清新、臨歸携就西湖洗、不受東華一点塵  
題硯 劉後村
- 1197 捧余擬辨買山錢、却買端州古硯磚、依旧被渠驅使在、買山之事定何年  
買硯 徐淵子
- 1196 吹尽西陵歌舞塵、當時屋瓦始稱珍、甄陶往々成今手、尚託声名動世人  
相州古瓦硯 王荆公 (12 才)
- 1195 曾侍虚皇玉案前、夜書繭紙筆如椽、莫嫌此石規模小、一寸玄靈万斛泉  
謝惠紫石硯 張安国
- 1194 天上昆吾玉作坯、何年風雨下銅台、朝々縱飲墨三斗、不用阿瞞鳩一盃  
鄴瓦硯 僧断江
- 1193 緹囊深複有滄洲、丈室春融翠欲流、退筆成丘竟何益、乘時真欲礪吳鉤  
洮石硯 希顔
- 1192 藤縷雪光纏柄滑、篋鋪銀薄露花輕、清風坐向羅衫起、明月看從玉手生  
扇子 張祐
- 1191 編松為箠寄山中、兼得紫微詩一通、入手涼生殊自慰、可煩長聽隱居風  
李翰林寄松扇及詩乃答之 林和靖 (11 才)
- 1190 媚娘巧作貫珠喉、画扇团々半掩羞、唱到春山小響处、一輪明月為花愁  
歌扇 趙文昌
- 1189 雲庄溪塘小雪春、融々和气温輕塵、山禽共作梅花夢、物性由来懶是真  
扇面 古道真
- 1188 雪界青天月半輪、不須更障庾公塵、蒲葵亦有施行处、繞鬢飛蚊觸撥人  
竹扇 李梅亭
- 1187 吾心無事本清涼、故遣余風及草堂、却憶多情遮面語、不知何事苦羞郎  
扇 林季謙
- 1186 魯公筆法屋漏雨、未減石軍錐書沙、可惜团々新見面、故教零乱墨雲遮  
書扇 黃庭堅 (11 才)
- 1185 澹雲斜日麗秋空、草際嚶々鬧小虫、只有老蟬無俗意、靜依高柳噪西風  
書張謙甫侍郎扇 子昂
- 1184 月中仙子種娑羅、樹底遙山隔絳河、吹落秋声向何处、紫簷窓戶晚涼多  
為袁一無書扇 顧觀利賓
- 1183 便面团圖字点鴉、天風吹落委塵沙、燕泥庭草争工拙、何似当年陌上花  
上皇書扇後 承懷英金人

- 1236 1235 1234 1233 1232 1231 1230 1229 1228 1227 1226 1225 1224 1223 1222 1221 1220 1219 1218 1217 1216 1215 1214 1213 1212 1211 1210
- 1236 鑄就揩磨不計工、豈量資質本頑銅、面前毫髮曾無隱、背後看來便不同、  
 1235 佳人失手鏡初分、何日團圓再會君、今朝万里秋風起、山北山南一片雲、  
 1234 銅牛肚裡雖無物、中有深々似澗淵、牧童不暇閑吹笛、苦為詩人滴硯泉、  
 1233 百幅輕明雪未融、薛家凡紙漫深紅、不応点染閑言語、留紀將軍蓋世功、  
 1232 君有伝家三尺檠、巨編長軸称経宮、時文今是蠅頭字、遺子終南捷徑行、  
 1231 蹙金妃子小花囊、銷耗胸前結旧香、誰為君王重解得、一生遺恨繫心腸、  
 1230 搗成一百八丸黄、入手能令熱惱涼、金粟如來身已化、藥珠仙子骨猶香、  
 1229 沈水良材食柏珍、博山炉暖玉樓春、憐君亦是無端物、貪作馨香忘却身、  
 1228 四両玄參三両松、麝香半分密和同、丸如彈子金炉熱、還似花心噴曉風、  
 1227 瘴海驪龍供素沫、蛮村花露把清滋、微參鼻觀猶疑似、全在炉煙未發時、  
 1226 覓个龟毛抵死難、直教擊碎鉤魚竿、世人不用生分別、信手拈來綵一般、  
 1225 旧塵凋零久不揮、看雲無語澹忠機、蒙君忽贈紅犀柄、照眼珊瑚白雪飛、  
 1224 白似瓊瑤滑似苔、随梳伴鏡扞塵埃、莫言此个尖頭物、幾度撩人惡髮來、  
 1223 製作元從建鄴宮、形模奇古雜金銅、煙昏塵暗君休咲、曾在紅鸞扇影中、  
 1222 枯槁形骸惟見耳、凋殘鬢髮只留鬚、平生大節堪為底、今日灰心始見渠、  
 1221 曾向溪边泊暮雲、至今猶憶浪花群、不知鑲羽凝香霧、堪与鴛鴦覺後聞、  
 1220 宝鏡磨來寒水清、青衣把就綠窗明、潘郎懊惱新秋髮、拔却一莖生兩莖、  
 1219 新茁吳霜剪不零、臨鸞羞洗对星々、天生兩眼人嫌白、只有青銅照得青、  
 1218 十樣蛮牋起薛濤、黄筌禽鳥趙昌桃、浣花旧事何人記、万劫春風燐火高、  
 1217 素牋明潤如温玉、新樣翻伝号冷金、遠寄南都豈無意、縁公揮翰似山陰、  
 1216 十樣蛮牋出益州、寄來新自浣溪頭、老兄得此渾無用、助爾添修五鳳樓、  
 1215 卜肆至今多寂寞、酒壚從古擅風流、浣花牋紙桃花色、好々題詩詠玉鈎、  
 1214 烘焙幾工成曉雪、輕明百幅疊春冰、何消才子題詩外、分与能書貝葉僧、  
 1213 南朝官紙女兒膚、玉版雲英比不如、乞与此翁元不称、他年留得大蘇書、  
 1212 入手輕乾是古槐、幾声清響徹池台、碾余魚網如脂滑、時写新詩肯寄來、  
 1211 翠楼高圧浙山頭、海氣湖光豁醉眸、万景入簾吹不捲、一般心做百般愁、  
 1210 万松大厄化鑼塵、依旧徂徠雪裡春、冷剂香螺夔一足、破慳分与画眉人、
- 宮中取張遇墨燒去膠以之画眉謂之画眉墨 戲答威卿覓墨 雲卿  
 試墨 朱叔真 (13ウ)  
 槐木紙、碾贈周太祝 林和靖  
 從寇生求茶庫紙 陳後山  
 謝惠紙 僧齊己  
 牋 無名氏  
 蜀牋 韓浦 (14才)  
 同 文彦博  
 薛濤牋 清容居士  
 攬鏡 僧居簡  
 覽鏡 徐凝  
 玩金鸞鵲 陸龜蒙 (14ウ)  
 竹香炉 張安国  
 南唐金銅香炉 洪舜愈  
 白角鏡 羅隱  
 張孔昭送扞子 僧道原  
 同希顔裕之賦樂真竹扞子 簡夫 (15才)  
 遼老寄龍涎香 劉子鞏  
 清真香 丁公言  
 香 羅隱  
 木犀花数珠 洪舜愈  
 太真香囊子 張祐 (15ウ)  
 以大学燈籠遺陳杜老 蕭德藻  
 同 崔道融  
 牛水滴 (ナシ)  
 破鏡 杜牧  
 鏡 杜樽隱 (16才)

- 1237 清癯骨相庾權流、詩不能工滿面羞、鏡裡新愁無一点、却因吟事上眉頭 和慶兄覽鏡 僧無文
- 1238 曉燈城市又新年、璧月樓台万管絃、独有広文窮相眼、一篝燈火照殘編 燈 林季謙
- 1239 玉樓夜費独焚々、祇得眼前歌舞明、照破三千年外事、書生元不用長檠 書燈 劉立雪
- 1240 老稚都眠我独醒、寒燈半点伴三更、双花忽作蜻蜓眼、孤焰如懸珠膽瓶 燈 楊誠齋
- 1241 小草虚心不染塵、伝燈会上屢焚身、光明一点元無尽、謾結空花作好春 燈薪 鄭德原 (16ウ)
- 1242 清陰靄々匝城闈、万井熙々桃杏春、紫陌伝呼旌旆出、重臣新佩玉麒麟 燈、婢 虛中
- 1243 蜀柳糸々罽。画楼、窓塵滿鏡不梳頭、幾時金雁伝帰信、剪断香魂一縷愁。 燈花 司空図
- 1244 五詳三覆始施刑、明滅蘭膏豈足憑、可惜当年殺嚴統、無人為益決囚燈 決囚燈后主聽死囚燃仏燈之囚家左右竊益膏油輒得不死 曾極
- 1245 漢川城上角三呼、護、蹕、防、辺、列、万、夫、褒、姒、冢、前、烽、火、起、不知、泉、下、破、顔、無 登興元城觀烽火 唐彦謙
- 1246 六龍西走入岷嶷、寂々華堂漏轉時、一寸丹心如見用、便為灰燼亦無辭 蠟燭 羅鄴 (17才)
- 1247 応從玉指到金徽、万態千情料可知、今夜燈前湘水怨、慙慙封在七条糸 贈美人琴絃 裴夷直
- 1248 滿院秋涼散映時、牙籤竹簡乱參差、群書三万六千軸、付与清風自在吹 涼書、 天錫
- 1249 鑿石鑄成一対魚、風流未数玉蟾蜍、他時換上腰金袋、記取燈窓压尽書 压書石魚 邵清甫
- 1250 頤焦鬢秃但心存、力尽塵埃不復論、莫咲今来同腐草、曾經終日掃朱門 秃箒 黄陵美人
- 1251 積雨蒼苔路不分、松華尽日落紛紛、塵埃滿袖帰来晚、誰与柴門掃白雲 酬書巢送棕帚 虞伯生 (17ウ)
- 1252 一節高兮一節低、幾回敲鏡月中帰、雖然三尺無鋒刃、百万雄師属指揮 鞭 伯顔丞相
- 1253 天命須知豈偶然、乱臣徒欲用兵權、聖謀廟略還応別、渾不消他七宝鞭 晋七宝鞭 孫元晏
- 1254 小閣争繡画燭低、錦茵团坐玉相欹、嬌羞未慣諸郎戲、袖映春葱出注遲 博 李膺仲
- 1255 何代奇工碾玉英、細髻織角尽雕成、煙乾霧悄君心苦、風雨長随一擲声 玉龍子 陸龜蒙
- 1256 人間無処着青蛇、池水清冷浸落花、幾度清風明月夜、悵然無語憶張華 宝劍 白玉蟾 (18才)
- 1257 并州昔用千金賈、流落人間歲月多、背有龍文空自宝、世無麟、血、倩誰磨 同 潘紫岩
- 1258 搖動金鈴日幾回、不教紅紫委蒼苔、誰知烏鵲驚飛去、别有銜花野鹿来 花上金鈴 蕭水崖
- 1259 江夏尚能悲墜履、少原唯解泣遺簪、一刀所失安足繁、不那文經人用心 謝寿安簿寄錦帳山下所失剪刀 邵康節
- 1260 霧帳桃笙画寢余、此君那可一朝無、秋来冷落同班扇、歲晚溫柔是錫奴 暖足瓶 曾文清
- 1261 半陂秋水轉双輪、風通新香遠襲人、製就月团江海去、万金欄載一家春 龍川茶磨 僧実存 (18ウ)
- 1262 九秋風露越寒開、奪得千峯翠色来、好向中宵盛沉澹、共替中散闢遺杯 秘色越器 陸龜蒙
- 1263 静觀三變了無疑、薪火相伝也是奇、黑処自紅々白白、死灰不復有燃時 熾炭 張叔閻

- 1287 閨闈千門万户開、三郎沈醉打毬回、九齡已老韓休死、無復明朝諫疏來、題明皇打毬図、晁景遷
- 1286 霓裳舞徹大涼時、贏得消閑一局碁、莫道宮中行樂秘、外頭早是有人知、明皇太真圍碁図、高疎寮
- 1285 宝欄十二午陰移、思入雲霄落子遲、当局早知提醒著、危機心不墮蛾眉、擊梧図、清容居士
- 1284 万樹黎園已失春、秋声颯々起胡塵、君王獨立梧桐下、不見当年鎖諫人、擊梧図、清容居士
- 1283 不使梨園弟子知、太平音在鳳凰枝、一朝野鹿銜花去、長恨秋風葉落時、明皇擊梧図、李俊民 (21才)
- 1282 三郎耳譜趁花奴、風調才清信有余、天宝錯非一拍、霓裳中節亦区々、明皇擊梧桐図、璧天粹
- 1281 衢尊深酌舞蹁躑、鼓腸行歌樂自然、共道帝堯新紹運、九州重見上元年、堯民図、清容
- 1280 輿地空存禹迹図、不応燕代已非吾、倚欄小立江南望、更覺風煙一半無、禹迹図、王実斎
- 錦囊風月卷之六  
図画門
- 1279 從堯甲子至今伝、六々三千六百年、知是幾番人事別、青々不改旧時天、觀拳要曆、錢春塘 (20ウ)
- 1278 荒涼客舍眠秋色、砧杵家々弄月明、不及巴山聽猿夜、三声中有不愁声、秋夜聞砧、杜荀鶴
- 1277 玉関消息到長安、処々砧声搗夜闌、想得月殘哀響断、一燈清泪剪刀寒、聞砧、(ナシ)
- 1276 秋天瑟瑟月漫々、月白天清玉露寒、始向松中繁素練、閑來機上製齊紈、同、趙福元 (20才)
- 1275 誰家夜月響秋砧、一段清愁不自禁、況是客中欹枕聽、声々擣碎故郷心、砧、趙崇森
- 1274 数幅蒲帆破曉煙、一篙春水漲平川、誰家池館多楊柳、時送飛花到客船、放船、僧道崧
- 1273 莫咲扁舟数尺長、幾經煙雨浸瀟湘、紅船个々高於屋、未必荷花入夢香、漁舟、宋器之
- 1272 雨過平蕪帶落暉、芦花飄泊点征衣、舟人忽報東風急、万斛龍驤噴雪飛、舟、趙信庵
- 1271 春暖秋涼兼景好、年豊身健更時和、如茵草上輕々碾、似錦花間慢慢挖、小車吟、邵康節 (19ウ)
- 1270 小輪輕線妙無双、曾伴幽人酒一缸、俗客見時如有問、輾煙衝雨過湘江、釣車、陸龜蒙
- 1269 一随菱棹謁王侯、深愧移文負釣舟、今日太湖風色好、却將詩句乞魚鉤、寄裴生乞釣鉤、温庭筠
- 1268 片々龍鱗脱老蒼、有時啣輶捲滄浪、真機動処可容力、自是傍人脚手忙、桔槔、何夢桂
- 1267 泊船村店就魚、半百青銅買束芦、莫訝水鄉薪似桂、壳芦人要了官租、買薪、王約齊
- 1266 乱蓬為鬢布為巾、曉踏寒山自負薪、一種錢塘江畔女、着紅騎馬是何人、代買薪女贈諸妓、白居易 (19才)
- 1265 百結鶉衣不覆身、蹋霜破曉買烏薪、那知繡閣融春処、多少眠香未起人、買炭翁、吳西疇
- 1264 筆口酸嘶解說窮、寒炉随手變春紅、因君大笑涪翁拙、費尽奇香得馬通、(失)馬失也、杜善甫乞炭、少宣

1288	坐看霓裳舞袖輕、安危機軸自分明、誰知一片笙歌裡、已有漁陽鼙鼓聲、	明皇按舞圖	沈悅堂 (21ウ)
1289	寢安食飽對青雲、按舞調笙不厭頻、西內歸來還獨看、梨園弟子白頭新、	同	同
1290	照夜駒乘西幸時、太真猶自意遲疑、無人喚醒黃翻綽、說与君王朽索危、	明皇上馬圖	李商卿
1291	風流誰復似三郎、並轡春風輦路香、謾說宮中行樂秘、畫面千古寄興亡、	題明皇聯鑣圖	張昆陵
1292	宮門日出乳鴉啼、宮漏沈沈樹影低、朝罷千官無一事、車聲又過壽陽西、	明皇小車圖	僧一初
1293	風急馬嵬飛白楊、荒墳誰与吊霓裳、八姨女伴今何在、慙愧多情十八娘、	明皇荔枝祭貴妃圖	仲凱 (22才)
1294	華萼樓前翠輦來、寧王吹笛百花開、夾城誰敢爭馳道、獨對霓裳進玉杯、	華萼樓宴集圖	伯生
1295	華萼樓高怯翠衾、平明聯騎走芳林、讓皇可是無忠益、一曲涼州恨最深、	韓幹五王出遊圖	清容居士
1296	馳道香塵撲錦衣、五龍相逐勢如飛、太平天子方無事、華萼樓中賜宴歸、	題唐五王醉婦圖	顧祿絳進
1297	明皇有博愛諸王、花萼相輝春昼長、講易不知何所得、可憐擊鼓起漁陽、	諸王講易圖	無名氏
1298	淮南恩少難為弟、有庫天回始念兄、得似開元全盛日、一樓華萼友于情、	五王避暑圖	程鉅夫 (22ウ)
1299	華萼樓前御柳長、春風馳道晚塵香、龍姿鳳質多相似、黃髮為期樂未央、	唐五王出遊圖	伯生
1300	石辺古木尚青枝、地老天荒石不知、故国小臣誰在者、蒼梧落照不成悲、	徽宗画木石	黃晋卿
1301	日、迎宮殿、五雲深、也、識人間、蒲葦林、腸断沙頭双鷓鴣、君王何處不関心、	徽宗御画	蔡堅老
1302	玉輦宸遊事已空、尚余奎藻繪東風、年々花鳥無窮恨、尽在蒼梧落照中、	同	康伯可
1303	鼎湖龍去幾時還、雲鎖霄台日月閑、花鳥不知千古恨、尚留春色在人間、	同	張林甫 (23才)
1304	写出煙波万頃秋、君王余興在滄洲、微臣白首江湖眼、却看鳧鷖淚欲流、	同	張明遠
1305	青城塵土昼濛々、百二山河一夕空、收斂初功掃化筆、野花啼鳥尚春風、	同	黃晋卿
1306	千仞巔崖勢欲傾、飛流濺眼雪光明、天風捲入秋雲去、都作江南夜雨声、	宋高宗觀瀑圖	一初
1307	六月長洲水殿涼、酒酣揮袖倚新粧、芙蓉露冷江雲薄、回首西風響屨廊、	吳王納涼圖	郭彥高
1308	西漢儲皇羽翼成、商山掃去紫芝榮、後來莽卓欺孤日、可惜斯人不再生、	四皓定惠帝	顧祿絳進 (23ウ)
1309	風飄厭聽樹間声、擲向中流弊屣輕、喧寂於人本無繫、先生何事未忘情、	許由棄瓢圖	一初
1310	身隱何為更註書、區々関尹強留車、周公制作成殘鉄、歎息何人問緒余、	題関尹問道圖	伯生
1311	青牛万里度西陲、寒草連天獨去時、一自関門逢尹喜、不知何處更逢誰、	老子度関圖	季潭
1312	飛淙散沫下長林、万壑千峯起石陰、坐到漆園天籟發、不知風露滿衣襟、	莊子觀瀑圖	一初
1313	道師形氣合於無、八極逍遙得自如、知我御風々御我、長枯猗々自乘虛、	列子御風圖	夏均父 (24才)
1314	人間瞬息幾千秋、高臥匡床且夢遊、万物一身同栩栩、不知是蝶、是莊周、	莊子圖	季潭

- |      |   |         |           |
|------|---|---------|-----------|
| 1341 | 淡煙深處是誰家、<br>着意來尋路又差、<br>五百年春一殘夢、<br>賺人圖上看桃花 | 同       | 同         |
| 1340 | 圖畫溪山足四隣、<br>晴雲難掩洞門春、<br>不因漁棹吹腥網、<br>老却桃花獨厭春 | 桃源圖     | 橘洲        |
| 1339 | 圖荒煙老晉封疆、<br>投社人婦歲月忘、<br>利祿難牽香火夢、<br>芙蓉影裡漏聲長 | 蓮社圖     | 僧樵隱       |
| 1338 | 四山如玉夜光浮、<br>一舸玻璃凝不流、<br>若使過門相見了、<br>千年風致一時休 | 同       | 來子儀 (26ウ) |
| 1337 | 山空霽雪夜沈々、<br>一舸多應是聽琴、<br>適意歸來非興盡、<br>歲寒交道本無心 | 同       | 耕叟        |
| 1336 | 溪光月色本清奇、<br>何事扁舟只麼歸、<br>要識去來皆興耳、<br>歸時更好似來時 | 訪戴圖     | 謝太冲       |
| 1335 | 阿堅休道不英雄、<br>兒輩俄成蓋代功、<br>展齒折時渠自省、<br>到今人解咲桓冲 | 謝安石     | 純甫        |
| 1334 | 東晋名公曲水滨、<br>一觴一詠樂天真、<br>揮毫写就蘭亭記、<br>輪与風流王右軍 | 曲水流觴圖   | 謹中        |
| 1333 | 晋代衣冠不可尋、<br>空余画史筆間心、<br>東山糸竹西州淚、<br>却是羊曇恨最深 | 謝安對奕圖   | 鉅夫 (26才)  |
| 1332 | 醉倚蒼江看落花、<br>阿舒扶上短轎車、<br>山河万里皆劉祐、<br>五柳春風自一家 | 淵明      | 彭元亮       |
| 1331 | 抛却微官百自由、<br>心無一事掛心頭、<br>銷憂更藉琴書力、<br>借問先生底有憂 | 淵明歸去來圖  | 王居虚       |
| 1330 | 烏巾漉酒灑流霞、<br>長向東籬醉菊花、<br>不知宋公移晋祚、<br>只將甲子記年華 | 淵明漉酒圖   | 顧謹中       |
| 1329 | 手撫高松石更奇、<br>披襟脫屣醉眠時、<br>壺中酒尽琴無軫、<br>說着羲皇摠不知 | 淵明高臥圖   | 程鉅夫       |
| 1328 | 末年甲子書吟卷、<br>籬菊相看一樣清、<br>老尽秋香花不落、<br>古今天地一淵明 | 淵明采菊圖   | 了彦登 (25ウ) |
| 1327 | 橫亡海上只徒傷、<br>夷隘空聞餓首陽、<br>婦去柴桑吾故里、<br>高風猶是晋文章 | 淵明歸去圖   | 咲隱        |
| 1326 | 郎恩葉薄妾水清、<br>郎說黄金妾不応、<br>若使偶然通一咲、<br>半生誰信守孤燈 | 秋胡戲妻圖   | 錢菊友       |
| 1325 | 蘇旄尽矣白須存、<br>此日生還侍主恩、<br>右校謾循樵結泣、<br>平陵有子広無孫 | 題蘇李泣別圖  | 呉草廬       |
| 1324 | 昔日呼為兩侍中、<br>今朝胡漢各西東、<br>潸然尽是思君淚、<br>不為離情酒曉風 | 同       | 同         |
| 1323 | 豪傑誰甘作虜臣、<br>一時屈膝要求伸、<br>茂陵不戮臨年母、<br>未必將軍肯負人 | 題李陵泣別圖  | 宋景濂 (25才) |
| 1322 | 撮髮男兒重主恩、<br>兵疲矢竭死無門、<br>秋高若遇南來雁、<br>休說劉家李広孫 | 李陵      | 王希声       |
| 1321 | 弋繪安足致冥鴻、<br>自是兼懷翊贊功、<br>謾說壺関有遺老、<br>望思台下已秋風 | 四皓圖     | 獻能        |
| 1320 | 漠々商顔不可招、<br>從渠漢楚戰方鏖、<br>棋枰易子難成局、<br>却有安劉一着高 | 商山四皓圍碁圖 | 劉仁本       |
| 1319 | 足加帝腹有何慙、<br>蓋世功名是不堪、<br>雲水雲山意無限、<br>一簑煙雨老江南 | 巖光釣魚圖   | 僧斯道       |
| 1318 | 白日青天作肺肝、<br>堂々王業肯偏安、<br>黃星不向前、<br>未必中原屬阿瞞   | 武侯像     | 宋景濂 (24ウ) |
| 1317 | 爽馬宮中紫氣高、<br>属猪人已着黃袍、<br>從今天下都無事、<br>可是山中睡得牢 | 希夷睡圖    | 潘紫岩       |
| 1316 | 先生高臥華山雲、<br>五代興亡夢裡聞、<br>驢背偶然成一咲、<br>始知天下有真人 | 陳希夷     | 顧謹中       |
| 1315 | 功名自古是危機、<br>誰似先生早扞衣、<br>好向五湖尋一舸、<br>霜黃木落雁初飛 | 范蠡五湖圖   | 松雪翁       |

- 1368 杜陵野客正尋詩、花柳前頭思欲迷、一樣春風驢背穩、曲江何似浣花溪  
少陵春游圖  
鉅父(29ウ)
- 1367 天下為家百不憂、玉顏錦帳度春秋、如何一段琵琶月、青草離々詠未休  
昭君出塞圖  
同
- 1366 西望瑤池斗柄旋、金明水淨月娟々、請看阿母神仙籍、名在龜山第幾篇  
同  
同
- 1365 黃竹遺墟白雪高、空桑戴勝向晨暉、茂陵多欲非仙器、枉賜金盤五色桃  
王母圖  
伯生
- 1364 紅、手、素、糸、千、字、錦、故人新曲九回腸、風吹絮柳愁繁骨、淚洒縑書恨見郎  
織錦圖  
無名氏
- 1363 髻鬢蕭蕭颯、芙蓉羅秋、千古香溪水自流、吳越兵爭竟何處、風流輪与五湖舟  
西子放飄圖  
天民(29才)
- 1362 失節偷生恥亦深、阿瞞底事贖黃金、莫將十八胡笳曲、吹入中原烈女心  
蔡琰別胡圖  
王璋
- 1361 月杵輕揮快似飛、霜紈熨帖淨輝々、詩人不識畫師意、微詠周南澣濯衣  
張宣唐宮練圖  
程鉅夫
- 1360 砧上秋聲塞上衣、月斜窓戶有螢飛、雁書半滅猶堪誦、待到交河飲馬歸  
搗衣圖  
吳中見
- 1359 三国雌雄未可知、二喬夫婿摠堪嗤、此際何心猶好色、不聞漢祖入關時  
題二喬圖  
僧道原
- 1358 玉容憔悴暮偏饒、羅扇題詩恨莫消、不是恩情中道絕、西風昨夜到芭蕉  
題班婕妤歎扇面  
僧斯道(28ウ)
- 1357 白髮梁鴻与世乖、賴逢光也配其才、五噫歌罷愁無耐、不覺春從案上來  
孟光举案圖  
王執謙
- 1356 黃沙堆雪暗龍庭、馬上琵琶掩淚聽、漢室御戎無上策、錯教紅粉怨丹青  
昭君出塞圖  
王思廉
- 1355 画史那知出塞心、塵沙漠々玉顏侵、当年曾被丹青誤、却倚丹青得到今  
題昭君像  
曾景建
- 1354 瑤草春深昼日閑、靈芝清露自怡顏、双成吹徹參差玉、八駿人間去不還  
王母圖  
虞集
- 1353 一声白雁度江潮、便覺金陵王氣銷、画史不知亡國恨、猶將鉛粉記前朝  
壽陽梅粧圖錢選画  
王思廉(28才)
- 1352 花底燒香深閉門、宮鴉栖了已黃昏、君王未識無人妬、雖不承恩却感恩  
內人燒香圖  
周葵窓
- 1351 簷頭燕子說春寒、胡蝶悠悠午夢殘、睡起高樓多少恨、天涯小雨怯欄干  
美人倚樓圖  
游嘿齋
- 1350 臨鏡春山不喜添、覺來春恨到眉尖、春婦多少關心事、怕見楊花不捲簾  
倦粧圖  
韓忠景
- 1349 銀箭金壺漏水遲、芭蕉石上月移時、分明聽得羊車過、不使青塩洒竹枝  
同  
李還
- 1348 寢々宮門昼不扃、芭蕉樹下倚疎櫺、手持內賜昭華管、吹向椒房阿監聽  
同  
堅俊(27ウ)
- 1347 浴罷華清春昼長、芭蕉分綠濕衣裳、數声吹徹參差玉、侍婢相隨入上陽  
宮人芭蕉樹下携笛圖  
永嘉戴公
- 1346 温泉賜浴意融怡、猶念寧王玉笛吹、却怕能言泄幽事、丁寧慎勿語人知  
太真教鸚鵡  
馮渭
- 1345 沈機黙々对枰碁、妙着藏情有所思、誰信華清当局者、峨眉風急馬行遲  
美人对碁圖  
伝東郊
- 1344 鳳、韉、欲、上、玉、花、驄、恩、在、君、王、一、咲、中、三、十、六、宮、瑤、草、碧、不、知、多、少、恨、春、風  
貴妃夜遊圖  
方秋崖
- 1343 華清春醉午粧遲、蜀道星奔暮尚馳、一樣欠伸肢体倦、画工畢竟画何時  
楊妃欠伸圖  
君惟曉(27才)
- 1342 古洞桃花碧水灣、仙家鷄犬白雲間、紅塵下界深如海、只合漁郎去不還  
同  
一初



- 1395 抛却朝簪下九天、西湖風月一漁船、芦花夢覺魚龍遠、又是人間五百年  
題酸齋小像  
仲銘
- 1394 蹇驢破帽少陵寒、吐出歌辭字々酸、涓水驪山腸斷日、諸公肯待醒時看  
題欽仙圖  
淮海
- 1393 翁媪相携入翠微、軫頭猶有可憐兒、丹砂不是神仙藥、勾漏婦來鬢已糸  
題葛仙翁移居圖  
清容居士(32才)
- 1392 大唐進士列仙儔、放浪人間五百秋、一紙丹經伝未徹、蓬萊又報海西流  
題鍾離洞賓画像  
同
- 1391 祥光夜動九重天、明日長安識醉仙、南極何當重觀像、吾皇今是太平年  
題曹簡伯寿星像  
一初
- 1390 一言已出駟難追、頼得君王放過伊、揚子江頭船一葦、問頭何似浪難危  
達磨渡瀘像  
葛天民
- 1389 虎嘯千山木葉空、晴空無処著神通、蒼龍浴罷軍持水、問玩明珠似日紅  
画羅漢  
邵庵
- 1388 天津橋上聽啼鵲、從此南人弄相權、多少衣冠落沙漠、朱崖宜著玉堂仙  
東坡  
純甫(31ウ)
- 1387 五老峯前日欲晡、独騎牛背意躊躇、腐儒為相誠多少、信是夔臯不説書  
題陳賢良騎牛圖  
道原
- 1386 世事如碁局尽迷、幾人騎馬聽朝鷄、錦鞵絕勝烏健背、未必成功及一犁  
題趙東野跨牛圖  
蕭則山
- 1385 黃葉蒼苔滿石床、画成童鶴亦淒涼、当年若從東封駕、未必梅花爾許香  
和靖索句圖  
葉介老
- 1384 鶴瘦童寒雪打門、々前梅意乱於雲、當時若是無詩句、只画梅花不画君  
和靖凍吟圖  
毛荷塘
- 1383 長鬚瘦。蹇策深雲、來就蒲团到夕曛、疇曩山中無此画、至今猿鶴怨移文  
書荆公訪僧圖  
北礪(31才)
- 1382 驢載新詩僕抱書、松声禽語當伝呼、不知邂逅耕田者、問及青苗免役無  
荆公遊半山圖  
許梅屋
- 1381 蹇驢蹀躞長吟鞭、老子精神在捩鞍、此是熙寧名宰相、莫將風雪灞橋看  
蔣山騎驢圖  
僧義鋤
- 1380 講筵分賜密雲龍、春夢分明覺亦空、地惡九鑿黎洞火、天遊兩腋玉川風  
東坡海南烹茶圖  
天粹
- 1379 長沙日落酒初曛、掃破青蕉十幅雲、論到大娘渾脱舞、風流未數晋將軍  
題懷素書芭蕉圖  
一初
- 1378 吟鞭遙指鹿門歸、水色山光件々詩、縮項鱸魚元自好、當時應悔識王維  
孟浩然図像  
陳東齋(30ウ)
- 1377 脱鞞殿上醉陽狂、触撥春風睡海棠、放逐一身窮不恨、三郎入蜀更郎當  
太白  
藏叟
- 1376 春風醉袖玉仙頰、落魄長安酒肆廻、忙殺中官尋不得、沈香亭下牡丹開  
李白醉眠圖  
呂康卿
- 1375 醉向長安酒市眠、宮袍幾度流流涎、騎鯨一去今千載、贏得人呼作酒仙  
李白醉眠圖  
謹中
- 1374 月出峨眉照錦袍、船頭江色瀉蒲萄、載酒非閑尋賀老、騎魚似欲訪琴高  
題李白泛月圖  
道原
- 1373 采石江心醉不休、倒披宮錦坐船頭、有人曾見騎鯨去、月裡姮娥豈解留  
太白捫月圖  
顧謹中(30才)
- 1372 少陵絃斷無膠繞、鸞鳳巢高隔五雲、老子一身都是膽、要傾東海取龍筋  
少陵  
藏叟
- 1371 翠輦蒙塵赤子寒、澆愁每恨酒杯乾、憂心如醉非真醉、莫做嵇劉一樣看  
醉杜甫圖  
曾朝伯
- 1370 春色醺人苦不禁、蹇驢馱醉晚駸々、江花江草詩千首、老尽平生用世心  
題杜陵浣花  
松雪翁
- 1369 此翁天地孤吟客、惜不同生孔子時、後世春秋無史法、家々千古草堂詩  
杜工部像  
王君謨

- 1396 偶看碁局靜忘機、回首青山未夕暉、為愛仙人有高着、松根柯爛不知歸  
題劉商觀奕圖 僧行中
- 1397 翠水池邊燕早秋、雲謠聲裡月西流、醉婦不信乘鸞穩、一葉蓮花泛作舟  
西真圖 許尤甫
- 1398 江雨霏々江草齊、六朝如夢鳥空啼、無情最是台城柳、依旧煙籠十里堤  
金陵圖 韋莊 (32ウ)
- 1399 好奇仍有却相携、絕頂披雲快一躋、三十六峯青似染、五年拄笏羨橫溪  
崆峒山圖為橫溪翁賦 祖謙
- 1400 独占名山每羨渠、京塵今日汚吟鬚、西州十載經行處、惆悵雲煙是畫圖  
同 同
- 1401 江水江花遶大堤、太平歌舞習家池、而今風景那堪畫、落日空城烏雀悲  
峴山秋晚 楊果
- 1402 木葉凋傷風露寒、老樵無語立江干、世上何人解山水、紛紛揔向畫圖看  
題秋山圖 道原
- 1403 秋清仙掌淨無塵、露洗蓮花玉色新、函谷鷄鳴天下白、雲中猶有醉眠人  
題華山圖 一初 (33才)
- 1404 孤山々々下老逋仙、別去人間五百年、留得屋頭旧梅樹、暗香疎影為誰妍  
題孤山圖 泊川
- 1405 似有江南布谷聲、乱流觸石野橋平、何由招得魚竿客、共上西峯看晚晴  
題煙雨圖 德機
- 1406 万頃煙波一釣翁、玄真心事偶相同、平生我亦輕軒冕、分取苕溪半席風  
煙波圖 (ナシ)
- 1407 高閣秋風樹半枯、連山更帶雨模糊、幽人把釣空江上、縱有扁舟不受呼  
江閣雨望圖 德機
- 1408 滿目烽煙万国秋、江山何處可追遊、吳淞水落鱸魚美、風雨歸來一釣舟  
秋江歸舟圖 行中 (33ウ)
- 1409 渡口舟橫水拍空、墨雲傾雨樹号風、江山不到紅塵眼、半幅煙綃想像中  
江村風雨圖 元德明
- 1410 燕南鴻北兩悠悠、不見征帆見水流、一片離情消不得、和煙掛在柳梢頭  
春江送別圖 僧牧隱
- 1411 何人移我泛瀟湘、万里雲山万里江、看尽湖南清絕地、忽驚身在讀書窓  
泛瀟湘圖 曾茶山
- 1412 山接溪雲樹接煙、蘋花洲渚著鷗眠、釣簑歸去菱歌歇、斜景空依載酒船  
題谿山秋賞圖 斯道
- 1413 杜陵西上浣花莊、茅屋低々在石傍、最是可人三月節、一山春雨茯苓香  
題山居圖 鄭沂叔魯 (34才)
- 1414 結樓會向万峰間、放鶴歸來錫已閑、夕景無多樵唱斷、疎鐘寒溜繞空山  
題聽上人山居圖 斯道
- 1415 江村清境皆画本、画裡更伝詩話工、漁父自醒還自醉、不知身在画圖中  
漁村詩話圖 承懷英
- 1416 湖上欄干百尺台、々々迎水殿倚雲開、經橋人隔荷花語、玉盃金盃進雪來  
水殿納涼圖 詹同父
- 1417 帝子吹簫上翠微、秋風一曲鳳凰歸、明年七月重相見、依旧高懸織女機  
七夕圖 趙璜
- 1418 百頃芙蓉水滿堤、綺窓只在画橋西、羊車薄暮過湖曲、驚起鴛鴦不並栖  
題納涼圖 邵庵 (34ウ)
- 1419 金削芙蓉倚碧天、香炉秋色倒晴川、松風吹醒陶公夢、何寺鐘声隔暮煙  
題李弘道圖 一初
- 1420 窓前画勝玄関、怪石長松九夏寒、寄語山靈休厭客、清風明月好相看  
題李德瞻壁間相看不厭圖 叔魯
- 1421 蒼松矯々竹陰々、長共疎梅到雪深、不是林泉清素士、如何識得歲寒心  
三友圖 斯道
- 1422 群玉山頭五玉人、江南流浪不勝春、朔風一夜天如掃、猶有王孫為写真  
題趙子固五香圖 道原

- 1449 碧海無塵玉作壺、琅玕清淺露流珠、相思勿憶侯都史、為爾疏封墨大夫。  
題李士弘墨竹 清容
- 1448 梅花道者列仙流、落筆前無李薊丘、呼酒南湖夜燒燭、一枝涼露写新秋。  
題吳中主墨竹 一初
- 1447 渭川千畝未為奇、独羨坡仙掃一枝、後夜風雷頭角露、看他行雨過天池。  
題東坡化龍竹 斯道
- 1446 儂翁老去氣嶢嶢、尚疑長竿掣海鯨、好倩官奴重秉燭、何山風雨写秋声。  
題東坡墨竹 一初
- 1445 老節巖々若自持、條然分影覆堦墀、此君不受纖塵汚、更看清朝雨過時。  
題息齋竹 仲弘 (38才)
- 1444 白石山中白石仙、丹丘玄圃住年々、為隣澗竹生遙興、憶着襄陽孟浩然。  
題杜尊師所藏息齋竹 泊川
- 1443 李白騎鯨天上去、寥々海内久無聞、手中遺下蒼龍尾、留与山人掃白雲。  
題李息齋墨竹 同
- 1442 襪林未許送坡翁、健筆縱橫老更工、海上何人取鉄網、珊瑚掣起翠濤中。  
題文与可所画墨竹 同
- 1441 玉署深沈昼漏遲、詞頭草罷已多時、黄金硯上留遺墨、閑染春毫写竹枝。  
題蘇子瞻學士墨竹 顧祿絳進
- 1440 五老雲巢俯澗阿、香炉晴照映江波、十年蓬轉吳山下、回首長松挹翠蘿。  
双松図 行中 (37才) (37ウ空白)
- 1439 芝草山中水石隈、晴虹夜半起林台、丹崖千尺双松樹、春雨春風生紫苔。  
題覺隱双松 仲銘
- 1438 蒼々雪幹倚晴天、謾々風声奏晚絃、雨過石壇山月上、琤然一子落僧前。  
画松 一初 (36ウ)
- 1437 蒼松百尺倚秋雲、谷口風声十里聞、欲掛絺衣坐盤石、靜看蘿月夜紛紛。  
孤松図 同 僧景雲
- 1436 画松一似真松樹、且待尋思記得無、曾在天台上見、石橋南畔第三株。  
画松 同
- 1435 涇陽日々水生波、翠袖黃裳晚棹過、珠樹月明花婀娜、風毛春暖錦婆娑。  
題鵑原功少監家柯敬仲画 微咲先生
- 1434 田父龍鍾雪色髯、送兒來学尚腰鎌、先生莫厭村醪薄、醴酒雖醲有楚鉗。  
題村学図 陳東齋
- 1433 万壑千崖杳靄間、道人住処石為関、浮雲飛鳥元無定、朝過吳山暮越山。  
題画 逃虚子 (36才)
- 1432 巫山空翠湿人衣、玉笛凌虚韻轉微、宋玉多情今已老、閑雲閑雨是耶非。  
題着色山図 伯生
- 1431 仙閣崖根桂樹叢、釣糸溪口荻花風、支公吟对千峯晚、放鶴歸來月滿空。  
山水図 同
- 1430 天辺落日遠山青、古木蕭々一草亭、寄語閉門高臥客、莫教人識小微星。  
小隱図 季潭
- 1429 一曲溪辺一曲仙、權歌遺響有誰伝、西風吹入無声画、未上江東子静船。  
武夷九曲図 王蘭思
- 1428 細柳新蒲春已滿、飄風急雨浪如顛、漁人若解忘魚意、繫却扁舟臥碧煙。  
風雨漁舟図 胡石塘 (35ウ)
- 1427 出処皆天豈自由、仙標終合冠鰲頭、不妨貌取黃華景、時向鈴齋作臥遊。  
題子端雲溪小隱図 張行簡
- 1426 万頃波間踏浪兒、瀟湘秋晚趁歸時、四山紅葉風声健、散入儂家欸乃詞。  
江天秋晚図 王質夫
- 1425 部領群峯庄小巫、陽台猶自雪糝糊、若教指点猿啼処、判得剛腸百断無。  
題永嘉楊孟均巫山図 有小巫山 北礪
- 1424 氷風刮面雪埋屋、客子晨征有底忙、我欲題詩還自咲、東華待漏滿靴霜。  
雪谷早行図 蔡正甫
- 1423 千載神蛟化作翁、月明吹笛向珠宮、曲声不許人間聽、捲入重湖半夜風。  
江叟吹笛図 謹中 (35才)



- 1503 天書寫罷紫泥封、賜筆猶存舊篋中、自咲只今無用處、閑將繭紙畫芙蓉  
題自畫芙蓉 經進
- 1502 白髮多情憶劍南、秋風溪上看春酣、剪來一尺吳江水、擬比千花濯錦潭  
錢舜拳折枝芙蓉 伯生
- 1501 書翁夙号老詞客、乱後却工花寫生、寓意豈求顏色似、錢塘風物記昇平  
錢選画花 陳儼
- 1500 淡黄衫子道家裝、露白風清殿衆芳、只有向陽心尚在、紛紛紅紫任低昂  
舜拳黃蜀葵 鉅夫(43ウ)
- 1499 繭栗枝頭弄好春、開時蜂蝶競相親、年々秀色濃如紫、來与花王作近臣  
同 同
- 1498 曾看繭栗綴梢頭、千疊紅雲散不收、留得一枚長在眼、尚憐風景似揚州  
画芍藥 同
- 1497 万卉何能繼後塵、蜂喧蝶駐亦鍾情、莫嫌開處春還暮、曾向西都見太平  
画牡丹 同
- 1496 滿樹紫煙臨曉窓、為花度曲不成腔、東風渺々行人老、夢裡猶思濯錦江  
画海棠 錢舜拳
- 1495 漢宮愁絕冷禪枝、一蘸劉郎兩鬢糸、甲帳夜寒銀燭短、六銖雲帳獨來時  
墨海棠 李冶(43才)
- 1494 汀草離々石老蒼、行吟何處葉清狂、江仲遺佩相思久、莫待明年春蕨長  
子昂蘭石 伯生
- 1493 瑤階夢結翠宜男、誤墮仙人紫玉簪、鶴帳有春留不得、碧雲扶影下湘南  
墨蘭 唐温如
- 1492 国香旖旎賞林扉、依約華風變雅遲、写出一莖三四萼、紫毫零灑冷涵滋  
(ナシ) (ナシ)
- 1491 湘累旧晚半榛蕪、又見春風入画図、欲展幽芳貽遠客、九疑雲冷隔蒼梧  
題湯德師画蘭蕙 一初
- 1490 瑣窓春昼写蘭亭、獨愛王孫骨氣清、何事花前双蛺蝶、飛來羅袖最多情  
墨蘭 同
- 1489 深谷透迤綺石多、幽香依約錦婆姿、春風江浦遺公子、偏称瓊瑤白玉珂  
同 同
- 1488 官滿南歸理釣簑、蕤羹鱸膾意如何、春蘭秋蕙尋常見、明月旁人魂夢多  
瞿惠夫蘭 仲銘
- 1487 我愛美人金錯刀、秋風初佩倚湘臯、石田茅屋龍山下、何処林間踏鳳毛  
同 同
- 1486 春澹空山不自聊、幽花老尽国香銷、只今愁絕沉湘路、誰共伝芭賦楚招  
雪窓蘭 蛻庵
- 1485 陶家旧本徧林丘、野草無端亦姓劉、典午山河無寸土、籬邊分得一枝秋  
墨菊 一初(42才)
- 1484 水府仙人不畏寒、月明來倚玉欄干、応知我有相如渴、清露淋漓奉一盤  
題白荷花一枝 顧禄経進
- 1483 西子湖陰錦綉雲、水風池閣度晴薰、影窺明玉生綉薄、分外精神一両分  
墨藕花 同
- 1482 老坡曾比江瑤柱、或謂江瑤柱不如、擬写釵頭雛紅小、断魂蛮雨瘴煙疎  
墨荔枝 北礪
- 1481 山翁鉢底草龍珠、曾博涼州刺史符、今日無人償此価、一枝寒影月輪孤  
題葡萄 一初
- 1480 醉中捉筆両眼花、倚欄架子欲復斜、翠藤盤屈那可辨、但見滿紙生龍蛇  
題温日觀葡萄 仲弘(41ウ)
- 1479 會度流沙取梵書、瘦藤枯葉滿徑途、輕包短杖難將帶、記得西風月上初  
題蒲桃 日觀
- 1478 上人落筆墨雲流、中有驪珠顆々秋、消得禪余一彈指、便堪數斗博涼州  
日觀蒲桃 揭曼碩
- 1477 一自携家湖水東、放舟時度玉花叢、因君貌得横斜影、閑却孤山月一篷  
墨梅 黄晋卿

- 1504 春入毫端散綵霞、無刃生意繞穠華、院鈴不動文書靜、貌得芙蓉並蒂花  
趙子昂並蒂芙蓉圖 同
- 1505 花似金杯薦玉盤、惘然光照一庭寒、世間復有雲梯手、獻與嫦娥月裡看  
水仙圖 仲弘 (44 才)
- 1506 翠袖輕盈向水濱、水姿瀟灑淨無塵、楚人多作湘妃怨、不學陳王賦洛神  
題水仙竹圖 逃虛子
- 1507 條々翠羽映鳴璫、誰遣乘風過我旁、歲晏高堂空四壁、一簾煙雨夢瀟湘  
水仙圖 黃晉卿
- 1508 日暮佳人十二鬟、臨風解佩意間々、當時曾立通明殿、咲押蛾眉第一班  
同 同
- 1509 故山菘圃久荒涼、坐對新園味轉長、青甲半叢和露煮、人間何物太官羊  
題畫菜 一初
- 1510 朝遊金谷暮東市、心憶平泉身海涯、化鶴歸來人不識、春風開盡碧桃花  
桃花竹石鶴 藏叟 (44 才)
- 1511 剪翻花前老可哀、寄聲鷹隼莫相猜、旧游赤壁君知否、曾伴坡翁作賦來  
榴花竹石鶴 同
- 1512 寢處粧鉛未捲釵、孤雲花帶月邈來、六官簾幕金鸞冷、露濕晨煙啄翠苔  
馴鶴圖 王南雲
- 張伯玉家畫幀宮人徐行以手整釵一鶴後隨謂之馴鶴圖伯玉請賦詩欽叔常苦作詩多不用韻限以釵來苔三字
- 1513 海風吹月憶危巢、清夜梳翎雪墮坳、仙客不知猶是画、每聽長唳向松梢  
画鶴 伯生
- 1514 露白蒹葭水国秋、紛々綵為稻梁謀、江清野闊虞羅遠、飲啄飛鳴儘自由  
画雁 一初 (45 才)
- 1515 寒夜沙汀睡已成、雁奴翹首独深驚、朝陵閑說燕王事、恨殺人間兄弟情  
大年宿雁圖 清容
- 1516 既集還飛水正深、風驚葦葦乱拏音、江湖尚爾防矰弋、肯為伝書到上林  
百雁圖 咲隱
- 1517 暫息翱翔万里身、黃芦風定水無紋、夜寒縮頸沙頭夢、又入江湖何處雲  
画雁 僧北山
- 1518 慘淡經營下筆難、画成不似卷中看、知君連夜江湖夢、折葦蕭々沙水寒  
觀西岩張永淳画雁 元德明
- 1519 可憐一拙誤平生、天闊林高失去程、自卷舌來栖立穩、不知浮世幾陰晴  
画鳩 吳菊潭 (45 才)
- 1520 木落空山秋氣高、金眸炯々見秋毫、但甘爪下新鮮肉、寧惜林間錦羽毛  
画鷹 一初
- 1521 海上紅雲日々新、碧鸞無夢識芳塵、金籠不鎖閑鸚鵡、占得東風一段春  
題徐熙桃花鸚鵡圖 楊文萃
- 1522 見說炎州進翠衣、網羅一日徧東西、羽毛亦足為身累、那得秋林静处栖  
翡翠圖 一初
- 1523 淡月溶々隔画樓、一枝香雪近簾鉤、山禽似怨春歸早、独立花間自白頭  
李花白頭公圖 無名氏
- 1524 花石綱頭看早春、万年枝上露華新、只因月夜南飛鵲、不管明朝北虜塵  
題徽廟松枝喜鵲 一初 (46 才)
- 1525 落日黃塵五国城、中原廻首幾含情、已無辺雁伝家信、独有松枝喜鵲鳴  
題徽宗山鵲圖 季潭
- 1526 一双掠水燕來初、万点飛花社雨余、辛苦成巢君勿咲、從來吾亦愛吾廬  
題画燕 放翁
- 1527 桑葉離離雨後肥、輕々双燕縱翻飛、自慚微物絳宸翰、可是君王日万機  
宋徽廟雨余桑燕 逃虛子
- 1528 綠桑紫燕兩相宜、良岳宮中下筆時、誰信紆于山上雀、却來栖遍向南枝  
徽宗桑燕圖 季潭
- 1529 春風江水漾晴暉、楊柳如煙燕子飛、乍可蹴花飄舞席、莫教銜絮点征衣  
題扇面柳燕 道原 (46 才)

- 1530 孤山々々下雪花々々、雪裡寒梅已早芳、双鷺飛來花底立、却憐同色不同香  
題雪梅双鷺図 逃虚子
- 1531 層水積雪寒江靜、飢立聯拳待水生、会见春波魚潑刺、飽隨鴛侶到承明  
題雪鷺扇面 道原
- 1532 双眠双浴水平溪、共看秋光臥兩堤、誰信瀟湘有孤雁、冷沙寒葦不成栖  
馬賁画瀾鸕 季潭
- 1533 昆明池水淨如空、零露芙蓉樹々紅、双鳥不飛天欲暝、玉人無語向秋風  
芙蓉瀾鸕図 逃虚子
- 1534 江南春事已蕭条、只有葵榴絢日嬌、水国不知炎暑近、双将文羽戲清潮  
葵榴双鳧 伯生 (47才)
- 1535 昔年家住太湖西、常過吳興菴画溪、水闊筠簾春似海、梨花影裡睡鳧鷺  
梨花睡鴨図 顧和賓
- 1536 天上碧桃春苒々、人間翠竹晚娟々、双飛不是青衣使、何處東風一信伝  
双禽図 伯生
- 1537 王母宴歸西海上、空留青鳥羽参差、黄雲苦竹江南雪、独立寒条歲晚時  
題枯枝寒禽 同父
- 1538 誰人剪下碧梧枝、誤落西風粉墨池、立断小禽飛不去、朝陽何事鳳鳴遲  
錢生幽禽図 德機
- 1539 天上房星照九埃、翩翩西域画龍媒、崑崙一去無消息、空見人間八駿來  
八駿図 同 (47ウ)
- 1540 千載蟠桃花正新、瑤池王母宴青春、不知八駿歸來晚、紅雨隨風落滿身  
桃花馬図 同父
- 1541 天上房星不下来、連山芻粟飽駑駘、龍姿逸駕飛騰尽、頼汝毫端力挽回  
李伯時照夜白図 葵天啓
- 1542 天上房星空不動、人間画馬亦難逢、当年筆下千金鹿、此日窓前八尺龍  
江都王画馬 陳去非
- 1543 高秋風起玉関西、踏鉄掃朝十方蹄、貌得當時第一疋、昭陵風雨夜聞嘶  
曹將軍馬 伯生
- 1544 緑衣奴子十七八、面如紅玉牽馬過、繡簾美人時共看、階前青草落花多  
子昂人馬図 同 (48才)
- 1545 朝廷無事日從容、太僕承恩出九重、前代王孫今閣老、只画天閑八尺龍  
題子昂馬 同
- 1546 松雪当年画更工、慣摹天厯玉花驄、如何写此嶮岩骨、応比人生歎未逢  
子昂瘦馬図 経進
- 1547 神駿飄々得自閑、天池飛躍下塵寰、青糸絡首誰収得、留与春風十二閑  
子昂逸馬図 清容
- 1548 天馬從來不受塵、水清深愛自由身、髯奴未識相忘処、手控青糸強屈伸  
祝丹陽飲馬図 同
- 1549 青驄矯々玉花齊、万里西來鉄作蹄、十二天閑春正好、海棠風動恣驕嘶  
西馬図 逃虚 (48ウ)
- 1550 凝神殿裡晏朝回、閑繫青驄照紫苔、一日長安春事老、可能無意看花來  
宣和画馬 伯生
- 1551 夜半房星下九関、渥洼龍種入天閑、宣和得此渾無用、神駿争雄粉墨間  
同 鉅夫
- 1552 瑤池積雪与天平、西極空聞八駿名、玉殿重來人世換、蕭々苜蓿漢宮城  
八駿図 伯生
- 1553 蕭条沙苑貳師還、苜蓿秋風尽日閑、白髮圉人曾習御、長鳴知是憶閑山  
画馬 同
- 1554 干戈擾々徧中州、挽粟車行似水流、何日承平如画裡、短篔簹長笛一川秋  
牧牛図 田錫 (49才)
- 1555 寸繩尺筆乱山深、節制安知豎子心、老子看牛如相馬、微茫淡墨賞遺音  
晚牧図 北礪
- 1556 絶壁連雲翠木稠、五丁空作蜀王羞、浣花女子聞鵲苦、繡作春風万古愁  
蜀女繡牛図 清容





- 1607 松窓一夜遠潮生、断送幽人睡失明、夢覺不知春已去、半簾紅雨落無声
- 1606 起来不喜勻紅粉、強把菱花照病客、腰瘦故知閑事惱、淚多只為別情濃
- 1605 聞鷄使舞欲何為、捫虱無言也太奇、定有人憂天下事、不妨睡到日高時
- 1604 飯了耽眠不飲茶、安排清夢繞天涯、鷄声喚覺疑當曉、起看槐陰是晚衙
- 1603 平生心性爽疎慵、多病追歡興亦空、睡起不知春已老、一簾紅雨杏花風
- 1602 病夫無病破春愁、掃榻焚香作睡謀、夢覺不知身是蝶、午鷄声裡思悠悠
- 1601 三盃未醒復三盃、醉眼朦朧擘不開、急弁藤床并竹枕、要随胡蝶到蓬萊
- 1600 楚山白玉点蠅頭、正坐胸中有九流、同部吏郎皆五馬、不知山鬼解挪揄
- 1599 殘燈無焰影幢々、此夕聞君謫九江、垂死病中驚起坐、暗風吹雨入寒窓
- 1598 天地中心有至仁、溪山容得此閑身、羈懷用底澆愁酒、自有春風解醉人
- 1597 莫道文章不直錢、布衣親到玉皇前、好詩未足三千首、又為梅花入瘴煙
- 1596 飽霜孤竹声偏切、帶火焦桐韻本悲、今日知音一留聽、是君心事不平時
- 1595 天網初開积楚囚、殘骸已廢自知休、荷篋不是人間事、婦去滄江有釣舟
- 1594 老病無媒合退休、伊川久已得菟裘、如今又上長安道、好被青山咲白頭
- 1593 昨日君恩誤賜環、歸腸一夜繞鍾山、雖然眷戀明時祿、羞見琅琊有邵丹
- 1592 海氣溟々漲楚氛、汀洲回薄水橫分、青松十里鍾山路、祇隔西南一片雲
- 1591 雲雨湘江起臥龍、武陵樵客躡仙蹤、十年楚水楓林下、今夜初聞長樂鐘
- 1590 大隱金門三十載、幾回馬上聽朝雞、如今一吐虹霓志、万里交州入馬蹄
- 1589 猷玉頻年命未通、窮秋成病悟真空、咲看朝市趨名者、不病那知在病中
- 1588 眼底功名一物無、飛揚跋扈竟何如、青雲岐路多辛苦、賴得皇家結網疎
- 1587 同作金門猷賦人、二年悲見故園春、到闕不霑新雨露、還家空帶旧風塵
- 1586 綺陌彤々花照塵、王門侯邸尽朱輪、城南旧有山村路、欲向雲霞覓主人
- 1585 羈情含蘗復含辛、淚眼看花只似塵、天遣春風領春色、不教分付与愁人
- 1584 無地無媒只一身、歸來空拉滿床塵、樽前尽日誰相對、唯有南山似故人
- 1583 三條燭尽鐘初動、九轉丹成鼎未開、明月漸低人擾々、不知誰是謫仙才
- 1582 元和天子丙申年、三十三人同得仙、袍似爛銀衣似錦、相將白日上青天
- 1581 憶昔詞場共着鞭、當時鶯喜同遷、関河契闊三千里、音信稀疎二十年

登第後遇同年司空昉少保 鄧洵美

元和十三載李源公榜三十人皆取寒素時有詩云々 (ナシ)

試罷 韋永貽

下第後永樂里自題 趙嘏 (52ウ)

下第春遊 施肩吾

下第留辭顧侍郎 戎昱

与從弟同下第出関言別 盧綸

冥鴻亭下第後作 田紫芝

下第後病中 陸暢 (53才)

奉使安南国出都門作 張志道

詔湘江逐客宿都亭有懷 劉禹錫

赴召道中 荆公

江東召婦 同

被召過少室 許道真 (53ウ)

硤石遇赦 李涉

答楊敬之時亦謫居 禹錫

謫会昌 滕玉霄

謫居偶書 董仁甫

聞白樂天左降 元微之 (54才)

烏子秀自左司員外郎左遷上京幕官 王脩然 (54ウ)

睡 華岳

睡起 李昭玘

同 蔡正甫 金人

同 趙慶大

同 李公用 (55才)

同 朱叔真

山寺早起 劉因

1634	天街平貼淨無塵、燈火春搖不夜城、乍得好涼宜散步、朦朧新月弄疎明	閑步	朱淑真 (58才)
1633	小雨輕風落棟花、細紅如雪点平沙、檣籬竹屋江村路、時見宜城壳酒家	鍾山晚步	王荆公
1632	丹橘村邊燭火微、碧波明處雁初飛、蕭條落日垂楊岸、隔水寥寥聞搗衣	却望無錫芙蓉湖	李紳
1631	翠黛紅粧画鷁中、共驚雲色帶微風、簫管曲長吹未盡、花南水北雨濛々	曲江春望	盧綸
1630	藤花浪沸紫茸条、菰葉風翻綠剪刀、閑弄水芳生楚思、時々合眼詠離騷	湖上閑望	白居易
1629	閑写新詩十數篇、曉來鋪向竹窓前、無端燕子欺人睡、故落青泥汚綵牋	春興	王元之 (57ウ)
1628	夜香燒罷欲黃昏、風雨瀟々懶閉門、聽得疎鐘林後發、上方道士正朝元	国祥齋中晚坐	無文
1627	寂寞空階草乱生、簾涼風動若為情、不知独坐閑多少、看得蜘蛛結網成	新安官舍閑坐	來鵠
1626	何処他年寄此生、山中江上總閑情、無端繞屋長松樹、尽把風声作雨声	院中独坐	伯生
1625	天氣欲晴還欲陰、強扶頭起更岑々、睡魔欲遣茶料理、正恐蔬腸不易禁	悶坐	趙昌甫
1624	夜永霜濃睡不成、困憊兒女話無生、金蓮妄想消除尽、一椀松肪徹曉明	又	放翁 (57才)
1623	抱影無眠坐夜闌、窓風戰雨下琅玕、我將好事供陪夢、只恐燈花不禁寒	又	朱淑真
1622	万卷堆中種眼花、睡魔亦厭夜深茶、平生不草長門賦、豈有黃金送酒家	夜坐	鮑欽止
1621	憶山搖膝石上晚、懷古掉頭溪畔涼、有時得句一声發、驚起鷺鷥和夕陽	吟	陸龜蒙
1620	酒得數盃還已足、詩過兩韻不能神、何須豪逸攀時傑、我自世間隨分人	自咲	王若虛金人
1619	瑤池王母宴群仙、兩部笙歌簇綺筵、誤取一枚仙李喫、又來人世不知年	曲肱詩	白玉蟾 (56ウ)
1618	当年与子別江干、漸老心知後会難、豈料今宵清夢裡、東門交轡說春寒	夢亡友譚德称	放翁
1617	心熟家山夢不迷、孤峯寒遶一条溪、小窓竟後情無限、月墮館娃宮樹西	吳門夢故山	趙嘏
1616	繡枕紅衾晚意濃、啼鶯大似不相容、夢魂苦恨歸來早、不尽瀛州第一峯	夢斷	迈元鼎金人
1615	書魔纔挽睡魔推、鼻息俄驚吼怒雷、夢到逍遙大庭館、不堪簷外鳥驚回	昼臥	謝幼槃 (56才)
1614	倦腕擎書忽墮前、心清無夢腹便々、丹成未要排雲去、且住人間作睡仙	昼寐	放翁
1613	夜眠長待鼓三過、不啻松醪不飲茶、說罷離騷三十卷、渴和霜月嚼梅花	夜眠	李文叔
1612	莊周先我復天真、化蝶飛來管領春、我亦莊周々亦蝶、不知若箇是真身	昼眠	董国華
1611	一簾臨窓薤葉秋、小簾風蕩半離鉤、魂清雨急夢難到、身在五湖波上頭	眠	陸龜蒙
1610	老木經霜衆竅空、月明深夜響秋風、始知天籟非人籟、吹万由來果不同	睡覺門外月色如昼霜風過寥然声作一絕	世傑金人 (55ウ)
1609	富貴前籌要勝天、髭鬚刪染欲多年、許多智數元無益、蹉却凄然幾覺眠	熟睡	李南金
1608	書倦移床臥北軒、槐陰松韻昼扃門、兒曹探得山翁睡、偷把窓前冊葉翻	午睡	潘紫岩

- 1661 1660 1659 1658 1657 1656 1655 1654 1653 1652 1651 1650 1649 1648 1647 1646 1645 1644 1643 1642 1641 1640 1639 1638 1637 1636 1635
- 讀破床頭萬卷書、眼、中、今、古、幾、榮、枯、七、雄、五、霸、成、何、事、到、底、夷、齊、是、丈、夫、
- 時人可怪我何求、白、尺、徒、來、未、白、頭、磅、磚、崑、崙、三、萬、里、不、知、何、地、可、埋、愁、
- 未肯休官愧二疎、滿、樓、煙、雨、官、情、孤、秋、風、數、盡、江、南、雁、千、里、闕、山、一、字、無、
- 一曲瑤琴一炷香、世、間、塵、慮、總、消、忘、千、峯、萬、壑、無、人、到、簾、捲、落、花、春、昼、長、
- 五月中長對雨、一、春、湖、上、懶、看、花、杜、鵑、莫、惱、麻、衣、客、何、處、林、泉、不、是、家、
- 月裡路從何處上、江、辺、身、合、幾、時、歸、十、年、九、陌、寒、風、夜、夢、掃、苧、花、絮、客、衣、
- 漁竿消日酒消愁、一、醉、忘、情、萬、事、休、却、恨、韓、彭、興、漢、室、功、成、不、向、五、湖、遊、
- 雨勻紫菊叢々色、風、弄、紅、蕉、葉、々、聲、北、畔、是、山、南、畔、海、祇、堪、圖、画、不、堪、行、
- 建安酒薄客愁濃、除、却、哦、詩、事、々、慵、不、許、今、年、頭、不、白、城、樓、殘、角、寺、樓、鐘、
- 新分菊本自鉏山、手、縛、枯、藤、作、矮、欄、比、似、著、書、空、用、力、種、花、猶、得、一、年、看、
- 昔同詩伴結清遊、乱、折、梅、花、當、酒、籌、十、二、關、干、風、雪、裡、玉、人、扶、醉、下、西、樓、
- 主人去後客來過、丹、竈、重、々、鎖、薜、蘿、滿、院、碧、桃、花、寂、寞、春、風、不、似、旧、時、多、
- 松桂陰々江水平、白、頭、僧、住、翠、雲、屏、一、聲、磬、落、空、江、水、龍、作、人、來、夜、聽、經、
- 楓葉千枝復萬枝、江、橋、偃、暎、暮、帆、遲、憶、君、心、似、西、江、水、日、夜、東、流、無、歇、時、
- 湖光秋月兩相和、潭、面、無、風、鏡、未、磨、遙、望、洞、庭、山、水、翠、白、銀、盤、裡、一、青、螺、
- 十里滄波自在流、滿、天、風、月、下、芦、洲、待、携、六、幅、生、絹、去、画、出、江、南、水、墨、秋、
- 一天秋色冷晴灣、無、數、峰、巒、遠、近、間、自、上、山、來、看、野、水、却、於、水、底、見、青、山、
- 婦心夜半已飛揚、喚、僕、吹、燈、促、曉、裝、鷄、翅、拍、斜、茅、店、月、馬、蹄、剗、破、板、橋、霜、
- 煙抹平林水退沙、碧、山、西、畔、夕、陽、家、無、人、解、得、詩、人、意、只、有、雲、辺、數、點、鴉、
- 新月未生如有待、孤、雲、忽、散、絕、無、依、投、林、鳥、向、煙、中、沒、度、嶺、人、從、樹、裡、歸、
- 画橈歸去歇笙簫、水、影、山、光、共、寂、寞、一、叟、相、逢、双、鬢、雪、向、人、猶、自、話、前、朝、
- 隔籬春筍參差出、滿、路、野、花、撩、亂、開、屋、角、布、姑、啼、正、急、晴、雲、分、雨、過、山、來、
- 野田分路入誰家、綠、樹、鳴、鶯、坎、鬧、蛙、過、午、歇、涼、人、睡、足、村、々、水、滴、稻、吹、花、
- 野店柴門傍水開、憑、欄、漱、罷、一、徘徊、雲、來、嶺、表、商、量、雨、蜂、透、溪、灣、物、色、梅、
- 不管飢腸吼午雷、左、携、破、傘、右、敲、推、相、看、一、市、驚、迂、怪、只、道、前、生、買、烏、來、
- 山腰有路穿幽竹、溪、面、無、橋、涉、淺、沙、夾、岸、人、家、小、園、圃、秋、風、吹、老、木、犀、花、
- 堤頭曉步落潮痕、行、尽、蒲、根、到、柳、根、雁、影、參、差、半、江、月、鷄、聲、咿、喔、數、家、村、

江上早行 戴石屏  
 溪行 同  
 山村行散 蕭則揚(編者)  
 郊行 徐元杰宋人  
 郊行 僧惠嵩(58ウ)  
 野步 僧実存  
 湖上晚步 同  
 晚望 僧道原  
 同 常山先生金人  
 晚行 華岳宋人(59才)  
 野望 靈舒  
 江上晚眺 黄榮仲宋人  
 望洞庭 吳南詒  
 江陵愁望 玄機子  
 舟中懷龍窟寺旧遊 実存(59ウ)  
 過桃花寺懷東叟 無文  
 雪中懷槐坡丹巖庚申冬之集 林石礪  
 雜興 高菊礪  
 建安遣興 放翁  
 閩中秋思 荀鶴(60才)  
 写懷 高駢  
 叙懷 張蟾  
 述懷 雪岑  
 幽懷 実存  
 鄧主簿旅懷 同(60ウ)  
 書懷 放翁  
 偶書 唐洪甫

1688	七尺床頭無寸金、	寥々垂死病中身、	傷心一啜茶。蘇酒、	不勸双親二十春	除夕病中接家書	實存
1687	商船夜說指江西、	欲託音書未忍題、	收拾鄉心都在紙、	兩声杜宇傍人啼	得樟樹鎮便寄家書	德機
1686	渺々秋風生白波、	故鄉歸夢隔山河、	可憐一紙平安信、	不及衡陽雁字多	收家信	周汝陽
1685	幼小離家老大回、	鄉音難改面毛腮、	家童相見不相識、	笑問客從何處來	又	同
1684	離別家鄉歲月多、	近來人事半消磨、	唯有門前鏡湖水、	春風不改旧時波	回鄉偶書	賀知章 (63 才)
1683	千里還家計又差、	長年行李寄天涯、	秋風病骨稜々瘦、	半是吟詩半憶家	客中秋日	朱曇峰
1682	客路年來已飽經、	壯懷空在鬢星星、	異鄉莫恨知音少、	細柳於人先眼青	客中春日	張君量
1681	青燈耿耿思悠悠、	寶鴨香寒吐復收、	病枕不禁春睡重、	東風吹夢落滄洲	客東湖	盧斷之
1680	春早雲南麥已黃、	瀟江酒霧水如湯、	馬蹄半帶陰山雪、	變作人間六月涼	征南口号	杜瑛
1679	少年裘馬事清狂、	晚看梅花到瘴鄉、	一任海風吹面黑、	免教人謗作何郎	湘中口号	後村 (62 才)
1678	黃鶴高飛去不還、	百年世事奕棋間、	沈香亭畔千株石、	散與人家作飯山	長安覽古	芸叟
1677	門外黃塵尺許深、	痴兒抵死競浮沈、	誰知一寸茅簷日、	天付閑人直万金	門外	黎道華
1676	清風明月無人管、	茶鼎薰炉与客同、	壯歲羞為襤褸子、	如今却羨嘯嘯翁	放言	蕭舜元
1675	身如椰子腹瓠壺、	三畝荒園常荷鋤、	著万卷書雖不足、	容數百人還有余	捫腹	放翁
1674	笑裡低眉引醉波、	閨風秋月一声歌、	明知画燭無情物、	何是樽前泪更多	又	同 (62 才)
1673	歌裡冲々笑裡噴、	深情会処幾何人、	憑君為向五陵道、	冶葉倡条不是春	閱見	辺元鼎
1672	書当快意說易尽、	客有可人期不来、	世事相違摠如此、	好懷百歲幾回開	又	後山
1671	庭槐風靜午陰多、	睡起西窗日影過、	自笑老來無復夢、	閑看行蟻上南柯	又	同
1670	春寒惻々掩重門、	金鴨香殘火尚温、	燕子不来花又落、	一庭風雨自黄昏	絕句	趙孟頫
1669	山花山雨相兼落、	溪水溪雲一樣閑、	野店無人問春事、	酒旗風外鳥関々	同	同 (61 才)
1668	雨洗明河画扇收、	胡床露冷葉欄秋、	墻陰未得中庭月、	一点螢光草際流	同	之昂
1667	楊花顛倒入簾櫳、	睡鴨香殘碧霧空、	尽日尋詩尋不得、	鷓鴣声在夢魂中	同	常山
1666	書墻晴記移花日、	洗瓮先知醞酒期、	須信閑人有忙事、	且來衝雨覓漁師	即事	韓渥
1665	火雲騰焰土生煙、	誰種清陰滴水邊、	借与閑僧眠半日、	免教劫燒壞禪天	暑途樹下偶成	天隱
1664	蟹湯兔盞鬪旗槍、	風雨山中枕簟涼、	學道窮年何所得、	只工掃地与燒香	偶成	彦高 (61 才)
1663	人情爭勝似爭棋、	死怕輸人一着遲、	黑白不分傍袖手、	年來吾亦愛吾痴	偶作	王正之
1662	旧恨新愁海樣深、	河関魚雁各飛沈、	芭蕉也似知人意、	日々窓前吐寸心	所偶	淮海

- 1689 素琴、黄卷、久無情、最苦沈痾累此生、秋草半枯庭日暖、白籠双袖遶塔行  
 1690 少年射虎南山下、惡馬強弓看似無、老病即今那可說、出門十步要人扶  
 1691 閑官臥疾絕經過、居處蕭条近洛河、水北水南秋月夜、管絃声少杵声多  
 1692 東池送客醉年華、聞道風流勝習家、獨臥郡齋寥落意、隔簾微雨濕梨花  
 1693 家隔西秦無遠信、身隨東洛度流年、病中旅館誰相問、牢落閑官一樹蟬  
 1694 桃紅李白覺春歸、強步閑庭力尚微、從困不扶靈寿杖、恐驚花裡早鶯飛  
 1695 卷尽輕雲月更明、金籠不用且閑行、若傾家釀招來客、何必池塘春草生  
 1696 春來眼闇少心情、点尽黃連尚未平、唯得君書勝得藥、開緘未說眼先明  
 1697 強梳稀髮着綸巾、捨杖空行試病身、花間自欲徘徊立、稚子牽衣不許人  
 1698 十里蓮堤路不賒、病來簾外是天涯、煩君四句遙相寄、應得詩中便看花  
 1699 官中寥落禁門東、秋滿長安一夜風、老病不眠成展轉、五更鐘鼓雨声中  
 1700 一春臥病竹辺房、誰道維摩治有方、昨日逢人問消息、已捐藥裏理詩囊  
 1701 為愛清香清透骨、一朝無事百回看、曉來說易南枝下、羌笛数声霜月寒  
 1702 年過潘岳已三歲、還見星々兩鬢中、縱使他時能早達、定知不作黑頭公  
 1703 多病多愁心自知、行年未老鬢先衰、隨梳落去何須惜、不落終須變作糸  
 1704 摠道老來無用處、何須白髮在前生、如今不用偷年少、拔却三莖又五莖  
 1705 到處逢人求至藥、幾回染了又成糸、素糸易染髭難染、墨翟當時合泣髭  
 1706 顧我長年頭似雪、饒君壯歲氣如雲、朱顏今日雖欺我、白髮他時不放君  
 1707 新月平康金步蓮、青雲戚里玉連錢、誰家年少秋風裡、梁甫吟成抱劍眠  
 1708 結義輕生一劍知、白虹貫日報讐婦、片心惆悵清平世、酒市無人問布衣  
 1709 綠眼胡鷹踏錦鞵、五花驄馬白貂裘、往來三市無人識、倒把金鞭上酒樓  
 1710 公子風流嫌錦繡、新裁白紵作春衣、金鞭留當誰家酒、扶柳穿花信馬歸  
 1711 雕鞍玉勒照花明、過後香風特地生、半醉五侯門裡出、月高猶在禁街行  
 1712 錦衣紅奪彩霞明、侵曉春遊向野庭、不識農夫辛苦力、驕驄踏爛麥青青  
 1713 少年公子出皇都、勒馬途中倒玉壺、却問路傍耕稼者、夜來風雨損花無  
 1714 頻添獸炭歌金縷、对酌羊魚泛玉卮、飽食煖衣無一事、咲嬉粧塑雪獅兒  
 1715 禪心已作沾泥絮、詩思渾如水上船、却是官閑得無事、一簾江雨枕書眠
- 病起 同 (63ウ)  
 同 放翁  
 臥疾 樂天  
 道州郡齋臥疾寄車館諸賢 呂温  
 旅舍臥病 李九齡  
 疾愈步庭院 陸暢 (64才)  
 酬裴尹遣酒兼喜眼疾平 禹錫  
 得錢舍人書問眼疾 樂天  
 扶病春亭 言史  
 病中知皇子陂荷花盛發寄王績 裴夷直  
 病中聞雨 畢公叔 (64ウ)  
 聞悟上人病起 斯道  
 病起步梅花下 景濂  
 鏡中嘆白髮 呂温  
 嘆髮落 樂天  
 白髭 王建 (65才)  
 戲答少年 樂天  
 長安少年行 王鬱  
 結客少年行 沈彬  
 俠少年 薛逢 (65ウ)  
 公子行 雍陶  
 又 羅鄴  
 又 孟賓千  
 公子晚春早行 朱湛盧  
 詠冬日貴公子 愛梅先生 (66才) (66ウ空白)  
 雜詩 王正之

- 1716 華山宮殿白雲封，不見當年打睡翁，貪看終南山色好，不知紅日下前峯  
又 王中立
- 1717 昼色清明着色凶，山光凝翠接平湖，煙嵐自古人難畫，遠即深々近却無  
又 彥由
- 1718 道人知我愛禪房，淨弘塔前紫石床，軟飽三盃風味好，脫巾和月臥昏黃  
又 良大用
- 1719 老子平生酷愛閑，天教行處得禪閑，粥魚敲落簷頭月，猶在梅花醉夢間  
又 同 (67 才)
- 1720 瓦炉柏子細煙消，閑說禪經破寂寥，風細月高人已靜，隔窓疎竹夜蕭々  
又 王逸浜 (67 才)
- 1721 掛遜干戈兩不知，巢居穴處各熙々，無端擊破乾坤秘，禍始羲皇一画時  
讀易 放翁
- 1722 君鑑君兮臣鑑臣，世間何有敗亡人，若還鑑古猶為遠，夏后何嘗可鑑殷  
資治通鑑 葉竹友
- 1723 海上空求五色芝，鮑魚風起竟堪悲，桃源自有長生路，却是秦皇不得知  
讀秦紀 李公甫
- 1724 築了連雲万里城，春風絃管醉中聽，淒涼六籍寒灰裡，宿得咸陽火一星  
又 蕭解 (舞方)
- 1725 權利肝腸大賈余，固應遷怒到詩書，蠹魚不向瓜丘尽，心走沙丘化鮑魚  
又 李公甫 (68 才)
- 1726 垓下何人為解圍，八千兵散意何如，帳前酒尽英雄淚，似悔當年不讀書  
讀項羽本紀 李九齡十四歲作
- 1727 千歲紛争共一毛，可憐身世兩徒勞，無人語与劉玄德，同舍求思意最高  
讀蜀志 同
- 1728 漢室風流絕建安，老瞞父子力排山，可憐魯国真男子，也著區々七子間  
讀孔北海傳 希顏
- 1729 子美神功接混茫，人間無路可升堂，一斑管内時々見，賺得陳郎兩鬢蒼  
讀陳後山詩 常山
- 1730 布衣一日見明君，俄有詩名四海聞，楓落吳江真如句，不須多示鄭參軍  
讀張仲揚詩 劉少宣 (68 才)
- 1731 晚唐詩似晚春景，姿媚有余風骨輕，千載俄逢古疊洗，摩挲篆籀眼增明  
讀黃太史詩 鄭之息
- 1732 喚起鍾山執拗夫，生平事業竟何如，早知詩選堪傳世，底用青苗一卷書  
讀荆公詩選 林方
- 1733 蜀山渺々蜀江長，玉骨幽沈草木黃，万苦皆從甜處得，長生殿裡荔支香  
讀天寶遺事 陳仲猷
- 1734 終南処士入都門，少室山人補諫垣，畢竟只供千歲咲，石封三品鶴乘軒  
讀隱逸傳 放翁
- 1735 君復仲先真隱淪，筆端亦自幹千鈞，閑中一句終難道，何況市朝名利人  
讀林逋魏野二処士詩 放翁 (69 才)
- 1736 万頃滄波一葉舟，桃花春水蓼花秋，儵然白鳥蒼煙外，只有漁翁得自由  
讀呂仲明漁父百詠 范月溪
- 1737 俗緣未断念家鄉，回首仙源竟渺茫，野鳥自啼春自好，桃花底是怨劉郎  
讀劉阮傳 張槎谿
- 1738 客星何補漢中興，空有清風冷似冰，早遣阿瞞移漢鼎，人間何處有嚴陵  
讀嚴子陵傳 誠齋
- 1739 四朝十帝尽風流，建業長安兩醉遊，唯有一篇楊柳曲，江南江北為君愁  
讀庾信集 盧中
- 1740 高臥深居不見人，功名斗數似灰塵，唯留一郭清商樂，月下風前伴老身  
讀鄂公伝 樂天 (69 才)
- 1741 杜詩韓集愁來讀，似倩麻姑痒處爬，天外鳳凰誰得髓，無人解合統弦膠  
讀韓杜集 牧之
- 1742 驪山拳燧因褒姒，蜀道蒙塵為太真，能遣明妃嫁夷狄，画工元是漢忠臣  
讀明妃引 陳憫

- 1743 朝廷無事君臣樂、花柳多情殿閣春、不覺胡雛心暗動、綺羅翻作墜樓人  
讀太真外伝 魏道翁
- 1744 千載詩亡不復刪、少陵談咲即追還、常憎晚輩言詩史、清廟生民伯仲間  
讀杜詩 放翁
- 1745 不但昨非今亦非、上皇騎馬泪沾衣、曲江死後無忠諫、却憶詞人秋雁飛  
讀天寶遺事 張介夫 (70才)
- 1746 長愛東坡眼不枯、解將西子比西湖、先生詩妙真如画、為作春寒出浴圖  
讀和靖西湖詩 覺範
- 1747 直上丹山擷鳳文、倒翻滄海取龍筋、持來世上無人識、化作青天五色雲  
讀斷江禪師詩 季潭
- 1748 伯陽名跡世人知、太史成書未免議、不是道家齊物我、豈容同侪著韓非  
讀史 松年
- 1749 虎視鯨吞卒未休、一時人物尽風流、婦翁正得黃承彥、兒子当如孫仲謀  
讀三国志 劉昂
- 1750 乘槎深夜問支機、天女流梭舞鳳飛、廻首人問金粟尺、剪燈愁製五銖衣  
還馬伯庸文藁 伯長 (70ウ)
- 1751 天孫錦段水蚕蠶、太古盤銘蒼頡文、三百年來消息斷、無人為酬杜陵墳  
題雅上人抄唐詩後 藏叟
- 1752 岩裡空寒玉有声、亭前淵静鏡生明、從他流入香塵去、不礙源頭徹底清  
題林丹巖冷泉詩後 陳藏一
- 1753 五雲閣上侍君王、講罷朝回日正長、多少太平行樂事、摠將詩句為評章  
題王叔善自庵詩集 洎川
- 1754 清詩妙画兩通神、忽見仙翁碧眼新、遼海十年孤鶴遠、空山誰酬一瓢春  
題張貞居所書閩州瓢詩 (ナシ)
- 1755 元子文章學東坡、百年人物擅閩河、風流併逐浮雲散、況我看詩鬢已皤  
題元祐元贈劉濟川詩後 鉅夫 (71才)
- 1756 匡廬山下有仙翁、寿与乾坤配始終、記得霓裳羽衣曲、此身曾入大寒宮  
題広寒龍先生詩卷 仲弘
- 1757 江南才子許渾詩、字々清新句々奇、十斛明珠量不尽、惠休虛作碧雲詞  
題許渾詩卷 韋莊
- 1758 水面天心一段奇、和秋領取入詩脾、等閑洒向空江上、紅蓼白蘋都是詩  
題秋江集 吳節卿
- 1759 乞得歐文慰乃師、婦来喜色上双眉、開包点檢無他物、只有諸賢贈別詩  
奉題見心禪師清江行卷 蘇大年
- 1760 夜深吟罷一長吁、老淚燈前濕白鬚、二十年、前、旧、詩、卷、十、人、酬、和、九、人、無  
感旧詩卷 樂天 (71ウ)
- 1761 中朝文有漢唐風、南渡詩人尚數公、正使詞源有深淺、病懷霸思亦相同  
觀渡江諸人詩 放翁
- 1762 風雅凋零降黍離、竟從刪後已無詩、嘲風詠月非吾事、只愛忠君杜拾遺  
答宋景濂學士論詩 經進
- 1763 漢、謠、魏、什、久、紛、紜、正、体、無、人、与、細、論、誰、是、詩、中、疏、鑿、手、暫、教、涇、渭、各、清、渾  
論詩 遺山
- 1764 縱橫詩筆見高情、何物能澆魄磊平、老阮不狂誰會得、出門一咲大江橫  
又 同
- 1765 奇外無奇更出奇、一波纔動万波隨、只知詩到蘇黃尽、滄海橫池却是誰  
又 同 (72才) (第三冊終)
- 錦囊風月卷之八  
羽族門
- 1766 金井欄邊見羽儀、梧桐枝上宿寒枝、五陵公子憐文彩、画与佳人刺繡衣  
鳳歸雲 滕潜

1793	霜落風高恣所如、 歸期回首是春初、 上林天子援弓繳、 窮海累臣有帛書	放雁	郝伯常
1792	年々風景暗相催、 雁葉初紅雁又来、 枕上一聲聞最苦、 江南人望寄書廻	八月十三夜聞雁	雪岑
1791	羽毛摧落向人愁、 當食哀鳴似有求、 万里衡陽冬欲暖、 失身元為稻粱謀	池雁	荊公
1790	超然聖處勝張顛、 整々斜々落照邊、 好写人間不平事、 叫開闔闔為箋天	同	同
1789	玉宇空明一紙如、 西風字々貼天鋪、 憑誰喚起揚雄問、 蒼頡篇中有此無	雁字	史友林 (3才)
1788	西風吹夢楚天秋、 雁正來時妾正愁、 怕有帛書天外至、 画眉未了急登樓	同	巖次山
1787	虹影侵塔驟雨余、 声々新雁度雲衢、 弯弓欲射仍停手、 只恐燕山有帛書	聞雁	六一
1786	接影橫空背雪飛、 声々寒出玉闌遲、 上陽宮裡三千夢、 月冷風清聞過時	聞雁	林寬
1785	驚風吹起塞鴻群、 半弘平沙半入雲、 為問昭君月下聽、 何如蘇武雪中聞	賦得聽邊鴻	樂天
1784	暮天新雁起汀洲、 紅蓼花疎水国秋、 想得故園今夜月、 幾人相憶在江樓	新雁	杜荀鶴 (2ウ)
1783	客裡緘書寄雁歸、 吾家松逕小柴扉、 天長路遠應難認、 認取白雲飛處飛	同	陳本中
1782	早背胡霜過戍樓、 又隨寒日下汀洲、 江南江北多離別、 忍報年々兩地愁	雁	羅鄴
1781	天、 <u>心</u> 、 <u>膽</u> 、 <u>架</u> 、 <u>頭</u> 、 <u>身</u> 、 欲擬飛騰未有因、 万里碧霄終一去、 不知誰是解條人	詠架上鷹	崔鉉
1780	御馬新騎禁苑秋、 白鷹來自海東頭、 漢皇無事須遊獵、 雲乱爭飛錦臂鞦	新羅進白鷹	寶庠
1779	内鷹籠脫解紅條、 鬪勝爭飛出手高、 直上青雲還却下、 一双金爪掬花毛	鷹	王建 (2才)
1778	華表千年一鶴歸、 凝丹為頂雪為衣、 星々仙語人聽尽、 却向五雲翻翅飛	鶴	夢得
1777	養汝由來歲月深、 籠開不見意沈々、 想、 <u>心</u> 、 <u>只</u> 、 <u>在</u> 、 <u>秋</u> 、 <u>江</u> 、 <u>上</u> 、 明月、 <u>芦</u> 、 <u>花</u> 、 <u>何</u> 、 <u>處</u> 、 <u>尋</u>	失鶴	無則
1776	天上瑤池覆五雲、 玉麟金鳳好為群、 不須更飲人間水、 直是清流也汚君	鶴	李九齡
1775	君因風送入青雲、 我被人驅向鴨群、 雪頸霜毛紅網掌、 請看何處不如君	鶩贈鶴	同
1774	無妨自是莫相非、 清濁高低各有歸、 鸞鶴郡中彩雲裡、 幾時曾見喘。鶩。飛	鶴答鶩	同 (1ウ)
1773	吾愛栖雲上華表、 汝多攫内下田中、 吾音中羽汝声角、 琴曲雖同調不同	鶴答鳥	同
1772	一聲、 <u>警</u> 、 <u>露</u> 、 <u>君</u> 、 <u>能</u> 、 <u>薄</u> 、 五德、 <u>司</u> 、 <u>晨</u> 、 <u>我</u> 、 <u>用</u> 、 <u>多</u> 、 不会悠悠時俗士、 重君輕我意如何	鷄贈鶴	樂天
1771	道林曾訪雪翎飛、 应悔庭除閉羽衣、 料得王恭披鶴氅、 倚吟猶待月中歸	悼鶴	李穀
1770	右翅低垂左脛傷、 可憐風貌甚昂藏、 亦知白日青天好、 未要高飛且養瘡	勸病鶴	樂天
1769	渥頂鮮毛品格馴、 莎庭閑暇重難群、 無端日暮東風起、 飄散春空一片雲	悼鶴	鄭畋 (1才)
1768	夕陽灘上立徘徊、 紅蓼風前雪翅開、 应為不知栖宿處、 幾回飛去又飛來	獨鶴	韋莊
1767	飲啄蓬山最上頭、 和煙飛下禁城秋、 曾將弄玉婦雲去、 金、 <u>翻</u> 、 <u>斜</u> 、 <u>開</u> 、 <u>十</u> 、 <u>二</u> 、 <u>樓</u>	同	同



中統十五年九月一日放雁獲者勿殺國信大使郝經書于真州忠勇軍營新館事見鞍耕錄(3ウ)

宋景濂云右郝經文忠公帛書五十九字博二寸高五寸背有陵州郝氏印

- 1794 出塞行々如出戰、銜荳寂々類銜枚、平沙夜宿排形勢、誰為舟師破得來  
雁陣 後村
- 1795 幾見霜翎巢白草、數行雲足篆青冥、方將寄字來茗書、莫便翻身過洞庭  
雁字 白玉蟾
- 1796 莫恨彫籠翠羽殘、江南地暖隴西寒、勸君不用分明語、語得分明出轉難  
鸚鵡 羅隱
- 1797 莫把金籠閉鸚鵡、个々分明解人語、忽然更向君前語、三十六宮愁幾許  
鸚鵡詞 蘇郁(4才)
- 1798 隴西獨自一孤身、飛去飛來上錦■、都緣出語無方便、不得籠中再喚人  
鸚鵡離籠 薛書記
- 1799 雲木何時兩翅翻、玉籠金鎖祇煩冤、直須強學人間語、舉世無人解鳥言  
見鸚鵡戲作 荊公
- 1800 鸚鵡誰教轉舌閑、內人手裡養來茲、語多更覺承恩沢、數對君王憶隴山  
鸚鵡 王建
- 1801 声々啼血染殘春、怨殺当年古帝靈、縱爾欲歸々底処、蜀山不是旧時青  
杜鵑 姜邦傑
- 1802 旧草堂東水竹西、年々只与落花期、長亭今夜声連曉、愁似經年病拾遺  
同 北礪(4ウ)
- 1803 一声々勸人婦去、啼血江南幾樹花、我被微官拘束在、汝緣何事不歸家  
同 後村
- 1804 蜀客春城聞蜀鳥、思婦声引未歸心、欲知夜々愁相似、爾正啼時我正唵  
聞杜鵑 雍陶
- 1805 一声啼破万山雲、我正思婦却喜聞、莫向貴人庭樹上、王孫金彈不饒君  
聞鵲 紫岩
- 1806 雨恨花愁同此冤、啼時聞処正春繁、千声万血誰哀爾、争得如花咲不言  
子規 來鵠
- 1807 蜀魄千年尚怨誰、声々啼血染花枝、滿山明月東風夜、正是愁人不寐時  
聞子規 羅鄴(5才)
- 1808 楚天空闊月成輪、蜀魄声々似告人、啼得血流無用処、不如緘口過殘春  
同 荀鶴
- 1809 碧竿微露月玲瓏、謝豹傷心独叫風、高処已忘聞滴血、山榴一夜幾枝紅  
聞杜鵑 雍陶
- 1810 銅梁路遠草青々、此恨那堪枕上聽、一種有冤猶可報、不如御石疊滄溟  
子規 羅隱
- 1811 富貴花時誰肯婦、痴心叫至月華西、万山黃落秋風冷、正好啼時却不歸  
同 同
- 1812 月漸高時声漸長、客窓愁斷幾人腸、當時若在故鄉聽、未必當時出故鄉  
聽鵲 同(5ウ)
- 1813 鶯声日沸笙歌奏、富貴春光別一家、惟有不如婦去好、夜深和月在梨花  
子規 趙希逢
- 1814 荆益山川不庇身、空於枝上惜殘春、故園猶自羞婦去、却在他鄉勸別人  
聞杜鵑 同
- 1815 千年蜀魄事悠々、啼破蒼煙血淚流、記得天津橋一語、至今遺恨未曾休  
杜鵑行 蒙齋
- 1816 君若思婦可便婦、故鄉只在錦城西、不知底事留君住、却向空山日夜啼  
杜鵑 何応龍
- 1817 錦水萍浮不計春、一枝聊寄倦游身、天長翼短無婦処、閑把心情勸別人  
同 曾山丹(6才)
- 1818 一声迸裂青山竹、半夜沾殘病客衣、還道難於天上去、不知何苦只思婦  
子規 劉延世

1845	纔囀歌喉碧樹枝、驚飛還避巧丸兒、可憐蜂蝶無言語、入偏花房人未知	同	鶯	泰伯
1844	踏折海棠花一枝、	鶯	白玉蟾	
1843	好倚青山與碧溪、刺桐毛竹待雙栖、花時仙客傷離別、莫向相思樹上啼	放鷓鴣	羅鄴	
1842	冥々花朵隔遙山、脈々風煙暗百蠻、曾向黃陵啼竹裡、羽毛猶帶淚痕斑	鷓鴣	延世(8ウ)	
1841	天長水遠網羅希、保得重々翠羽衣、挾彈小兒多害物、勸君莫近五陵飛	翠碧鳥	韓偓	
1840	一身文彩異常流、却使閑身不自由、永日翠籠相並睡、豈無魂夢到滄洲	鷓鴣	徐靈暉	
1839	万里飛來為客鳥、曾蒙丹鳳借枝柯、一朝鳳去梧桐死、滿目鴟鴞奈爾何	海鷗詠	顧況	
1838	隨潮鷗鳥往來頻、百十為群立水濱、多怪朝來無一个、高飛想是避漁人	鷗	華岳	
1837	紅閑碧靜霽煙開、錦翅双飛去又回、一種相連名字好、尽緣人恨別離來	同	羅鄴(8才)	
1836	雌去雄飛万里天、雲羅滿眼淚潸然、不須長結風波願、鎖向金籠始兩全	同	商隱	
1835	蘋洲花嶼接江湖、頭白成双得自如、春晚有時描一对、日長消尽繡工夫	鴛鴦	曹組	
1834	窺魚潛立小荷圓、照水飛鳴更碧鮮、闢草人婦尋墜翼、綺窓婦去補花鈿	翡翠	羅鄴	
1833	西風吹折荻花枝、獨鳥飛來太苦飢、渚淨沙寒魚不出、滿身秋雨立多時	魚虎	陸仁	
1832	避人忽起鳴衣桁、掠水飛來立釣磯、靜處欲留看不足、翠光点破夕陽歸	翡翠	劉延世(7ウ)	
1831	西風吹冷到漁家、片雪飛來泊水涯、獨立斜陽如有待、擬邀明月伴芦花	鷺	張志龍	
1830	池塘多謝久淹留、長得霜翎放自由、好去蒹葭深處宿、月明應認旧江秋	放鷺鷥	李中	
1829	雨声瀝々瀉秋荷、雪羽翻々映綠莎、莫倚前灘栖息穩、江湖一日幾風波	鷺鷥	一初	
1828	野格由來倦小池、驚飛却下碧江涯、月昏風急宿何處、秋岸蕭々黃葦枝	失鷺鷥	鄭谷	
1827	白蘋紅蓼碧江涯、日暖双々立睡時、願揭金籠放歸去、却隨沙鶴闕輕糸	放鷺鷥	六一(7才)	
1826	霜衣雪髮青玉鬢、群捕魚兒溪影中、驚飛低映碧山去、一樹梨花落晚風	同	褚載	
1825	裊糸翹足傍澄瀾、銷尽年光佇思間、若使見魚無羨意、向人姿態更心閑	鷺鷥	來鵠	
1824	人生四十未全衰、我為愁多白髮垂、何故水邊双白鷺、無愁頭上亦垂糸	白鷺	樂天	
1823	雪衣飛去莫忽々、小住灘頭伴釣篷、禹廟蘭亭三十里、相逢多在暮煙中	同	放翁	
1822	漠々江湖自在飛、一身到處占漁磯、稻田水淺魚能幾、莫被泥沙污雪衣	同	趙希卨(6ウ)	
1821	春暗汀洲杜若香、風標公子白霓裳、碧天片雪忽飛去、何處人家水滿塘	鷺	李泰伯	
1820	燕山三月初三夜、聞得啼鶯第一聲、同是小樓孤燭下、主人眠熟客心驚	燕山聞鶯	范約莊	
1819	深藏密葉人難見、斷送春光夢一空、啼得血流成底事、只心都作映山紅	同	劉蕭仲	

1872	乱花枝上訴東風、一半身沾杏雨紅、春事等閑渾說破、何如留在不言中	春禽	宋器之(11ウ)
1871	驚飛失勢粉牆高、好个声音好羽毛、小婢不須催柘彈、且從枝上喫梨花	山鳥	鄭谷
1870	禍福無門未可憑、天教有口可無聲、莫嫌口解為身累、雁不能鳴反自烹	代百舌鳥答	紫岩
1869	千愁万恨過花時、似向春風怨別離、若使衆禽俱解語、一生懷抱有誰知	百舌鳥	無則
1868	大藥何年竊得靈、広寒去伴月長生、至今弱羽沾余瀝、猶作當時杵臼聲	搗藥禽	北礪
1867	星点花冠道士衣、紫陽宮女化身飛、能伝上界春消息、若到蓬山莫放帰	題戴勝	賈島(11才)
1866	飲啄応過濯錦浜、誤吞蜀錦至今新、不然曾入唐宮裡、銜得楊妃繡領中	吐綬鷄	周石室
1865	天寶三郎好鬪鷄、醉中宮錦賤如泥、沈香亭北花含笑、不管漁陽胡馬嘶	鬪鷄	藏叟
1864	断石残芦雪半消、悲鳴如念弟兄遙、北風原上重回首、愧殺淮南尺布謡	鶴鷄	一初
1863	瞳矐曉日上簾旌、又聽林鳩逐婦声、可咲天公無定向、只随汝輩作陰晴	雨鳩	向雪湖
1862	山鷄形状鶴精神、文似漣漪動白蘋、物異恩殊堪愛重、廟堂人寄草堂人	白鷗	魏野(10ウ)
1861	山中只是惜珍禽、語不分明識爾心、若使解言天下事、燕台合築幾千金	喜山鷓初帰	司空図
1860	石坡泥浅無虫引、小竹纔高一寸余、独自行々無可啄、低頭努嘴欲何如	鵲	紫岩
1859	百千寒雀下空庭、小集梅梢話晚晴、特地作团喧殺我、忽然驚散寂無声	寒雀	石屏
1858	細雨斜風緑滿郊、春風初度杏花梢、銜泥自向朱門去、不管茅簷有故巢	燕	雪岑
1857	翻々双燕画堂開、送古迎今幾万回、長向春秋社前後、為誰帰去為誰来	詠燕上主司	歐陽澥(10才)
1856	去時不似来时好、旧海棠叢錦幄低、未必秋風便翻幕、楼空巢冷不堪栖	餞燕	北礪
1855	漢宮一百四十五、多下珠簾閉鎖窓、何処宮巢夏将半、茅簷煙裡語双々	村舍燕	杜牧
1854	毛衣似錦語如糸、日暖争高綺陌天、幾処野花留不得、双々飛向御炉煙	宮燕詞	巨源
1853	旧巢危巢泥已落、今年故向社前帰、連雲大厦無栖処、更傍誰家門戸飛	帰燕下第献主司	章孝標
1852	旧巢新補画梁西、趁得蘭塘雨後泥、莫憶年々帰去路、鬢樓高処海雲低	燕帰	北礪(9ウ)
1851	簷角呢喃日幾回、尋巢如待画簾開、祇縁不語人間事、贏得年々去復来	新燕	呉回
1850	會客烏衣説落花、春風吹影傍天涯、茅檐亦有安巢地、何必王家与謝家	燕	劉克莊
1849	擲柳遷喬太有情、交々時作弄機声、洛陽三月春如錦、多少工夫織得成	鶯梭	後村
1848	曉寒顧影惜金衣、着意聽時不肯啼、飛入柳陰深処去、数声只許落花知	聞鶯	誠齋
1847	春雲薄々日輝々、宮樹煙深隔水飛、応為能歌繫仙籍、麻姑乞与女真衣	黄鶯	鄭谷(9才)
1846	風花猶及見春和、無限青陰取次過、隔葉未須聽百轉、世間好語誤人多	同	宋器之

毛族門

- 1873 着眼分明莫作疑、從來形影本同如、不応水底青天上、更有飛禽仰面飛  
鳥影過寒塘 秦簡夫  
六一 (12才) (12ウ空白)
- 1874 百轉千声隨喜移、山花紅紫樹高低、始知鎖向金籠聽、不及林間自在啼  
画眉鳥 六一 (12才)
- 1875 天馬初從渥水來、郊歌會唱得龍媒、不知玉塞沙中路、首猶殘花幾處開  
天馬辭 張仲素
- 1876 雪耳紅毛淺碧蹄、追風會到日東西、為驚玉貌郎君墜、不得華軒更一嘶  
馬離厩 薛書記
- 1877 月窟龍孫四百蹄、驕驥輕步応金鞵、曲終似要君王寵、回望紅樓不敢嘶  
舞馬 龜蒙
- 1878 白毛紅点巧安排、勾引春風背上来、莫解雕鞍橋下洗、恐隨流水到天台  
桃花馬 馬伯庸 (13才)
- 1879 雪。蚪。輕。駿。步。如。飛。、一。練。騰。光。透。月。旗。、応。咲。穆。王。拋。万。乘。、踏。風。鞭。露。向。瑤。池  
照夜白 龜蒙
- 1880 日晚長川不計程、離群独歩不能鳴、頼有青々河畔草、春頼猶得慰羈情  
驢 盧倚馬
- 1881 日出東籬黃雀驚、雪消春動草芽生、土坡平漫陂田闊、橫載童兒帶犢行  
牛 六一
- 1882 曾遭甯戚鞭敲角、又被田單火燎身、閑背斜陽曬枯草、近來問喘更無人  
同 李家明
- 1883 誰憐宿料一生無、身後仍連金十奴、惟蓋却教蒙狗馬、不知何事負農夫  
吽嘆 知幾 (13ウ)
- 1884 条峯五老勢相連、此鹿來從若个辺、別有野麋人不見、一生長飲白雲泉  
觀鹿 崔液
- 1885 可富終然不称家、呦々如怨復如嗟、何如送汝歸山去、許合台前臥落花  
詠鹿 德機
- 1886 山麝逃風遠谷藏、一山行過四山香、臍。堂。自。養。千。金。弩。、枉。恐。虞。人。鼻。孔。長  
麝香 簡夫
- 1887 養得猫奴立戰功、將軍細柳有家風、一簾未厭魚餐薄、四壁常令鼠穴空  
謝周元之送猫兒 魯直
- 1888 裏塩迎得小狸奴、尽護山房万卷書、慚愧家貧詩俸薄、寒無甑坐食無魚  
猫 六一 (14才)
- 1889 近來鼠輩欺猫死、打甕敲盆攪夜眠、聞說猫奴生数子、買魚穿柳聘銜蟬  
同 同
- 1890 古人養客乏車魚、今汝何功客不如、飯有溪魚眠有毯、忍教鼠嚼案頭書  
詰猫 劉潜夫
- 1891 連夕狸奴磔鼠頻、怒髯噴血護殘困、問渠何似朱門裡、日飽魚飡睡錦茵  
贈粉鼻 放翁
- 1892 業為鼠技不能群、酷似狼貪却畏人、歃血未乾猶竊粟、豈応秦了又生秦  
鼠狼 橘洲
- 1893 新秋白兔大如拳、紅耳霜毛趁草眠、天子不教人射殺、玉鞭遮到馬蹄前  
兔 王建 (14ウ)
- 1894 不見岩扉淨業君、山僧養犬謾成群、人知自此來看少、祇向山中吠白雲  
山僧養犬 德機
- 1895 掛月栖雲向楚林、取來全是為清音、誰知繫在黃金鎖、翻畏侯家不敢吟  
長安贈猿 張喬
- 1896 放爾千山万水身、白雲紅樹好為隣、啼時莫近瀟湘岸、明月孤舟有旅人  
放猿 吉師老
- 1897 蜀江水碧蜀山青、乍聽何人不动情、霜月滿天孤館夜、一声々は断腸声  
巴峽聞猿 実存
- 1898 貴向獵師家買得、携來乞与坐禅床、不知摘月秋潭畔、曾对何人啼断腸  
謝猿皮 齊己 (15才)

1924	1923	1922	1921	1920	1919	1918	1917	1916	1915	1914	1913	1912	1911	1910	1909	1908	1907	1906	1905	1904	1903	1902	1901	1900	1899
萋蒿短々荻芽肥、正是河豚欲上時、甘美遠勝西施舌、吳王当日未曾知	漁翁今度答筍富、政是桃花水賦時、網得文鱗如墨錦、貫來楊柳是金糸	楊花飄雪暗西津、饒舌黃鸝百轉新、知是鱒魚初出網、玉盤三尺水晶鱗	閑釣江魚不釣名、瓦甌斟酒暮山青、醉頭倒向芭花裡、却咲無端犯客星	七尺青竿一丈糸、菰蔣葉裡逐風吹、幾回拳手拋芳餌、驚起沙灘水鴨兒	龍門点額意何如、紅尾青髻却返初、見說在天行雨苦、為龍未必勝為魚	弄萍隈荇思夷猶、掉尾揚鬣逐漫流、応怕碧岩々下水、浮藤如線月如鉤	金錢贖得免刀痕、聞道禽魚亦感恩、好去長江千万里、不須辛苦上龍門	數頭鮮活養恩波、瓢飲相忘較幾何、小水因知無甚樂、五湖煙浪曲鉤多	哆口昂藏派玉川、背衣疎印墨光鮮、被渠喚起思吳興、夢入芦花刺釣船	秦帝東巡渡浙江、中流風緊墜書囊、至今収得磨殘墨、猶帶宮車載鮑魚	削玉肌膚結帶囊、荻芽肥節落潮鄉、謝家池墨流歸海、染得魚腥一種腸	橫行湖海浪花生、糟粕招邀到酒家、酥片滿螯凝作玉、金穰鎔腹未成沙	旧交髯。簿久相忘、公子相從独味長、醉死糟丘終不悔、看來端的是無腸	水鄉秋暮得白蟹、望斷碧雲無酒家、此意淒涼何所似、淵明醒眼对黃花	蛇眼龜形脚似蛛、未曾正面向人趨、如今釘在盤筵上、得似江湖乱走無	坐对秋山酒興濃、送來霜蟹滿筠籠、無端却被盧君咲、左手持螯右手空	未遊滄海早知名、有骨還從肉上生、莫道無心畏雷電、海龍王。処也橫行。	寒汀潮落接平坡、就縛累累可奈何、只道火攻為下策、到頭水戰亦投戈	蓬山側畔屹嶸山、懷玉深藏万壑間、也被酒徒勾引着、薦他樽俎解他顏	海上凡魚不知名、百千生命一杯羹、無端更号西施舌、重為兒童起妄情	飲者憐渠有典刑、見渠借筋眼偏青、平生閉口不論事、晚歲搜腸求独醒	世外猶迷不死庭、人間莫恃自無營、本朝滄海堪投迹、却向朱門待放生	幾年蟄土養天真、藏却人間無限春、今日昇騰雲霧上、生々何物不精神	聞說獼猴性頗靈、相車來便滿山迎、鞭。羸。到此何曾見、始覺毛虫更世情	拳大、獼猴性頗馴、兒童戲弄費精神、不知還似孫供奉、認得當時旧主人
西施乳	鱖魚	鱒魚	同	釣魚	点額魚	遊魚	放魚	盆魚	鱸魚	烏賊魚	烏賊	同	糟蟹	得蟹無酒	嘲螃蟹	嘲史石窓送蟹不送酒	同	蟹	食蛎房	西施舌	酒蛤蜊	放龜	龍	觀猴戲	獼猴山僧云晏元獻公來——滿山
洪駒父 (18才) (18ウ空白)	葉豈潛	蔡肇	崔道融	李群玉	樂天 (17ウ)	來鵠	寶鞏	僧以仁	李南金	誠齋 (17才)	劉吉	誠齋	放翁	劉招山	朱貞白 (16ウ)	石屏	皮日休	黃叔方	誠齋	呂居仁 (16才)	誠齋	司空圖	大玄	方寸翁	程伯淳 (15ウ)

昆蟲門

1950	百沸澡湯雪湧波、澡湯嘈噴雨鳴簑、桑姑盆手交相賀、綿繭無多、繭多	同	石湖
1949	春蠶運巧起絳綸、底事包防反殺身、鼎鑊如婦綠報主、羞他肥綠避危人	蚕	梅坡
1948	沙塞風高纒帛輕、春蚕到死只吞聲、寒機未識回文字、夜々籬邊訴月明	絡緯	淮海 (21 才)
1947	熠々寒光起夕陰、搖々御照出疎林、夜來鷲地風雨惡、恍惚塔前看雨金	同	成超幾
1946	閃々孤光粗点螢、偶然依勢上青冥、天高風急身難穩、吹落林梢不是星	螢	無名氏
1945	殘光一点尚青熒、度水穿林怕月明、只恐西風零落尽、窓前空負誦書聲	秋螢	斯道
1944	秋風凜々月依々、飛過高梧影裡時、処暗若教同衆類、世間争得有人知	同	郭震
1943	度竹穿松密又疎、紗囊曾聚旧茅廬、画堂銀燭明如昼、只照笙歌不照書	同	断江 (20 才)
1942	徘徊無燭冷無煙、秋徑莎庭入夜天、休向書窓來照字、近來紅蠟滿歌筵	螢	羅鄴
1941	夕陽古木乱蟬鳴、野露充飡一腹清、若近柏梁台上宿、羽虫部裡合長生	同	徐山玉
1940	綠陰深処汝行藏、風露從來是稻粱、莫倚高枝縱繁響、也心回首顧螿螂	蟬	陸蒙老
1939	深藏高柳背斜暉、能軫孤愁減昔围、猶畏旅人頭不白、再三移樹帶声飛	晚蟬	盧隱
1938	一殼空々紙樣輕、風前却有許多声、叫來叫去渾無事、叫到詩人白髮生	同	同 (20 才)
1937	一隻初來報早秋、又添一隻說新愁、兩蟬對語双垂柳、知鬪先休鬪後休	聽蟬	誠齋
1936	露滿枯腸蛻頓輕、山林那有不平鳴、薰絃寂寞無人繞、故揖清風作頌声	同	李梅亭
1935	噪蟬声乱日初曛、絃管樓中永不聞、独奈愁人数莖髮、故園秋隔五湖雲	蟬	趙嘏
1934	碧玉眼睛雲母翅、輕於粉蝶瘦於蜂、坐來併抃波光舞、可是殷勤恋蓼叢	蜻蜓	韓偓
1933	苒々双々扒画欄、佳人欲繡再三看、莫欺翼短飛長近、試就花間捉也難	同	同 (19 才)
1932	不並難飛蠶裡哦、有花芳処即經過、天風相送輕飄去、却是蜘蛛漫織羅	胡蝶	徐演
1931	粉態凋殘抱恨長、此心応是怯淒涼、如何不管身憔悴、猶恋黃花雨後香	秋蝶	斯道
1930	銀為鬚翅玉為肌、驅役春風不解肥、桃李上林無分到、可憐只傍菜花飛	野蝶	葉靖逸
1929	翅輕於粉薄於繒、長被花牽不自勝、若信莊周尚非我、豈能投死為韓憑	蝶	荆公
1928	鬪撲花香帶露馱、來鑽枯壁作兒窠、莫嫌忙瘦成何事、罔得春風不浪過	蜂	王滄灣 (19 才)
1927	案上菖蒲抽短葉、窓前脩竹淡青霞、怪底山蜂喧永昼、飛々來探地膚花	聞蜂	常仲微
1926	蜜口伝香好信通、為花評品嫁東風、香鬚黏得花英去、疑是纏頭利市紅	蜂媒	後村
1925	不論平地与山尖、無限春光尽被占、采得百花成蜜後、不知辛苦為誰甜	蜂	羅隱

1974	紅開西子粧、樓曉、翠揭麻姑水殿寒、三月莫辭千度醉、一生能得幾回看	同	同
1973	長安豪貴惜春殘、爭賞新開紫牡丹、別有玉盤承露冷、無人起向月中看	同	無名氏
1972	閨中莫妬啼粧婦、陌上須慚傅粉郎、昨夜月明渾似水、入門唯覺一庭香	白牡丹	韋莊
1971	玉欄四面護花王、一段風流似洛陽、深院不須防野鹿、只愁蜂蝶暗偷香	同	盧梅坡宋人(24才)
1970	牡丹妖艷亂人心、一國如狂不惜金、曷若東園桃与李、果成無語自垂陰	牡丹	王叡
1969	惆悵塔前紅牡丹、晚來唯有兩枝殘、明朝風起心吹盡、夜惜衰紅把火看	惜牡丹花	樂天
1968	濃艷初開小葉欄、人々惆悵出長安、風流却是錢塘寺、不踏紅塵見牡丹	開元寺牡丹	張祐
錦囊風月卷之九 百花門			
1967	說露談風有典章、詠秋吟夏入宮商、蟬聲無一些煩惱、自是愁人枉斷腸	聽蟬	誠齋(23才)(23ウ空白)
1966	千年鼠化白蝙蝠、黑洞深藏避網羅、遠害全身誠得計、一生幽暗又如何	洞中蝙蝠	樂天
1965	越国車前矜勇甚、子陽井底太驕生、乘時不羨雲溟樂、只作儀同鼓吹聲	池蛙	宋子京
1964	虫声冬思苦於秋、不解愁人聞亦愁、我是老翁聽不畏、少年莫聽白君頭	冬夜聞虫	同
1963	聞虫唧々夜懸々、況是秋陰欲雨天、猶恐愁人暫得睡、声々移近臥床前	聞虫	樂天(22ウ)
1962	蚤蠶蜂蠹罪一倫、未如蚊子重堪噴、万枝黃落風如射、猶自佯呼欲噬人	冬蚊	秦少游
1961	磨牙吮血走群厖、那得無厭襲我床、碌々火攻雖下策、鞫囚有詔請君嘗	烘蚊	同
1960	專場背距利如針、自恃平生食肉肥、褒姒長將烽燧拳、文孫文字欲安婦	同	同
1959	煙。駢。扇。擊。手。頻。過。奈。爾。佻。呼。又。滿。衙。我。醉。不。眠。君。不。去。下。帷。高。枕。任。謹。譁	磨蚊	梅亭
1958	明比趨炎態度輕、禦人口給屢憎人、雖然暗裡能鑽刺、貪不知機竟殺身	蚊	宋謙父(22才)
1957	一騎初來隻又双、全軍突出陣成行、策助急報千夫長、渡水還爭一葦航	同	同
1956	偶爾相逢試問途、不知何事數遷居、微軀所饌能多少、一獵婦來滿後車	觀蟻	同
1955	網羅最密是蛛糸、却被秋蚊聖得知、粘着便飛來不再、蛛糸也解有疎時	同	同
1954	空中仰面却翻身、寂似毘耶不動尊、忽有一蚊來觸網、手忙脚亂便星奔	觀雨中蛛糸	誠齋
1953	蜘蛛作網祇愁疎、密了還遭小雨余、漏却飛虫渾細事、無妨網得万真珠	觀簷間蜘蛛	誠齋(21ウ)
1952	静看簷蛛結網低、無端妨礙小虫飛、蜻蜒倒掛蜂兒窘、催喚山童為解圍	簷蛛	石湖
1951	空裡游糸十丈長、直垂一顆絳紗囊、儂無喜事何須爾、往報槐花拳子忙	紅蛛	王臈軒

2001	陰陽、為炭地、為炉、	鑄出金錢不用模、	漫向人前逞顏色、	不知還解濟貧無	金錢花	皮日休 (27 才)
2000	晴日当楼眺香歇、	錦帶盤空欲成結、	鶯聲漸老柳飛時、	狂風吹落猩々血、	紅薔薇	僧齊己
1999	紫透紅殷態度陳、	露葵生色借芳新、	春風便是黃金屋、	羞殺黃金屋裡人	同	同
1998	窓風一綫度晴熏、	晚韻繁香態度新、	々压屠蘇湛華玉、	右壺斜插淺浮春	黃薔薇	积居簡
1997	洛本空藏画牡丹、	海棠出蜀近心難、	莫嫌村巷薔薇野、	春晚猶堪取意看	同	倪魯玉
1996	一架長条万朵春、	嫩紅深綠小窠勻、	只。心。根。下。千。年。土、	曾。葬。西。川。織。錦。人	同	李益 (26 才)
1995	采々精神葉々柔、	雨晴香扨醉人頭、	石家錦障依然在、	閒倚東風夜不收	同	杜牧
1994	錦窠花朵燃叢醉、	翠葉眉稠裏露垂、	莫引美人來架下、	恐驚紅片落燕支	同	陸暢
1993	濃似猩々初染素、	輕於燕々欲凌空、	可憐細麗難勝日、	照得深紅作淺紅	薔薇	皮日休
1992	夢裡春婦總不知、	金沙压架尚低歌、	曉來風惡應飄尽、	分我紅香一兩枝	乞金沙	林子來
1991	茶靡結屋是何年、	風雨摧頹為愴然、	飛似綠珠楼上墜、	困於畢卓甕間眠	同	盧梅坡 (26 才)
1990	想見君家庄架春、	一枝聊慰草堂人、	卿來桃李渾無味、	合与梅花作後身	同	林季謙
1989	綠鬢榮風春恨長、	高台曉日倦新粧、	喚將梅藥要同韻、	羞殺梨花不解香	同	晁詠之宋人
1988	平生為愛此香濃、	仰面常迎落架風、	每到春婦有遺恨、	典刑猶在酒盃中	同	韓持国宋人
1987	雪顆雲条一架春、	酒中風度夢中聞、	東君不是無顏色、	過却梅花更到君	茶靡唐寒食宴宰相用——酒——本酒名	盧祖皋唐人
1986	阿姨天上舞霓裳、	姊妹庭前剪雪霜、	要与牡丹為近侍、	鉛花不御学梅粧	白芍藥	同 (25 才)
1985	從微至老走風塵、	喜見鄉園第四春、	獨舞東風醉西子、	政緣無語却宜人	謝趙生惠芍藥	陳後山宋人
1984	綠原青壘漸成塵、	汲水開園日々新、	四月帶花移芍藥、	不知憂国是何人	早甚見樞門移芍藥花	呂温
1983	素瓊紅玉暈輕盈、	落々層々傍砌明、	大雅不収成謾与、	定隨姿態昧脩名	同	积居簡宋人
1982	嫋綠妖紅一樣新、	一心薰面已陳人、	知君欲見梅花賦、	故肯霜刀特送春	芍藥	林季謙宋人
1981	縹葉細叢照碧欄、	幾春都未見殷鮮、	栽培不得華映地、	豈是東君用意偏	牡丹	石舍人 (25 才)
1980	蟾精雪魂采雲萼、	春入香腴一夜開、	宿露枝頭藏玉塊、	暖風庭面搗銀盃	白牡丹	歐陽永叔
1979	千山颯々雨兼風、	憔悴群芳二月中、	整待人家春事過、	小亭特放状元紅	清明後聞隣莊牡丹尽落館中独遲雨晴忽開一枝詠以志見	范德機元人
1978	花譜名將第一論、	開時難似此花繁、	不当便道木芍藥、	枝上恐傷妃子魂	長樂寺老牡丹	李建中
1977	不管鶯声向曉催、	錦衾春晚尚成堆、	香紅若解知人意、	睡取東君不放回	詠錦被堆	韓忠獻
1976	香玉封春未啄花、	露根烘曉見纖霞、	自非水月觀音樣、	不称維摩居士家	同	朱淑真宋人 (24 才)
1975	漫山桃李占春光、	始見檀心吐露芳、	花。骨。不。禁。寒。料。峭、	多。煩。曉。日。為。催。粧	同	開元明公



2028	牡丹殊絕委春風、 露菊蕭疎怨晚叢、 何似此花榮艷色、 四時長放淺深紅	四季花	韓魏公
2027	老去能逢幾個春、 今年春事不關人、 紅千紫百何曾夢、 壓尾桐花也俗塵	同	楊誠齋
2026	猗々小艷夾通衢、 晴日薰風笑越姝、 只是紅芳移不得、 刺桐屏障滿中都	刺桐花	陳陶 (29ウ)
2025	緇雲淺抹襯中單、 蘇石蒙茸伴月寒、 欲與南枝分伯仲、 為兒恐自季方難	石罅水仙	釈居簡
2024	玉困金鈿值難論、 浪礙梅簪作弟昆、 不有涪翁憐寂寞、 天寒誰為賦招魂	同	同
2023	露瀉金盃玉液新、 凌波誰賦襪生塵、 建安才士風流遠、 空向山陰寫洛神	同	僧一初明人
2022	澹綠衣裳白玉膚、 近人香欲透衣襦、 不嫌破屋颼々甚、 肯與寒梅作伴無	同	呂居仁宋人
2021	明月珠衣翡翠裳、 冰肌玉骨自清涼、 不隨王母瑤池去、 來待維摩病几傍	同	同 (29才)
2020	海上三山壁月明、 人間誰識許飛瓊、 秋風吹上青鸞背、 來散天香與素英	同	商挺元人
2019	白玉盤中金屈卮、 草間相揖醉淋漓、 先生欲問神仙事、 不記當年水解時	同	洪竹窓宋人
2018	早於桃李晚於梅、 冰雪肌膚姑射來、 明月寒霜中夜靜、 素娥青女共徘徊	同	劉貢父
2017	江妃虛却藥珠宮、 銀漢仙人謫此中、 偶趁月明波上戲、 一身冰雪舞春風	同	同
2016	額間私殺御袍黃、 衣上偷將月姊香、 待倩東風作媒却、 西湖嫁與水仙王	水仙花	楊誠齋 (28ウ)
2015	紫芝琪樹謾前開、 未若茲花叶氣薰、 種向春台豈無象、 望中秀色似鄉雲	太平花	郭震
2014	冰為肌骨玉為神、 畏日炎々色更新、 香透煙襟伝羽箑、 相逢寧解兩眉顰	大笑花	同
2013	粉翼紛紛簇幾叢、 搖風欲起壳花翁、 詩眸覽倦方欲枕、 栩栩猶疑在夢中	同	楊巽齋
2012	誰唱殘春蝶恋花、 一团粉翅压枝斜、 美人欲向釵頭插、 又恐驚飛鬢裡鴉	万蝶花	蘇穎浜
2011	雪霜雨露平分尽、 旧紫新紅次第開、 自是余花芳意薄、 那知春去不重来	長春花	劉贛父宋人 (28才)
2010	小似釵頭縷粟金、 不將紅淺笑紅深、 虛名冗到閑花草、 寂寞朝陽采羽瘖	鳳兒花	釈居簡
2009	香紅嫩綠共開時、 冷蝶飢蜂兩不知、 此際最宜何處看、 朝陽初上碧梧枝	鳳仙花	徐凝
2008	一段天機織麗春、 錦坊花樣鬪時新、 不然金谷繁華地、 步障香風列舞茵	麗春花 此花一根而數色真有可觀者	魏梅墅
2007	細看金鳳小花叢、 費尽司花染作工、 雪色白辺袍色紫、 更饒深淺四般紅	金燈花	李義山 (27ウ)
2006	蘭膏熬処心猶淺、 銀燭燒殘焰不馨、 好向書生窓畔種、 免教辛苦更囊螢	同	同
2005	巧冶都由造化妒、 風磨雨洗好形模、 花神果有神通力、 買斷春光用得無	同	章芸齋
2004	名貴已居三品上、 值高仍在五銖先、 春來買斷深紅色、 燒得人心似火然	同	石懋
2003	輪郭休誇四字書、 紅窠写出对庭除、 時々買得佳人笑、 本色金錢却不如	同	盧子癸
2002	也無稜郭也無神、 露洗還同鑄出新、 青帝若教花底用、 牡丹底是得錢人	同	邵清甫宋人

2029	誰把風刀碎薄羅、極知造化着工多、飄零易逐春光老、公子樽前奈若何	剪春羅花	(ナシ)
2030	紛紛紅紫競芳菲、爭似困酥越樣奇、料想花神間戲擊、誤隨風起墜繁枝	玉繡毬	楊巽齋
2031	琢玉英標不染塵、光涵月影愈清新、青皇宴罷呈余技、拋向東風展轉頻	衰繡毬	同(30才)
2032	素娥昔日宴仙家、醉裡從他寶髻斜、遺下玉簪無覓處、如今化作一林花	玉簪花	震齋
2033	露染初開月滿壇、垂々敲折白琅玕、仙人乞我一簪玉、為參蓮花九葉冠	同	馮雲月
2034	織錦天孫矮作機、紫茸翻白了花枝、更將沈水濃薰却、日淡風微欲午時	瑞香花	楊廷秀
2035	覓得孤芳瓦缶栽、三花着紫雪時開、雖然未學熏籠錦、已有幽香撲硯來	小盆瑞香始放	僧斯道
2036	聞道仙花正染紅、別留春色在壺中、瑤台若見飛瓊面、不與人間夢寐同	瑞香花	李觀(30ウ)
2037	折來隨意插銅壺、能白能香雪不如、匹似梅兄輸一着、枝肥葉密欠清癯	山礬花又名鄭花又名七里花 鄒子順	張季靈
2038	漫山白藥殿春華、多貯清香野老家、頻向風前招蝶使、密通家籍省梅花	同	方秋崖宋人
2039	只有江梅合是兄、水仙終似鏡夫人、季方政爾難為弟、每恨詩評未逼真	同	祝和父
2040	玲瓏葉底雪花寒、春昼香薰草木間、移植小軒供宴坐、恍疑身在普陀山	同	張芸叟宋人(31才)
2041	風中的礫月中香、解作人間五月寒、一似漢官梳洗了、玉瓏葱壓翠雲冠	真珠花	同
2042	千璣万瑋照庭除、細雨斜風扞座隅、莫道長安貧似磬、綠階繞砌尽真珠	同	同
2043	累々花發暎庭除、柳帶榆錢綫不如、一任春風吹滿地、幽人步履自虛徐	同	楊巽齋
2044	花發朱明雨後天、結成紅顆更輕圓、人間熱惱誰豎得、正要清香淨業緣	南天竺花	同
2045	恰匝枝頭簇絳英、朱髹梵器出天成、檻邊更種蜜姜葉、依約如婦仏手擎	紅鉢盂花	同
2046	一樹瓏懸玉刻成、飄廊点地色輕々、女冠夜覓香來處、唯見階前碎月明	玉藥花	王建(31ウ)
2047	琪樹年々玉藥新、洞宮長閑彩霞春、日暮落英鋪地雪、獻花無復九天人	同	武元衡
2048	芳意將闌風又吹、白雲離葉雪辭枝、集賢讐校無閑日、落尽瑤花君不知	惜玉藥花有懷集賢王校書起	白樂天
2049	月下看花々氣清、羨君不飲更分明、五雲破曉廻歸馬、疑上天邊碧玉城	瓊花露	袁伯長元人
2050	十二街中何限草、燕翥尽欲占殘春、黃花撲地無窮極、愁殺江南去住人	燕翁花	李郢
2051	露凝丹臉粲芳肌、不御鉛華亦自奇、強学海棠春睡足、如何学得未醒時	躑躅	积居簡(32才)
2052	一園紅艷醉坡陀、自地連梢簇旧羅、蜀魄未歸長滴血、祇心偏滴此叢多	杜鵑花	韓偓
2053	雪樹重々和淚冷、故宫遺廟有知音、秦吳万里皆芳草、染得山花恨最深	白杜鵑花	趙成德
2054	春山未有杜鵑啼、花發杜鵑知不知、寄語催歸儘哀怨、莫將啼血汚仙姿	同	同
2055	蜀国曾聞子規鳥、宣城還見杜鵑花、一叫一廻腸一断、三春三月憶三巴	杜鵑花	李太白

- 2056 嫩玉温柔淨弗瑕、涼雲綴葉借春華、水風池閣簾櫳靜、小試微薰着一花  
 2057 清淨法身如雪瑩、肯來林下現孤芳、对花六月無炎暑、省爇銅匱幾炷香  
 同 蔣梅辺  
 2058 羞將姿媚隨花譜、愛伴孤高上月評、独恨遇寒成弱植、色香殊不遜梅兄  
 素馨花——旧名那悉茗昔劉王有侍女名——其家上生此花因以得名龜山志 傅止齋  
 2059 分紅問白汀洲晚、拜雨掛風江漢秋、看誰耐得清霜去、却恐芦花先白頭  
 蓼花 劉後村宋人  
 2060 紛紛晴雪滿汀洲、風急吹花喚客愁、却訝酒醒迷望眼、夕陽飛絮送行舟  
 芦花 同  
 2061 夜々燈花巧勝裁、家書準擬傍秋開、雁來紅葉都紅了、目斷西風雁不來  
 雁來紅 积居簡 (33才)  
 2062 澹然相对却成勞、月染風裁个々高、似說玉皇親謫墮、至今猶着水霜袍  
 白芙蓉 陸龜蒙  
 2063 白髮飄蕭一病翁、暮年身世葉瓢中、芙蓉牆外垂々發、九月憑欄未怯風  
 芙蓉 陳去非宋人  
 2064 雲袂飄搖翠佩環、仙姿綽約紫霞冠、雖然謫在西風裡、合作人間小牡丹  
 同 盧梅坡  
 2065 種処雪消春始動、開時霜落雁初過、誰栽金菊叢相近、織出新番蜀錦窠  
 木芙蓉 歐陽永叔  
 2066 九月襄王宴渚宮、霓裳翠羽度雲中、滿汀山雨衣裳濕、宋玉愁多賦未工  
 同 虞伯生元人 (33才)  
 2067 長洲宮沼醉西施、蕩漾蘭舟不自持、願奉君王千歲樂、一盤清露玉淋漓  
 水芙蓉 王介甫  
 2068 水边無數木芙蓉、露滴臙脂色未濃、正似美人初醉着、強擡青鏡晚粧慵  
 木芙蓉 同 劉後村  
 2069 池上秋開一兩叢、未妨冷淡伴詩翁、而今縱有看花意、不愛深紅愛淺紅  
 同 黃芙蓉 朱淑真  
 2070 如何天賦与芬芳、徒作佳人淡泞粧、試倩東君一為主、輕黃底不讓姚黃  
 同 彭城翁 (34才)  
 2071 木末芙蓉九月繁、寂寥芳意逼霜寒、青苔綠樹無人境、南嶽仙翁黃玉冠  
 同 九藥芙蓉 同  
 2072 託根不近芙蓉苑、移植猶依瘴癘鄉、並藥連心九相似、看來還使九廻腸  
 同 拒霜花芙蓉 王荊公  
 2073 落尽群花独自芳、紅英渾欲拒嚴霜、開元天子千秋節、威里人家綴露囊  
 秋朝木芙蓉 趙彦昭  
 2074 水面芙蓉秋已衰、繁条偏是着花遲、平明露滴垂紅臉、似有朝愁暮落時  
 芙蓉 同 謙了仁  
 2075 小嶂鳴鶻迅去程、群仙宴餞向津亭、却嫌祖帳金風冷、綠姦紅嬌作軟屏  
 同 同  
 2076 一叢濃艷对秋光、露滴風搖倚砌傍、晚景乍看何処似、道家新染紫羅裳  
 同 同  
 2077 秋光及物眼猶迷、着葉婆娑擬碧鷄、精采十分伴欲動、五更只欠一声啼  
 同 同 趙循道  
 2078 未鷄不与衆鷄同、曾逐旌陽上碧空、学得仙家漁玉法、至今木血不能紅  
 白鷄冠花 趙山台  
 2079 花近東溪居士家、好携樽酒款携茶、玉皇收拾還天上、便恐筠陽無此花  
 白山茶花 俞国宝  
 2080 山家春早擷旗槍、别有千苞賞絳房、省見班々高二丈、夜深烽火乱池光  
 山茶花 羅隱  
 2081 江南池館压浮紅、零落山煙山雨中、却是北人偏愛惜、数枝和雪上屏風  
 同 陶商翁宋人 (35才)  
 2082 東園三日雨兼風、桃李飄零掃地空、惟有山茶偏耐久、綠叢又放数枝紅  
 同 同 放翁

2109	秋叢遶舍似陶家、 遍遶籬邊日漸斜、 不是花中偏愛菊、 此花開盡更無花	菊	元稹
2108	華省當時綠鬢郎、 金樽美酒醉紅芳、 今日對花不成飲、 春愁已與草俱長	迎春花	王岐公
2107	小院無人春意濃、 凌風傲日出牆陰、 只應落在山儒手、 那得王孫為賞音	同	同
2106	習々東風二月余、 此花宜近玉庭除、 美人雲鬢不宜插、 猷與觀音作手炉	玉手鑰花	翁元広 (37ウ)
2105	虞舜南巡去不歸、 二妃相誓死江湄、 空余万古香魂在、 結作双葩合一枝	合歡蓮華	韋莊
2104	嬌紅姪不勝姿、 只許行人半面窺、 恰似姑蘇明月夜、 水晶宮殿貯西施	蓮華	趙竹隱
2103	一樣娉婷絕代無、 水宮魚貫出瓊鋪、 緣何買得凌波女、 為有荷盤万斛珠	同	鄭安晚
2102	吳姬一曲採蓮歌、 回首秋風捲碧波、 翠蓋不能擎雨露、 鴛鴦應怨夜寒多	早蓮	积居簡
2101	芙蓉照水弄嬌斜、 白々紅々各一家、 近日司花出新巧、 一枝能着兩盤花	白蓮	杜祁公 (37才)
2100	脈々低回殿袖遮、 眼橫秋水髻盤鴉、 蓮茎有刺不成折、 尽日岸傍空看花	蓮花	孟遲
2099	萍黏古瓦水涵天、 數葉田々貼小錢、 才大古來無用處、 不須十丈藕如船	盆荷	积居簡
2098	紅錦機空水国窮、 軫頭千蓋偃秋風、 鴛鴦一段榮枯事、 都在沙鷗冷眼中	敗荷	黃濟可
2097	千頃芙蓉放棹嬉、 花深迷路晚忘歸、 佳人看識舟行處、 時有驚鴛水鴨飛	賞荷	范大成宋人
2096	秋日南湖戲采蓮、 鴛鴦飛上木蘭船、 一声白紵知何處、 無復閒情似少年	過南湖戲折藕花	吳植子立 (36ウ)
2095	月到軒窗午夜涼、 荷花數朵伴清觴、 剪時莫剪亭亭翠、 減却鴛鴦夢裡香	折荷花	陳藍山
2094	五月荷池未見花、 但擎余蓋碧參差、 何人喚起凌波步、 要未新粧出曉霞	荷花	任斯庵宋人
2093	漢室嬋娟双姊妹、 天台縹緲兩神仙、 當時尽有風流過、 謫向人間作瑞蓮	双頭蓮	邵康節
2092	菡萏新花曉並開、 濃粧美笑面相隈、 西方采画嘉陵鳥、 早晚双飛池上來	詠双開蓮花	劉商
2091	移舟水濺差々綠、 倚檻風斜柄々香、 多謝浣紗人莫折、 雨中留得蓋鴛鴦	蓮葉	鄭谷 (36才)
2090	幽香双綻絳羅裳、 笑殺徐妃半面粧、 想見霜刀費天巧、 染根應不待韓郎	双頭蓮	林季謙
2089	芙蓉耐夏復宜秋、 一種今年已滿溝、 南蕩東陂無此物、 但隨深淺見游儻	芙蓉	王荆公
2088	南薰独擅水雲鄉、 不許人間別有香、 是草是花開一遍、 春風却自欠商量	觀蓮	方巨山宋人
2087	綠塘搖灩接星津、 軋々蘭橈入白蘋、 心為洛神波上襪、 至今蓮藥有香塵	同	温庭筠
2086	円緑風翻翡翠雲、 嬌紅露淡石榴裙、 采蓮声隔花深处、 应有鴛鴦夢裡聞	同	僧雪岑宋人 (35ウ)
2085	一池芳日上簾鉤、 荷氣蒸人醉不收、 藕欲作舟花作屋、 更和風露管清秋	同	僧橘洲宋人
2084	風露青冥水面涼、 旋移野艇受清香、 猶嫌翠蓋紅粧句、 何況人言似六郎	荷花	放翁
2083	景物詩人見即誇、 豈憐高韻說紅茶、 牡丹枉用三春力、 開得方知不是花	紅茶花	司空圖

2136	竹底松根慣寂寥、肯随桃李媚兒曹、高名压尽離騷卷、不入離騷更自高	同	僧元肇 (40ウ)
2135	蕭艾敷榮各有時、深藏芳潔欲奚為、世間鼻孔無憑拋、且伴幽窓讀楚辭	蘭花	劉後村
2134	艾擁蕭凌雪未消、帶連芳萼闔春饒、国香不似傾城色、寂寞空山大小喬	双頭蘭	僧北磻
2133	色黄新嫩欲題詩、尽日含毫有所思、記得玉人初病起、道家粧束压禳時	黄蜀花	薛能
2132	北牖開処葉森々、政以多花負賞音、小智区々能衛足、孤忠耿耿祇傾心	同	松年金人
2131	植物雖微性有常、人心翻覆至難量、李陵衛律陰山死、不似葵花識太陽	葵花	劉後村 (40才)
2130	此花莫遣俗人看、新染鶯黄色未乾、好逐秋風上天去、紫陽宮女要頭冠	黄葵花	李涉
2129	黄葵貴麗不天饒、一朵新晴松外高、還似邇英臨黼座、朦朧曉日照天袍	葵花	宋景文
2128	紅蓼黄花取次秋、籬笆处处碧牽牛、風煙入眼俱成趣、祇恨田家歲薄収	同	徐橋隱宋人
2127	凹似流錢碧剪紗、墻頭藤蔓任交加、天孫滴下相思淚、長向秋深結此花	同	林岫山
2126	莫咲渠儂不服箱、天孫為織碧雲裳、浪言偷得星橋巧、只解氷盤染此薑	同	楊誠齋 (39ウ)
2125	銀漢初移漏欲殘、步虛人倚玉欄干、仙衣染得天辺碧、乞与人間向曉看	牽牛花	秦少游宋人
2124	青花綠葉上疎籬、嫋々長条竹尾垂、老覺淡粧差有味、滿身花露立多時	同	姜白石宋人
2123	曉思款欣晚思愁、繞籬繁架太嬌柔、木犀未發芙蓉落、買斷西風恣意秋	同	楊誠齋
2122	一泓天水彩銖衣、生怕紅埃透日飛、急整離々蒼玉佩、曉雲光裡渡河湄	牽牛花	施東洲宋人
2121	玉環一点旧香魂、流落東籬草樹根、猶作霓裳嬌媚態、零紅墜粉濕秋痕	楊妃菊	張方叔 (39才)
2120	桃葉桃根逐水流、冷煙涼月幾番秋、籬邊強作春風面、滿地黄金不替愁	桃紅菊	僧淮海
2119	不染東籬一樣黄、枝頭瑣細白而香、誰將茉莉相評品、未必蓮花似六郎	茉莉菊	同
2118	一段風流玉琢成、開從霜後越精神、休嫌茉莉非吾配、曾見張良似婦人	同	潘紫岩
2117	落拓山園載酒來、江梅含雪倚春台、黄花無籍秋光老、猶自離披帶雨開	十月見雪	趙信庵宋人 (38ウ)
2116	先生嗜菊々中仙、不把東籬博秫田、九日於中誰不愛、勤儉或可得延年	壳菊	同
2115	故国風煙幾換秋、今年看菊御街頭、長安市上人無數、只買秋光不買愁	別菊	僧淮海
2114	世情遷變總由他、冷眼相看只此花、露葉霜枝愁不語、主人明日又天涯	詠菊	王介甫
2113	補。落。迦。山。伝。得。種。闔。浮。檀。水。染。成。花。明。光。一。室。真。金。色。復。似。毘。耶。長。者。家。	詠菊	王介甫
2112	鶯。樣。紅。裳。錢。樣。裁。冷。霜。涼。露。澗。秋。埃。比。他。紅。紫。開。差。晚。時。節。來。時。畢。竟。開。	黄菊	楊誠齋
2111	忙裏何曾把酒卮、一秋心事付東籬、等閒心被西風咲、老却黄花未有時	同	王臞軒宋人 (38才)
2110	物性從來各一家、誰貪寒瘦厭妍華、菊花自挾風霜国、不是春光外菊花	同	楊誠齋

2163	何年植向仙壇上、早晚移栽到梵家、雖在人間人不識、与君名作紫陽花	紫陽花	白樂天
2162	瓊枝的皦露珊珊、欲折如披雪彩寒、閑拈朱房何所似、綠山偏映日輪殘	玉蕊花 木槿花也	薛濤
2161	紫房日照燕脂拆、素艷風吹膩粉開、怪得獨饒脂粉色、木蘭曾作女郎來	戲題木蘭花	同 (43 才)
2160	秋薜晚、英無艷色、何因栽種在人家、使君只別羅敷面、爭解回頭愛白花	白槿花	白居易
2159	朱槿移栽穠梵中、老僧非是愛花紅、朝開暮落渾閑事、祇要人知色是空	朱槿花	僧紹陸
2158	人間花木眼曾經、未識斯花狀与名、丹却青山暮春色、繞他紅樹墮時英	山丹花	翁元広
2157	露洗芳容別種青、牆頭微弄晚風輕、不須強入群芳社、花譜元無汝姓名	碧蟬兒花	楊巽齋
2156	風標雅合對詞臣、映硯窺窓伴演綸、忽發一株深谷裡、似知茆屋有詩人	同	劉後村 (42ウ)
2155	糸綸閣下文書靜、鐘鼓樓前刻漏長、獨坐黃昏誰是伴、紫微花對紫微郎	紫微花 俗所謂白瘁花也	白居易
2154	展樣山茶染不如、宮黃齊撚牡丹鬚、不忻宿雨曠晴露、玉袖垂紅讓絳襦	月丹	僧北礪
2153	丹葩点漆細馨浮、蒼葉輕排指樣柔、香案淨瓶安頓了、還能摩頂濟人不	仏手花	楊監丞
2152	翻々鉅扇緑油乾、搖動天風六月寒、畢竟本心無一事、分明開与世間看	芭蕉	吳鍾陸
2151	冷燭無煙緑蠟乾、芳心猶倦怯春寒、一緘書札藏何事、会被東風暗拆看	未展芭蕉	錢珣 (42才)
2150	瓦溝月暗乱螢飛、照見芭蕉葉上詩、憶得前時吟最苦、自携殘燭扞蛛糸	同	僧藏叟 宋人
2149	水痕天影淡相宜、露坐天涼乍快時、桐葉芭蕉最多事、曉昏風雨報人知	同	畢公叔
2148	骨相玲瓏透八窓、花頭倒插紫荷香、繞身無數青羅扇、風不來時也不涼	芭蕉	楊廷秀
2147	万重青嶂蜀門口、一樹紅花山頂頭、春尽憶家婦未得、低紅如解替君愁	山枇杷花	白居易
2146	柔枝濕艷並朱欄、暫作庭芳便欲殘、深藏數片將婦去、紅縷金針繡取看	看山木瓜花	劉言史 (41ウ)
2145	所重晚芳聊在目、可閑愁色易為花、深枝冉冉裝溪翠、碎片英々剪海霞	同	林和靖 宋人
2144	曾見南朝画国娃、古羅衣上碎明霞、而今莫共金錢闕、壳却春風是此花	同	陸龜蒙
2143	麝香眠後露檀勻、繡在羅衣色未真、斜倚細叢如有恨、冷搖數朶欲無春	石竹花	王文公
2142	嫋々枯藤淺絳葩、貧緣直上照殘霞、老僧不作依附想、將謂青松自有花	凌霄花 為復上人作	趙東閣 宋人
2141	刻玉雕瓊作小葩、清姿元不受鉛華、西風偷得余香去、分与秋城無限花	同	趙福元 宋人 (41才)
2140	露華洗出通身白、沈水熏成換骨香、近說根苗移上苑、休慙系出本南荒	同	葉庭珪
2139	香巖童子沈熏鼻、姑射仙人雪作膚、誰向天涯取落藥、發君顏色四時朱	同	王右丞
2138	靈種伝聞出越裳、何人提挈上蛮航、他年我若修花史、列作人間第一香	茉莉花	江奎
2137	幽花一似古君子、色不媚人唯有香、奈爾春風無好醜、故令荆棘過渠長	感蘭	僧道原 元人

2190	梅太酸寒蘭太清、海棠方可入丹青、趙昌骨朽徐熙死、誰写春風上錦屏	海棠	劉後村
2189	誰遣秋風開此花、天香来自玉皇家、鬱金裳、浥、薔、薇、露、知是、仙人、夢、綠、華	木犀	方秋崖
2188	拚却杖頭沽酒物、湖邊博得木犀花、西風可是無拘束、一夜吹香直到家	壳木犀花	周端臣宋人
2187	夢騎白鳳上青空、徑度銀河入月宮、身在廣寒香世界、覺來簾外木犀風	凝露堂木犀	楊廷秀
2186	輕薄西風未辨霜、夜揉黃雪作秋光、吹殘六出猶余四、匹似天花更着香	詠木犀	謝無逸宋人 (45ウ)
2185	彈压西風擅衆芳、十分秋色為誰忙、一枝淡貯書窓下、人与花心各自香	同	同
2184	月待凹時花正好、花將殘後月還虧、須知天上人間物、同稟秋清在一時	同	朱淑真
2183	雪花四出剪鷺黃、金粟千粧糝露囊、看去看来能幾大、如何着得許多香	同	楊廷秀
2182	金粟如來古仏裝、愛、燒、沈、水、供、諸、方、西、風、散、作、曼、陀、雨、遍、滿、三、千、世、界、香	木犀花	李商隱
2181	金谷園林知幾家、競栽桃李作生涯、無人得似天公巧、明月中間種桂花	桂花	戴石屏 (45才)
2180	軒陰冉冉移斜月、寒韻冷々入晚風、煙格月姿曾不改、至今猶似在山中	初植松桂	陸龜蒙
2179	玉顆珊珊下月輪、殿前拾得露華新、至今不会天中事、心是姮娥擲与人	天竺寺桂子	皮日休
2178	纔言自古架空虛、惹、苾、苾、珠、偶、似、珠、半、夜、庭、中、金、屑、滿、老、夫、明、日、費、分、疎	桂	劉後村
2177	歲華翻手又淒涼、世味令人鬢欲霜、淚眼見花愁入骨、西風吹去為誰香	同	林季謙
2176	淪雪凝酥点嫩黃、薔薇清露染衣裳、西風掃尽狂蜂蝶、独伴天边桂子香	同	謝元逸宋人 (44ウ)
2175	露粟藏金一半開、層々碧玉映樓台、西風昨夜吹香過、人在欄干待月來	桂花	何応龍宋人
2174	遙知天上桂花孤、試問常娥更要無、月宮幸有閑田地、何不中央種兩株	東城桂	白居易
2173	春風滿面喜津津、縱有癡拳不忍嗔、尚恐傍觀安注脚、咲他何事与何人	咲花	劉後村
2172	大咲何如小咲香、紫花不似白花粧、不知自咲還相咲、咲殺人來斷殺腸	同	同
2171	秋來一咲再芬芳、紫。咲。何。如。白。笑。強。只有此花偷不得、無人知処忽然香	同	楊廷秀 (44才)
2170	猷咲佳人絕可憐、姿々压輔巧承歡、一枝不用千金買、雨洗風吹却粲然	含咲花	許仲啓
2169	肥、樣、瑠、成、玉、色、仙。碧、瑤、幢、裡、架、嬋、娟、道、渠、解、咲、何、曾、笑、只、合、更、名、小、白、蓮	同	蕭大山宋人
2168	薰風破曉碧蓮蒼、花意猶低白玉顏、一粲不會容易發、清香何日徧人間	白含笑花	楊廷秀
2167	滿庭黃色抑何深、一滴梅霖一滴金、莫使貪夫來見此、聞名亦起覬覦心	滴々金花	謝幼槃
2166	廣寒宮闕月樓台、露裡移根月裡栽、品格雖同香氣俗、如何却共牡丹開	木香花	張浮休 (43ウ)
2165	万釘簇錦若垂紳、圍住東風穩称身、聞道沈腰易寬減、何妨留与繫青春	同	楊巽齋
2164	一堆絳雪庄春叢、嫋々長条弄晚風、借問開時何所似、似將繡被覆薰籠	錦帶花又名海仙花	王元之

2217	占斷江南第一春、偏同雪月鬪精神、東君曾許殘花片、粧点寿陽宮裡人	同	同	同
2216	竹友当年已化龍、松朋久亦受秦封、此花有味調無鼎、且吐芳心過一冬	同	同	僧雪岑 (48 ㄩ)
2215	一樹寒梅白玉条、迥臨村路傍溪橋、不知近水花先發、疑是絳春雪未消	同	同	戎昱
2214	梅雪爭春未肯降、騷人閣筆費平章、梅須遜雪三分白、雪亦輸梅一段香	同	同	盧梅坡
2213	霜冷雲寒特地開、高標元是衆芳魁、靈均不敢輕題品、誰道離騷忘却梅	梅	同	趙君室
2212	紫粉筆含尖火焰、紅臙脂染小蓮花、芳情香思知多少、惱得山僧悔出家	辛夷花	花落無子夏秋再着花北人呼為木筆	白居易
2211	九州瑞露滴成芽、不是楡花即桂花、星女月娥宮不鎖、天風吹落俗人家	滴露花	陶弼 (48 才)	
2210	空谷嫣然笑靨開、春風元自蜀山來、少陵忘汝渾閑事、更有離騷忘却梅	海棠	陳後山	
2209	江東遺跡在錢塘、手植庭花滴鼎香、若使当年居顯位、海棠今日是甘棠	題錢塘景羅江東手植海棠	王禹偁	
2208	紅雲煖壓草玄池、宮燭伝榆夜更奇、空掩沈香亭北恨、玉環宿酒未醒時	問伝庵海棠消息	僧北磻	
2207	小春破白惟梅耳、点檢南枝花尚遲、似是天工薄寒素、東風先到海棠枝	十月海棠	鎮景安宋人	
2206	蜀妃夜謁紫虛皇、玉鳳參差趣晚裝、宴罷瑤池方熟醉、胭脂臉上白雲香	雪裡海棠	王子信 (47 ㄩ)	
2205	別園水竹絕幽清、花徑繁紅蘚砌青、何処貴游開步障、誰家生色画深屏	同	同	
2204	薔薇難比况金沙、一種風標富貴家、我有公評君記取、惜花須惜海棠花	同	同	
2203	顛風猛雨阻追攀、欲問春留數日間、過眼紅雲成白雪、到晴只恐没花看	同	同	
2202	幾樹繁紅映碧灣、苧羅山下見芳顏、分明消得黃金屋、却墮荒蹊野徑間	同	同	劉後村
2201	名園封殖幾絳春、露蘂煙梢画不真、多謝許昌伝雅什、蜀都曾未遇詩人	同	同	賈島 (47 才)
2200	濃淡芳春滿蜀鄉、半隨風雨斷鶯腸、浣花溪上堪惆悵、子美無情為發揚	同	同	鄭谷
2199	蜀地名花擅古今、一枝氣可压千林、譏彈更到無香處、常恨人言太刻深	同	同	周南峯
2198	憶向宣華夜倚欄、花光妍暖月光寒、如今颺颺嫌風露、且只銅瓶滿插看	同	同	陸務觀
2197	海棠默々要詩催、日暮紫綿無敢開、欲識此花奇絶處、明朝有雨試重來	同	同	陳去非
2196	幾多紅紫赴晨粧、少得嬌羞似海棠、自是東君分處劣、饒他顏色減他香	同	同	黃書隱宋人 (46 ㄩ)
2195	移根千里入名園、酒暈紅嬌氣欲昏、待得太真春睡足、風光已不似開元	同	同	陳三嶼宋人
2194	昭陽殿裡醉含情、三十六宮顏色輕、幾向春風憐薄命、少陵詩史不書名	同	同	僧淮海
2193	万里橋西老拾遺、兵戈流涕念時危、海棠雖好無心看、正自悲吟病橘詩	同	同	同
2192	杜甫從前著句難、紫綿嬌色靠欄干、春風不是開元樣、莫作真妃睡起看	同	同	王橘林
2191	梅太清癯桃太肥、不濃不淡此花宜、何人筆下有香字、為杜陵翁補逸詩	同	同	王臞軒宋人 (46 才)



2244	踏破溪邊一徑苔、好山好水少人來、有梅花處惜無酒、三嗅清香當一杯	山中見梅	同
2243	靠負溪邊雪與梅、怕寒不肯出門來、欲邀鄭老同清賞、爭得梅花六月開	雪裡觀梅	戴石屏
2242	咸平處士風流遠、招得梅花枝上魂、疎影暗香如昨日、不知人世幾黃昏	孤山看梅	徐抱独宋人
2241	梅花門戶雪生涯、皎潔窓櫺自一家、怪得香魂長入夢、三生骨肉是梅花	雪後開窓看梅	丁直卿 (51才)
2240	淒涼池館欲栖鴉、彩筆無心賦落霞、惆悵後庭風味薄、自鋤明月種梅花	種梅	劉翰宋人
2239	十年夜坐眼如魚、老矣而今不讀書、墻角短檠還有用、瓦瓶相對一枝疎	燈下梅影	李灑金人
2238	憶昔神遊姑射山、夢中栩栩片時還、水膚不許尋常見、故隱輕雲薄霧間	梅影	曹元象
2237	蟾蜍銀瓶玉樣梅、花枝折得未全開、為憐寂寞空山裡、喚入詩人几案來	瓶梅	戴石屏
2236	香骨和冰帶剪痕、蟾瓶斜插水晶寒、一枝摘索春無盡、底用揚州繞樹看	瓶梅	同 (50ウ)
2235	東郭先生破履痕、瘦筇歷々自尋春、千林一樣模糊白、人不見花々見人	雪梅	胡德昭
2234	百千年樹着枯蘚、一兩点春供老枝、絕壁笛声那得到、只愁斜日凍蜂知	老梅	蕭東夫
2233	一枝密々一枝疎、一樹亭々一樹枯、月是毛錐煙是紙、為予寫作百梅圖	梅邊	秋崖
2232	一樹清標乃古同、風流人物品題中、若非玉色程明道、便是深衣司馬公	同	蒙齋
2231	凜々氷清岩壑氣、亭々玉立廟堂身、從前誤把瑤姬比、雌了梅花俗了人	同	方鳥山 (50才)
2230	南枝纔放兩三花、雪裡唵香弄粉些、淡々著煙濃著月、深々籠水淺籠沙	同	潘紫岩
2229	依然想見故山傍、半倚墻陰半向陽、短笛樓頭三弄夜、前村雪裡一枝香	同	一館信道
2228	瀟洒江梅似玉人、倚風無語澹生春、曲中桃李元非侶、夢裡梨花恐未真	梅花	松雪翁
2227	阿母瑤池旭日暉、先春賜宴召群妃、酒闌頌得長生藥、玉屑丹砂滿袖歸	紅白梅	陸樵雪明人
2226	施朱太赤非閨染、映日多情不為醜、錯認杏花休拳似、北人強半在江南	同	僧道原元人 (49ウ)
2225	本是氷霜雪月姿、清香潔白世皆知、自從点染臙脂面、一向唵翁懶說詩	紅梅	周南峯
2224	春到江南第一枝、瓊瑤瑤佩列參差、雖然未正花王号、衆卉終當北面之	同	蔡蒙齋
2223	竹縁貨殖比封君、松愛微官不避秦、至竟羞為噲等伍、歲寒誰障庾公塵	同	方秋崖
2222	竹外橫斜三兩枝、暗香那得好風吹、見梅不可無詩耳、未必梅花要此詩	同	郭廉翁
2221	紛々蜂蝶莫教知、竹外疎花一兩枝、待得枝頭春爛熳、便如詩到晚唐時	同	鄭碩 (49才)
2220	聞道梅花折曉風、雪堆遍滿四山中、何方可化身千億、一樹梅花一放翁	同	陸務觀
2219	紡車山下雪成堆、黃澗溪邊始見梅、山吏不知春色早、却言花是去年開	同	章子厚宋人
2218	難將羯鼓喚春回、一種風光倚雪開、婀娜水仙難作弟、山礬猶自欠清才	同	同

2271	暖氣潛催次第春、梅花已謝杏花新、半開半落閑園裡、何異榮枯世上人	杏花	羅隱 (54 才)
2270	怪君把酒偏惆悵、曾是貞元花下人、自別花來多少事、東風二十四回春	杏園花下贈劉郎中	同
2269	曾見乾條撼雪飛、一暄曝出万余枝、從今日々須來看、看到紅々白々時	探杏	楊廷秀
2268	軒前兩杏已開花、日上細簾映綺霞、絕艷不教驚俗眼、東君欲使媚山家	庭前双杏花開	僧斯道
2267	一陂春水遠花身、々影妖饒各占春、縱被春風吹作雪、絕勝南陌碾成塵	北陂杏花	王荊公
2266	活色生香第一流、手中移得近青樓、誰知艷性終相負、乱向春風笑不休	同	薛能 (53 才)
2265	淺注胭脂剪絳綃、獨將妖艷冠花曹、春心自得東君意、遠勝玄都觀裡桃	同	朱淑真
2264	垂楊一徑紫苔封、人語蕭々院落中、独有杏花如喚客、倚牆斜日數枝紅	杏花	王荊公
2263	破臘山前已盛開、飛花無數点蒼苔、莫教流水前溪去、引得漁人入洞來	桃花	盧溪
2262	桃滿西園淑景催、幾多紅艷淺深開、此花不逐溪流出、晋客無因入洞來	桃花園	杜牧
2261	人間四月芳菲尽、山寺桃花始盛開、長恨春歸無覓处、不知转入此中来	大林寺桃華	白居易 (53 才)
2260	一樹繁華奪眼紅、開時先合占東風、可憐地僻無人賞、拋擲深山乱墨中	山行見桃花	李九齡
2259	鳴鳩天色半晴陰、竹屋松窓老寸心、閉戶不知春早晚、桃花紅淺柳青深	二月十一日見桃花	蔡正甫 金人
2258	尽是劉郎手自栽、劉郎去後幾番開、東君有意能相顧、蛺蝶無情更不来	窓西桃花盛開	朱淑真
2257	生色深紅綬帶長、宮簾寒在井欄香、母家昇上瑤池品、先得春風一面粧	詠小桃	石曼卿 宋人
2256	暖觸衣襟漠々香、問梅遮柳不勝芳、數枝艷抹文君酒、半朶紅欹宋玉牆	桃花	羅隱 (52 才)
2255	山莊又報李花穠、火急來看細雨中、除却斷腸千樹雪、別無春恨訴東風	同	同
2254	近紅暮看失臙脂、遠白宵明雪色奇、不見桃花惟見李、一生不識退之詩	李花	楊廷秀
2253	菊得陶翁名愈重、蓮因周子品尤尊、後來誰判梅公案、斷自孤山迄後村	病後訪梅	劉後村
2252	凍蘂含春可受催、煖湯誰遣沃蒼苔、不如類雨晞朝日、珠顆商量細々開	梅凍未開童子以湯浴之戲作	僧道原
2251	日々來尋坡上梅、枯槎忽見一枝開、広寒宮裡長生藥、医得水塊雪魄回	北枝梅開已久一株獨不着花立春日忽放一枝	放翁 (52 才)
2250	一壑煙寒孰与娛、橫斜影對此君矚、風饜雪虐軀強項、唯我与君其是夫	梅問竹	同
2249	下欲成蹊春已殘、雨紅猶自有人看、極知不与君同調、但守平生一点酸	梅謝桃	秋崖
2248	自負孤高伴歲寒、玉堂茆舍一般看、頑風摧剥君知否、鉄笛一声人倚樓	落梅	盧梅坡
2247	後五百年無放翁、狂歌醉舞与誰同、漁人入得桃花洞、猶有梅花路未通	探梅	劉須溪
2246	夢得因桃數左遷、長源為柳忤當權、幸然不識桃和柳、欲被梅花誤十年	訪梅	劉後村 (51 才)
2245	孤山惜別已多時、風月無媒雁信稀、夢裡相逢心未穩、尚疑太白夜郎歸	憶梅	劉安叔

2295	2294	2293	2292	2291	2290	2289	2288	2287	2286	2285	2284	2283	2282	2281	2280	2279	2278	2277	2276	2275	2274	2273	2272
爪葉鱗。柔。龍。不。盤。梳風幕翠一庭寒、莫言只似人長短、須作浮雲向上看	半依岩岫倚雲端、獨立亭亭冒歲寒、一事頗為清節累、秦時曾作大夫官	大夫名仙古今聞、盤屈孤貞更出群、將謂嶺頭閑得了、夕陽猶掛數枝雲	買得山花一兩栽、離鄉別土易摧隤、欲知北客居南意、看取南華北地來	春花斛々鬪鮮奇、屈幹蟠枝巧力施、到底自開還自落、東風恰似不曾知	清曉庭前白露滋、艷紅妖紫鬪開時、晚來狼藉空塔畔、似怨西風不怨衰	遊春未足春將度、訪紫尋紅少在家、借問流鶯與飛蝶、更知何處有幽花	芳草落花明月榭、朝雲暮雨錦城春、莫愁紅艷風前散、自有青娥鏡裡人	忘滄為戀滿枝紅、錦障頻移護晚風、客散酒酣歸未得、欄邊獨立月明中	年少共憐含露色、老人偏惜委塵紅、如何遂得心心事、每要花時不厭風	病眼看花似夢中、一番吹落又飛空、朝來不忍倚樹立、倚樹恐搖枝上紅	繡。軛。香。轡。夜。不。歸。少年爭惜最紅枝、東風一陣黃昏雨、又到繁花夢覺時	春光今日歸何處、更向花前把一盃、盡日問花冬不語、為誰零落為誰開	蝶。醉。蜂。狂。香。正。濃。晚來塔下墜衰紅、開時費盡陽和力、落處難禁一陣風	新年纔得兩朝晴、梅不禁春太瘦生、隔歲花如前代士、元嘉時節老淵明	葉底秋聲急雨催、人言滿樹是愁媒、九回百斷渠何與、自是愁人做得來	閑庭隨分占年芳、裊々青枝淡々香、流落孤臣那忍看、十分深似御袍黃	水。蝶。岩。蜂。俱。不。知。露紅凝艷數千枝、山深春晚無人賞、即是杜鵑催落時	似火山榴映小山、繁中能薄艷中閑、一朵佳人玉釵上、祇疑燒却翠雲鬟	一林輕素媚春光、透骨濃薰百和香、消得太真吹玉笛、小庭人散月如霜	冷香銷。尺。晚。風。吹。脈。々。無。言。對。落。暉。旧日郭西千樹雪、今隨蝴蝶作。困。飛。	江梅已過杏花初、尚怯春寒着藥疎、待得重來幾枝在、半隨蝶翅半蜂鬚	暖映垂楊曲檻邊、一堆紅雪罩青煙、春花自得風流伴、榆莢休拋買笑錢	遮莫江頭柳色遮、日濃鶯睡一枝斜、女郎折得殷勤看、道是春風及第花
小松	同	松	花栽	盆華	秋華詠	尋花	夜宴惜花	同	同	同	惜華	嘆花	落花	二月看花	折桐花	棣棠	歎靈鷲寺山榴	山石榴	同	梨花	同	杏花	曲江紅杏
章孝標	李誠之	成文幹	元稹(56ウ)	蒙齋(56才)	僧季潭明人	劉言史	武元衡	成文幹	劉言史(55ウ)	張深宋人	崔塗	嚴伯復	僧贊寧	張淳(55才)	僧北礪	高子文	李群玉	杜牧之	段繼昌金人(54ウ)	謝無逸	同	王元之	鄭谷

錦囊風月卷之十  
草木門

2296	霜。鱗。雪。爪。一。枯。松。恍。似。湖。心。見。白。龍。想。得。呂。仙。曾。點。化。掣。雲。攫。霧。去。騰。空。	枯松	白玉蟾 (57 才)
2297	武夷洞中老松樹、上有千年仙鶴巢、幾度隔雲茶臼響、山童樹下拾枯梢	古松	僧藏叟
2298	青々石上歲寒枝、一寸巖前手自移、聞道近來高數尺、此身蒲柳故心衰	蔣山手種松	王荊公
2299	蒼髯分種出山林、却憶當年鬱翠陰、自是君王來避雨、初無一點大夫心	詠所種松	僧雪岑
2300	高標不畏雪霜侵、枉斲孤根出旧林、但恐長安無種地、人家桃李自成陰	壳松栽	鄭獬宋人
2301	偶向松間覓旧題、野人休誦北山移、丈夫出處非無意、猿鶴從來自不知	松間	王荊公 (57 才)
2302	虬甲龍髯不可攀、亭々千丈蔭南山、忘嗟無地逃斤斧、豈願爭明燭火間	道傍大松人取為明	王荊公
2303	款々林梢落晚紅、小炬隨分一樽空、青燐爇火誰相語、坐掛凌煙十八公	松明	林季謙
2304	旋斫松枝架作棚、蒼髯如戟昼崢嶸、清陰堪愛還堪恨、遮却斜陽礙月明	松棚	陳元信
2305	黯々當窓雲不驅、不教風月到琴書、只今老子風流地、何似茅山陶隱居	同	陳簡齋
2306	祖龍衝雨過林端、汚我清陰百尺寒、空把黃塵驚白鶴、蒼官元不愛渠官	大夫松	王秋江 (58 才)
2307	碧樹如煙覆晚波、清秋欲尽客重過、故園亦有如煙樹、鴻雁不來風雨多	冬青樹在宛陵館	趙嘏
2308	路傍佳樹碧雲愁、曾侍金輿幸馭樓、草木榮枯似人事、綠陰寂寞漢陵秋	端正樹	温庭筠
2309	如折芙蓉栽旱地、似拋芍藥掛高枝、雲埋水隔無人見、惟有南賓太守知	木蓮樹	白樂天
2310	檜枝蒼翠色長鮮、双耳銅壺浸石泉、粧点吟窓似僧舍、一春不費買花錢	挿檜	錢少皐宋人
2311	數畝荒山一弊廬、歲儲心咲摠無余、霜黃柿葉収千斛、留得閑時學草書	収山中柿葉	顧謹中明人 (58 才)
2312	四絕堂前枯柏樹、晋人栽植宋人嗔、無枝無葉無吟處、聊寓一時懷古心	陶侃柏	戴式之宋人
2313	黃紅紫綠巒巒上、遠近高低松竹間、山色未应秋後老、靈楓方為駐童顏	楓	趙成德宋人
2314	毵々金藥撲晴空、舉子魂驚落照中、今日老郎猶有恨、昔年相虐十秋風	槐花	鄭谷
2315	雨中粧点望中黃、勾引蟬声送夕陽、憶得當年隨計吏、馬蹄日々為君忙	槐黃 <small>南唐諺曰槐花黃舉子忙詩話翁承贊</small>	權德輿 (59 才)
2316	石楠紅葉透簾春、憶得粧成下錦裯、試折一枝含万恨、分明說向夢中人	石楠	趙嘏
2317	一樹繁陰先著名、異花奇葉儼天成、馬嵬此去無多地、祇合楊妃墓上生	詠端正春樹	安仁
2318	蓬在麻中底自直、菟生松下亦能高、不関若輩工攀附、物理由来繫所遭	草木詠	陳茸芷
2319	夢回歷々雨声中、窓影分明曉色紅、出戶方知是黃葉、更無一片在梧桐	黃葉	駱浚唐人
2320	幹聳一条青玉直、葉鋪千疊綠雲低、爭如燕雀偏巢此、却是鴛鴦不得栖	題桐樹詠度雜事典	鄭谷 (59 才)
2321	半煙半雨溪橋上、映杏映桃山路中、学得何人惆悵意、千糸万絮惹春風	柳	陳恭公
2322	一度春來一度新、翠光長得照龍津、君王自愛天然態、恨殺昭陽学舞人	同	陳恭公

2349	可咲庭前小兒女、 ■盆貯水種浮萍、 不知何處聞人說、 一夜一根生七莖	盆萍	文与可宋人
2348	苦無根帶逐波流、 風約依稀雨復稠、 旧說楊花能變此、 是他種子已輕浮	同	宋壺山宋人
2347	曉來依約半池明、 重疊侵沙綠、 不用臨池重相笑、 最無根帶只浮名	萍	陸龜蒙
2346	暈就青蛭流地上、 天工乞与野人家、 得來休道渾無用、 鋪向庭除買落花	同	葉順適 (62才)
2345	家貧地上却錢流、 朽貫年深不可收、 若使用之堪買爵、 等閑門巷亦封侯	同	葉靖逸宋人
2344	山居雨後後鮮斑、 滿地錢流疊翠團、 若是得之能使鬼、 多心不到野人看	同	葉秀実宋人
2343	春紅秋紫繞池台、 个々凹如濟世財、 雨後無端滿窮巷、 買花不得買愁來	苔錢	鄭谷
2342	万枝朝露学瀟湘、 杳靄孤亭白石涼、 誰道乖龍不得雨、 春雷入地馬鞭狂	同	同
2341	进玉閑抽上釣磯、 翠苗番次脱霞衣、 山童泥乞青驄馬、 騎過春泉掣手飛	竹	陳陶 (61ウ)
2340	淇園苗裔独脩々、 草木中為第一流、 会见他時撼風雨、 伴君簫瑟賦悲秋	栽竹	夏均父宋人
2339	密葉脩莖雨後新、 肯因憔悴損天真、 清如南国紐蘭客、 瘦似西山采蕨人	苦竹	蔡正甫
2338	東風弄巧補殘山、 一夜吹添玉数竿、 半脱錦衣猶半着、 籜龍未信没春寒	新竹	楊廷秀
2337	不厭東溪綠玉君、 天壇双鳳有時聞、 一峰曉似朝仙处、 青節森々倚絳雲	同	陳陶
2336	雨竿煙篔翠涓々、 数里清陰帶渭川、 自抱歲寒君子節、 風風不到已多年	竹	僧雪岑 (61才)
2335	楊花三月滿長堤、 風裡顛狂東復西、 風力定時狂亦歇、 野田随处便沾泥	楊花	僧一初
2334	蝶撲蜂粘登出狂、 飄然欲上白雲鄉、 無端却被遊糸攪、 綰住春風舞幾場	柳絮	僧淮海
2333	風絮起時無續塞、 雨糸添处有珠垂、 黄鶯說尽千般語、 舞困三眠總不知	柳耳	李梅亭宋人
2332	万糸纒綠費春工、 斜倚欄干枕曉風、 兩被流鶯驚夢覺、 依前睡趁海棠紅	三眠柳	謝才子
2331	移柳当門何啻五、 穿待作徑適成三、 臨流遇興還能賦、 自此淵明或未慙	移柳	王荊公 (60ウ)
2330	倚岸依々一两株、 溪風吹影暮煙疎、 青条抃水長如線、 釣叟折來穿白魚	同	李億宋人
2329	静是無慇動是狂、 秋蟬兩々抱斜陽、 不知才思能多少、 瘦得腰肢似沈郎	同	劉後村
2328	奈爾繁晴帶雨何、 静時常少動時多、 初無惱乱春風意、 却是春風惱乱他	同	同
2327	江春欲到晨先知、 次到南枝次北枝、 不信樓頭觀旖旎、 嫩金勻徧去年糸	同	僧北礪
2326	百花洲畔覆青坡、 第五橋頭蘸碧波、 鳳管龍笙春寂々、 綠陰終日伴漁歌	同	僧季潭 (60才)
2325	風外糸々裊綠煙、 輕花初破不成綿、 却嫌官路逢寒食、 惱乱離愁似去年	同	呂中孚金人
2324	魏王堤暗雨垂々、 還似春殘欲別時、 伝語西風且停待、 黛殘黄淺不禁吹	同	施宜生金人
2323	嫩葉吹風不自持、 淺黄微綠映清池、 玉人未識分離恨、 折向堂前学画眉	同	謝才子宋人

- |      |                                  |      |           |
|------|----------------------------------|------|-----------|
| 2350 | 嫩似金脂颺似煙、多情渾欲擁紅蓮、明朝擬附南風信、寄与湘妃作翠鈿、 | 浮萍   | 皮日休       |
| 2351 | 盆池本不種青萍、春杪無根也自生、人道一宵生九葉、不知誰數得分明、 | 盆池萍  | 伝可斎 (62ウ) |
| 2352 | 杜若溪邊手自移、旋抽煙劍碧參差、何時織得孤帆去、懸向秋風訪所思、 | 種蒲   | 陸龜蒙       |
| 2353 | 閑行澗底采菖蒲、千歲龍蛇抱石臞、明朝却覓房州路、飛下山顛不用扶、 | 採菖蒲  | 陳去非宋人     |
| 2354 | 窓明几淨室空虛、尽道幽人一事無、莫道幽人無一事、汲泉承露養菖蒲、 | 石菖蒲  | 曾茶山       |
| 2355 | 盆瀾淺々照幽叢、緑髮疎々墮鏡中、瀟洒憑誰供扞掠、淡煙微雨及清風、 | 盆菖蒲  | 伯子庭       |
| 2356 | 春尽江南茂草深、逸池擎樹碧泔々、長安客舍孤根地、一寸幽芳万里心、 | 幽草   | 晏殊 (63才)  |
| 2357 | 繞徑沿途襍靄青、根深塵土到春萌、若教雨露濡心足、縱使輪蹄踏又生、 | 路傍草  | 僧斯道       |
| 2358 | 魯公葬後一杯荒、誰与笙歌薦一觴、妾願得生墳上土、日翻舞袖向君王、 | 虞美人草 | 蕭德藻宋人     |
| 2359 | 春草綿々不可名、水辺原上乱抽榮、似嫌車馬繁華处、纔入城門便不生、 | 春草   | 劉言史       |
| 2360 | 楚甸秦原万里平、誰教根向路傍生、輕蹄繡轂長相蹋、合是榮時不得榮、 | 路傍草  | 徐寅唐人      |

錦囊風月卷十大尾

(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、国立歴史民俗博物館共同研究員)  
(二〇一四年七月二八日受付、二〇一四年九月二九日審査終了)